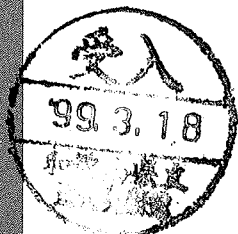
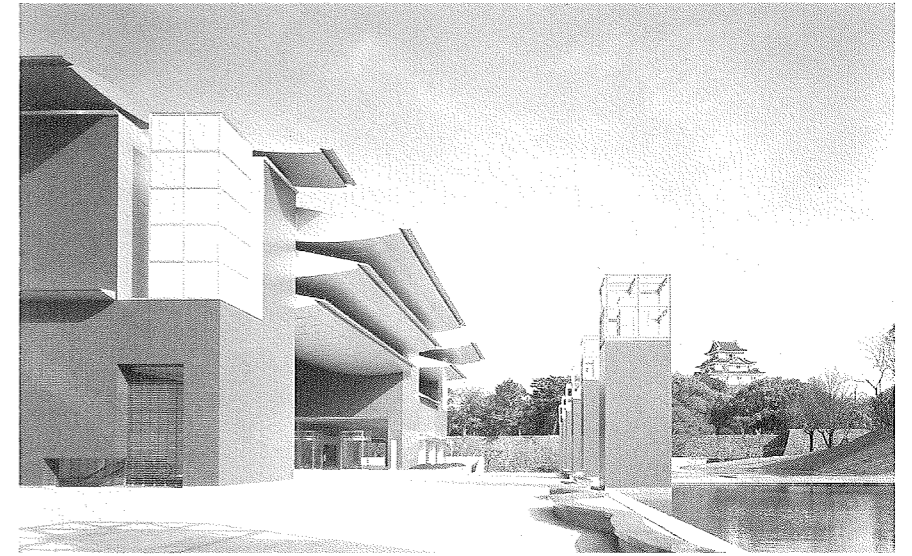


和歌山県立近代美術館年報

一九九五年度

平成7年度





年報の刊行にあたって

和歌山県立近代美術館は、1994年7月に新築開館いたしました。当館の前身は1963年に旧和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館ですが、その後1970年に県立近代美術館と改めて、和歌山県民文化会館内に施設を移しました。以後、1993年までの23年間、「和歌山版画ビエンナーレ」展や「関西の美術家シリーズ」といった独自の企画展を通じて、県民の皆様におかれ、また日本や海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。

新しい近代美術館では、こうした従来の実績の上に立ちながら、さらに21世紀の多様化していく美術表現に対応し、また過去の近代美術の展示、収集活動にも積極的に取り組んでおります。

さて、ここに1995年度の年報を刊行いたします。本年度は特別企画展4回と、小企画展を4回、常設展を4回行ないました。また、収集活動も活発に展開し、コレクションもいっそう充実いたしました。

この間、幸いにも大勢の方々にご来館頂き、開館以来約20万人を数えることが出来ました。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ、年報刊行のごあいさつといたします。

1997年3月

和歌山県立近代美術館

目次

年報の刊行にあたって	1
展览会事業	
企画展	2
常設展	39
普及事業	50
調査・研究・発表活動および対外協力活動	52
収集事業	53
管理運営	69
関係法規	76
建築概要	79
案内	82

展覧会事業 企画展

1995年度企画展一覧

1. 1994年度新収蔵作品展
1995年4月1日(土)～4月19日(水)
2. ヴィクトリア&アルバート美術館展 イギリス絵画の350年
1995年4月26日(水)～6月11日(日)
3. 村井正誠展 色と形と心—人間の詩
1995年7月1日(土)～7月30日(日)
4. 小企画展 美術館にいったよ! —風景ってなあに—
1995年8月8日(火)～8月31日(木)
5. 小企画展 日本の近代版画
1995年8月8日(火)～9月24日(日)
6. 保田春彦展
1995年9月9日(土)～10月15日(日)
7. 野田裕示近作展
1995年10月24日(火)～12月17日(日)
8. 線画の世界—かたりの表現—
1996年1月5日(金)～2月12日(月)
9. ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作品たち
1996年2月24日(土)～3月31日(日)

1. 1994年度新収蔵作品展

会 期：1995年4月1日(土)～4月19日(水)
休 館 日：月曜日
主 催：和歌山県立近代美術館
会 場：2階展示室C
観 覧 料：常設展と共通
関 連 事 業：4月8日(土) 14:00 美術館ホール

ミュージアム・トーク

解説 安來正博

印 刷 物：出品目録：A3判 タテ4つ折

担当学芸員：安來正博

趣 旨：1994年度に購入、寄贈または寄託によって、美術館に新しく収蔵された作品を中心に紹介した。

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
出品リスト					
1 佐野 繁次郎	仲間3	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	65.2×53.0	
2 タマヨ, ルフィーノ	坐っている人物	制作年不明	リトグラフ・紙	74.6×56.8	
3 ピカソ, パブロ	アリストファネス『女の平和』挿し絵	1934(昭和9)	エッチング・紙(冊子)	29.9×24	
4 駒井 哲郎	手	1960(昭和35)	アクアチント・紙	23.2×36.0	
5 駒井 哲郎	足場	1942(昭和17)	エッチング・紙	16.7×19.7	
6 駒井 哲郎	樹木	1958(昭和33)	エッチング・紙	23.3×21.0	
7 駒井 哲郎	<九つの夢から>肩の向こうに 隠れたその顔だけがどうしても 見えない不思議な男の…	1969(昭和44)	エッチング・紙	16.4×12.1	
8 駒井 哲郎	<九つの夢から>向うの世界の 入り口にうつつているのは、 つるつるしたのっぺらぼうのもの、 その形状から…	1969(昭和44)	エッチング・紙	21.9×12.1	
9 駒井 哲郎	丘	1975(昭和50)	エッチング・紙	26.0×24.0	
10 駒井 哲郎	岩礁	1975(昭和50)	エッチング・紙	26.0×24.0	
11 駒井 哲郎	腐刻画	1966(昭和41)	エッチング・紙	27.0×16.4	
12 駒井 哲郎	腐刻画 彫版刷	1966(昭和41)	エッチング・紙	27.0×16.4	
13 駒井 哲郎	腐刻画 原版	1966(昭和41)	銅板	27.0×16.4	
14 長谷川 潔	フローラ	1928(昭和3)	ドライポイント・紙	27.8×18.6	
15 長谷川 潔	エッフェル塔と雲	1933(昭和8)	ビュラン・紙	17.5×30.3	
16 長谷川 潔	木と村の小寺院	1959(昭和34)	エッチング・紙	33.5×24.0	
17 長谷川 潔	ヴォルクスの村	1927(昭和2)	メゾチント・紙	20.1×28.0	
18 長谷川 潔	飼い馴らされた小鳥 (西洋将棋など)	1962(昭和37)	メゾチント・紙	35.4×26.3	
19 長谷川 潔	小鳥と胡蝶	1961(昭和36)	メゾチント・紙	26.2×36.0	
20 長谷川 潔	静物画 [仮装したる狐(フィンランド童話)]	1965(昭和40)	メゾチント・紙	35.4×26.2	
21 長谷川 潔	アカリュウムの前の草花	1969(昭和44)	メゾチント・紙	26.4×35.4	
22 長谷川 潔	時・静物画	1969(昭和44)	メゾチント・紙	26.4×35.4	
安齋 重男	『Homage to ISAMU NOGUCHI』15点組	1992(平成4)	モノクロ写真	36.0×28.0	
23	1.Isamu Noguchi in Venice June 1986				
24	2.Slide Mantra, Venice Biennale June 1986				
25	3.Isamu and Slide Mantra, Venice Biennale June 1986				
26	4.Water Table(Detail), New York May 1986				
27	5.Isamu Noguchi Outdoor Studio, Mure November 1991				
28	6.The Isamu Noguchi Garden Museum, New York May 1985				
29	7.Isamu's Grave, Mure November 1991				
30	8.Sun at Midnight New York May 1985				
31	9.With Night View of Manhattan, New York May 1986				
32	10.Small Torso, Core Piece #1, #2, New York May 1985				
33	11.Isamu Noguchi, Yurakucho Art Forum, Tokyo February 1985				
34	12.Slide Mantra and Henry Geldzahler, Venice Biennale June 1986				
35	13.Isamu Noguchi, Venice Biennale June 1986				
36	14.Isamu Noguchi, Last Portrait at his 84th Birthday Party, Mure Nov17, 1988				
37	15.Isamu's Hand, Venice Biennale June 1986				
38 ノグチ, イサム	考える議長	1978(昭和53)	石、木	26.7×22.7×26.0	
39 山本 鼎	野鷲	1912(大正元)	木版・紙	18.0×15.3	
40 山本 鼎	ブルターニュの小湾	1912(大正元)	木版・紙	15.0×21.5	
41 戸張 孤雁	稲村の秋	1912(大正元)	木版・紙	23.3×35.6	
42 戸張 孤雁	鏡の前	1913(大正2)	木版・紙	38.5×26.6	
43 戸張 孤雁	女学生	1920(大正9)	木版・紙	37.8×24.2	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
森田 恒友	『日本風景版画第二輯会津之部』5点組	1917(大正6)	木版・紙		
44	1.若松城趾-城壁内農夫の草刈			17.5×24.0	
45	2.阿賀川-山都村附近の展望			17.5×23.9	
46	3.繪原村端より対岸を望む			23.8×17.5	
47	4.川上温泉-湯宿附近の秋色			17.6×24.2	
48	5.磐梯山麓小湖-小野川湖の一部			17.5×23.9	
坂本 繁二郎	『日本風景版画第六輯筑紫之部』5点組	1918(大正7)	木版・紙		
49	1.榎寺神社-都府樓方面より望む			17.0×23.8	
50	2.神の湊-玄海灘を遠望			16.8×23.8	
51	3.水繩山-小森野より望む			16.8×23.7	
52	4.筑後川-久留米附近			17.0×23.9	
53	5.火の海-沖の端より望む			16.8×23.8	
54 織田 一磨	『都会生活』(書窓版画帖十連聚其一)	1941(昭和16)	リトグラフ・紙(冊子)	26.6×21	
55 川西 英	『港都情景』(書窓版画帖十連聚其二)	1941(昭和16)	木版・紙(冊子)	26.4×21	
56 前川 千帆	『新野外小品』(書窓版画帖十連聚其四)	1942(昭和17)	木版・紙(冊子)	26.4×21	
57 武井武雄	『宇宙説』(書窓版画帖十連聚其六)	1942(昭和17)	エッチング・紙(冊子)	26.4×21	
58	版画誌『九州版画』第二十号	1939(昭和14)	木版・紙(冊子)	27.2×18.8	
59	版画誌『九州版画』第二十二号	1940(昭和15)	木版・紙(冊子)	27.2×18.8	
60	版画誌『九州版画』第二十四号	1941(昭和16)	木版・紙(冊子)	27.2×18.8	
61 宇治山 哲平	『郷土』創刊号	1932(昭和7)	木版・紙(冊子)	28.0×23.2	
62 梅原 龍三郎	坐裸婦	1930(昭和5)	木版・紙	44.7×30.2	
63 梅原 龍三郎	梳る裸婦	1930(昭和5)	木版・紙	42.2×29.6	
64 佐伯 祐三	自画像	1919(大正8)	インク・紙	27.2×17.5	
65 高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩・板	46×38	
66 原 勝四郎	自画像	制作年不明	油彩・板	27.5×21.5	
67 原 勝四郎	風莫港	制作年不明	油彩・板	37.9×45.5	
68 原 勝四郎	横臥裸婦	制作年不明	油彩・板	33.3×45.5	
69 野長瀬 晩花	門付け	1916(大正5)	顔料・紙	131.×30.0	
70 野長瀬 晩花	大原女と舞妓	1916(大正5)	顔料・紙	137.1×33.9	
71 野長瀬 晩花	三味線を弾く女	1917(大正6)	顔料・紙	136.0×127.0	
72 野長瀬 晩花	桜のころ	制作年不明	顔料・紙	114.0×32.0	
73 野長瀬 晩花	舞妓図	制作年不明	顔料・紙	133.5×30.9	
74 白髪 一雄	羅刹天譚 (ランヂリチエイソハカ)	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	130×193	
75 白髪 一雄	地察星青眼虎	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	194.0×130.0	
76 白髪 一雄	作品	1972(昭和47)	油彩・キャンバス	130×162	
77 白髪 一雄	渡海	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	130.3×193.9	
前田 常作	『西国巡礼シリーズ』33点組	1988(昭和63)	リトグラフ・紙	67.0×49.7	
78	1.西国巡礼第一番 那智山青岸渡寺				
79	2.西国巡礼第二番 紀三井山金剛宝寺				
80	3.西国巡礼第三番 風猛山粉河寺				
81	4.西国巡礼第四番 檜尾山施福寺				
82	5.西国巡礼第五番 紫雲山葛井寺				
83	6.西国巡礼第六番 壺阪山南法華寺				
84	7.西国巡礼第七番 東光山岡寺龍蓋寺				
85	8.西国巡礼第八番 豊山長谷寺				
86	9.西国巡礼第九番 興福寺南円堂				
87	10.西国巡礼第十番 明星山三室戸寺				
88	11.西国巡礼第十一番 深雪山上醍醐寺				
89	12.西国巡礼第十二番 岩間山正法寺				
90	13.西国巡礼第十三番 石光山石山寺				
91	14.西国巡礼第十四番 長等山三井寺				

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
92	15.西国巡礼第十五番	新那智山観音寺			
93	16.西国巡礼第十六番	音羽山清水寺			
94	17.西国巡礼第十七番	補陀洛山六波羅蜜寺			
95	18.西国巡礼第十八番	紫雲山頂法寺六角堂			
96	19.西国巡礼第十九番	霊塵山行願寺草堂			
97	20.西国巡礼第二十番	西山善峯寺			
98	21.西国巡礼第二十一番	菩提山穴太寺			
99	22.西国巡礼第二十二番	補陀洛山総持寺			
100	23.西国巡礼第二十三番	応頂山勝尾寺			
101	24.西国巡礼第二十四番	紫雲山中山寺			
102	25.西国巡礼第二十五番	御獄山清水寺			
103	26.西国巡礼第二十六番	法華山一乗寺			
104	27.西国巡礼第二十七番	書写山円教寺			
105	28.西国巡礼第二十八番	成相山成相寺			
106	29.西国巡礼第二十九番	青葉山松尾寺			
107	30.西国巡礼第三十番	竹生島宝蔵寺			
108	31.西国巡礼第三十一番	綾崎耶山長命寺			
109	32.西国巡礼第三十二番	織山観音正寺			
110	33.西国巡礼第三十三番	谷汲山華厳寺			
111	保田 龍門	裸婦立像	1947(昭和22)頃	ブロンズ	h.42.5
112	建島 大夢	子供	1917(大正6)	ブロンズ	h.94
	横尾 忠則	『聖シャンバラ』10点組	1974(昭和49)	オフセットリトグラフ・シルクスクリーン・紙	85.5×57.0
113		1.空其地			
114		2.空其天			
115		3.風其天人地			
116		4.火其地			
117		5.火其天			
118		6.水其地			
119		7.水其天			
120		8.土其地			
121		9.土其人			
122		10.土其天			
123	野村 仁	正午のアナレンマ	1990(平成2)	カラー写真	111.1×90.0
124	五島 三子男	Dialogue(a snow carpet)	1994(平成6)	カラーコピー・紙	51.7×79.9



会場風景

2. ヴィクトリア&アルバート美術館展 イギリス絵画の350年

会期：1995年4月26日(水)～6月11日(日)
 休館日：月曜日
 主催：和歌山県立近代美術館 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館
 NHK和歌山放送局 NHKきんきメディアプラン

会場：2階展示室C
 観覧料：一般1000(800)円/高大生700(560)円/小中生400(320)円
 ()内は団体料金/高齢者(65才以上)、障害者は無料

関連事業：5月13日(土)・6月10日(土) 14:00 美術館ホール
 ミュージアム・トーク

解説 奥村泰彦
 5月20日(土) 14:00 美術館ホール
 講演会「イギリスの風景画」
 講師 潮江宏三(京都市立芸術大学教授)

印刷物：ポスター：B2判

チラシ：A4判

解説目録：A4判 タテ2つ折

図録：A4判 213ページ

序

「イギリス絵画の350年」展によせて/エリザベス・エステーヴ=コル
 本文

イギリス美術の特性/潮江宏三

図版および各作品の解説 技法・用語解説 出品目録

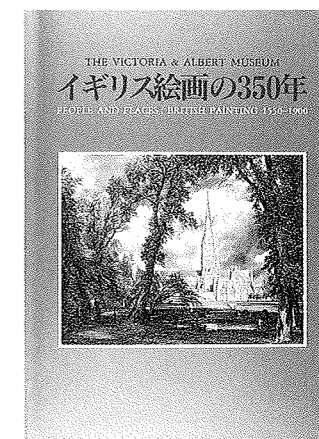
担当学芸員：奥村泰彦

趣旨：百年以上の歴史を有するヴィクトリア&アルバート美術館の、150万点を越えるコレクションの特徴を生かし、16世紀半ばから19世紀末までの350年にわたるイギリス絵画の歴史を通覧しようとする展覧会。16世紀の宮廷で華開いた「ミニアチュア(細密)肖像画」、ターナーやコンスタブルらを輩出した「イギリス風景画の黄金時代」、ヴィクトリア朝時代の社会風俗を描いた「日常生活の画家たち」、油絵に匹敵する表現を得ようとした「展示会用水彩画」、当時発明されたばかりの写真と絵画との関連を示す「ラファエロ前派とイギリスの初期写真」、近代の女流画家と描かれた女性たちに焦点を当てた「イギリス美術における女性」という6つの部分を構成し、それぞれの時代の芸術を絵画と写真182点によって紹介した。

- 関連記事
- イギリス絵画の350年 新美術新聞 1995.4.11 4面
 - 英芸術家の絵画、写真展 毎日新聞 1995.4.13 20面 地域のニュース
 - 英の絵画史つづさに 読売新聞 1995.4.23 26面 地域ニュース
 - 英絵画の歩み紹介 和歌山新報 1995.4.25 4面 文化・スポーツ
 - V&A美術館のコレクションで、新しい英国絵画の魅力を発見する。
 ぴあ関西版 No.306 1995.4.25 p.180 美術
 - ミニアチュアの肖像画 奥村泰彦 和歌山新報 1995.4.29 1面
 ヴィクトリア&アルバート美術館展
 - イギリス絵画の350年 ニュースせんなん No.185 1995.4.29
 - L magazine No.218 1995.5.1 p.82 MUSEUM
 - 細密肖像画など182点 朝日新聞 1995.5.8 21面 和歌山
 - 風景美の再発見 奥村泰彦 和歌山新報 1995.5.11 1面
 ヴィクトリア&アルバート美術館展
 - イギリス近代絵画を紹介 ニュース和歌山 1995.5.13 8面
 - 英国風の美をどうぞ 和歌山政治経済新聞 1995.5.15 1面
 - 偉大さと日常対比 奥村泰彦 和歌山新報 1995.5.18 1面
 ヴィクトリア&アルバート美術館展
 - ニコラス・ヒリヤード 薔薇の茂みの若者 奥村泰彦 京都新聞
 1995.5.20 5面 美折りおり
 - 歴史、印象を画面に 奥村泰彦 和歌山新報 1995.5.26 1面
 ヴィクトリア&アルバート美術館展
 - 「物語」秘める風俗画 奥村泰彦 和歌山新報 1995.6.3 1面
 ヴィクトリア&アルバート美術館展



ポスター



図録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
出品リスト					
1 シモン・ベニンク	時禱書の月暦画の一頁：4月と5月		水彩・ヴェラム	14.0×9.0	
2 シモン・ベニンク	自画像	1558	水彩・ヴェラム	8.1×5.3	
3 ハンス・ホルバイン(仔)	ジェーン・スモール、 旧説はロバート・ベンバートン夫人像	1536頃	水彩・ヴェラム	直径5.9	
4 ニコラス・ヒリヤード	24歳の名前のわからない男	1572	水彩・ヴェラム	6.0×4.7	
5 ニコラス・ヒリヤード	アリス・ヒリヤード	1577	水彩・ヴェラム	直径5.9	
6 ニコラス・ヒリヤード	サー・クリストファー・ハットン		水彩・ヴェラム	5.6×4.3	
7 ニコラス・ヒリヤード	薔薇の茂みの若者	1587頃	水彩・ヴェラム	13.5×7.3	
8 ニコラス・ヒリヤード	エリザベス一世女王		水彩・ヴェラム	6.6×5.3	
9 ニコラス・ヒリヤード	雲から出た手を握る男	1588	水彩・ヴェラム	6.0×5.0	
10 ニコラス・ヒリヤード	炎の前の男		水彩・ヴェラム	6.9×5.4	
11 ニコラス・ヒリヤード工房	サー・アーノルド・ブリームズ	1617	水彩・ヴェラム	5.7×4.7	
12 ニコラス・ヒリヤード工房	名前のわからない女性		水彩・ヴェラム	5.2×4.0	
13 アイザック・オリヴァー	フランセス・ハワード、エセックス およびサマセット伯爵夫人	1595-1600頃	水彩・ヴェラム	直径13.0	
14 アイザック・オリヴァー	仮面劇の衣装を着けた女性		水彩・ヴェラム	6.4×5.1	
15 ジョン・ホスキング	ジェームズ一世		水彩・ヴェラム	5.4×4.4	
16 ジョン・ホスキング	レイディ・ド・ピニ、キャサリン・ハワード		水彩・ヴェラム	8.4×6.7	
17 ジャン・プティト	リッチモンド公爵夫人、 フランセス・テレサ・スチュアート	1669	エナメル	4.3×3.4	
18 サミュエル・クーパー	サー・ウィリアム・パーマー	1657	水彩・ヴェラム	5.7×4.5	
19 サミュエル・クーパー	エリザベス・クレイポール夫人		水彩・ヴェラム	3.2×2.8	
20 サミュエル・クーパー	ヨーク公時代のジェームズ二世	1661	水彩・ヴェラム	8.0×6.4	
21 リチャード・ギブソン	おそらくカーナヴォン伯爵夫人、 エリザベス・ケイベルと思われる女性像	1657頃	水彩・ヴェラム	7.4×6.0	
22 ピーター・クロス	第四代ローザン伯爵、 ロバート・カー	1667	水彩・ヴェラム	7.4×6.3	
23 リチャード・ウィルソン	廃墟とヴィーナス、アドニス、 キューピッドのいるイタリア風景	1754-55頃	油彩・キャンヴァス	62.8×74.9	
24 フィリップ・ジェームズ・ ドゥ・ラウサーバーク	旅人のいる風景	1775-80頃	油彩・キャンヴァス	54.6×74.9	
25 ジュリアス・シーザー・ イベットソン	有頂天のジャック、酔っぱらいの 船乗りが貸し馬車を乗り回す	1795	油彩・パネル	45.0×60.9	
26 ベンジャミン・ウエスト	ウィンザー大庭園、 スノー・ヒルの眺め	1799	油彩・キャンヴァスに 貼られた紙	59.7×83.8	
27 ピーター・デ・ウィント	麦畑	おそらく1815	油彩・キャンヴァス	104.7×163.8	
28 ジョン・クローム	ノリッジ近郊、マウスホルド・ ヒースの眺め	1810-15頃	油彩・キャンヴァス	54.6×81.2	
29 バトリック(ピーター) ・ナスミス	サー・フィリップ・シドニーのオークの木	1820年代頃	油彩・キャンヴァス	40.6×53.3	
30 サー・オーガスタス・ ウォール・コルコット	日当たりのよい朝	1810頃	油彩・キャンヴァス	68.5×90.8	
31 サー・チャールズ・ ロック・イーストレイク	ローマ、トラヤヌス広場	1821	油彩・キャンヴァス	39.6×91.7	
32 ジョン・コンスタブル	テダムの水門と製粉所	1820	油彩・キャンヴァス	53.7×76.2	
33 ジョン・コンスタブル	主教館の庭から見た ソールズベリー大聖堂	1823	油彩・キャンヴァス	87.6×111.8	
34 ジョン・コンスタブル	風景と二重の虹	1812	油彩・キャンヴァスに 貼られた紙	33.7×38.4	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
35 ジョン・コンスタブル	ウェイマス湾 (ボウリーズの入江)	1816	油彩・厚紙	20.3×24.7	
36 ジョン・コンスタブル	楡の幹の習作	1821頃	油彩・紙	30.6×24.8	
37 リチャード・レドグレイヴ	なつかしきイングランドの農場	1854	油彩・キャンヴァス	103.5×137.1	
38 ジョーゼフ・マロード・ ウィリアム・ターナー	セイント・マイケルズ・マウント	1834	油彩・キャンヴァス	61.0×77.4	
39 ジョン・リネル	収穫の月	1852-53	1855加筆	油彩・キャンヴァス	66.0×99.0
40 ジェームズ・ベイカー ・バイン	カンバーランド、サールミア	1850	1867大幅に加筆	油彩・キャンヴァス	85.7×131.5
41 フレデリック・ウォータース ・ウォッツ	ワイ川のほとり	1830年代		油彩・キャンヴァス	82.5×118.1
42 ウィリアム・ジェームズ ・ミューラー	風車のある海岸風景	1837		油彩・キャンヴァス	86.6×140.7
43 クラークソン・ スタンフィールド	ドーヴァー海岸	1863頃		油彩・キャンヴァス	42.6×62.9
44 ジョン・ライト ・オウクス	不安に駆られて、巣から舞い上がる千鳥	おそらく1879		油彩・キャンヴァス	60.9×90.1
45 クラークソン・ スタンフィールド	風でスプリットが折れたオランダの漁船 (ドッガー・バンクにて)	1846		油彩・キャンヴァス	76.2×69.9
46 ジョン・ジェイムズ ・シャロン	ヘイスティングズ、 そよ風のなか舟を陸に寄せる	1819		油彩・キャンヴァス	133.4×213.4
47 トーマス・クレズウィック	コーンウォール、ランズ・エンド	1842		油彩・キャンヴァス	92.1×130.2
48 フランシス・ダンビー	ノルウェー、リーンスフィヨルド湖	1841		油彩・キャンヴァス	82.5×116.7
49 ウィリアム・マルレディ	ブラックヒース公園	1832着手	1852完成	油彩・パネル	34.3×60.9
50 リチャード・バーチェット	ワイト島のサンダウン湾を 見おろす景色	1855頃		油彩・キャンヴァス	34.3×57.2
51 ジェームズ・フランシス ・ダンビー	川からみた国会議事堂	1866		油彩・キャンヴァス	44.4×74.9
52 ジョージ・ヴィカット ・コウル	家畜と人物のいる冬景色	1865		油彩・キャンヴァス	81.9×119.7
53 ジョン・ウィリアム ・インチポールト	モントルー上流の景色	1880		水彩	30.8×60.6
54 チャールズ・ロバート ・レズリー	庭の情景	1840		油彩・キャンヴァス	30.5×40.6
55 ウィリアム・レドモア ・ビッグ	小屋のなか、老女がお茶の用意をしている	1793		油彩・キャンヴァス	61.0×73.7
56 ウィリアム・レドモア ・ビッグ	小屋の外、椅子に腰かけた働き手が パイプに煙草をつめている	1793		油彩・キャンヴァス	61.0×73.7
57 リチャード・レドグレイヴ	ヨークシャー、ロウクビー、 モーザム・タワーの玄関	1838		水彩	24.2×34.0
58 チャールズ・ウエスト・コップ	ヨークシャー、ロウクビー、 モーザム・タワーの玄関	1838		水彩	23.5×29.5
59 チャールズ・ウエスト・コップ	ヨークシャー、リーヴォウにある 田舎家の内部	1840		水彩	23.5×33.7
60 チャールズ・ウエスト・コップ	田舎家の内部	1840頃		水彩	23.0×33.2
61 サー・エドウィン・ランシア	石割り人夫とその娘	1830		油彩・パネル	45.7×58.4
62 サー・エドウィン・ランシア	二匹の犬	1822		油彩・キャンヴァス	43.2×54.0
63 トーマス・ダンカン	悲しい心	1841		油彩・パネル	77.4×59.6
64 トーマス・ブルックス	愛の夜明け	1846		油彩・キャンヴァス	111.7×86.4
65 ヘインズ・キング	嫉妬と戯れ	1874		油彩・キャンヴァス	71.4×91.7
66 チャールズ・ウエスト・コップ	胸騒ぎ	1844		油彩・パネル	76.2×57.8

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
67	フレデリック・グッドール 村の郵便局	1849	油彩・パネル	20.3×29.2	
68	ジョージ・スミス 誘惑、果物売り	1850	油彩・パネル	63.5×76.1	
69	トーマス・ウェプスター 市へ行く	1837	油彩・パネル	55.9×76.1	
70	トーマス・ウェプスター 市から帰る	1837	油彩・パネル	55.9×76.1	
71	ジョン・コルクット 対照、若さと老年 ・ホースリー	1839	油彩・パネル	45.7×40.6	
72	トーマス・ウェプスター 病気と健康	1843	油彩・パネル	50.7×81.0	
73	ウィリアム・コリンズ 田舎の礼儀正しい振る舞い	1833	油彩・パネル	45.6×61.0	
74	フレデリック・ダニエル お医者さんごっこをする子供たち ・ハーディ	1863	油彩・キャンヴァス	44.7×61.0	
75	ウィリアム・マルレディ けんかを止める	1816	油彩・パネル	71.8×93.2	
76	ジョン・モーガン 雪合戦をする子供たちのいる冬景色	1865	油彩・キャンヴァス	61.0×130.7	
77	フィリップ・シンプソン わたしは闘う	1824	油彩・キャンヴァス	76.1×64.7	
78	リチャード・ロズウェル 物乞いの修業	1837	油彩・キャンヴァス	92.6×73.6	
79	ウィリアム・マルレディ 標的、さくらんぼでねらう	1822着手 1847か48完成	油彩・キャンヴァス	38.4×45.4	
80	ジョン・ロバートソン・リード テームズ川、夕暮れ	1886	油彩・キャンヴァス	63.5×94.6	
81	ギユスターヴ・ドレ シティの荷役	1869頃	ペン インク ウォッシュ 壁紙のタッチ	36.2×26.1	
82	ジョージ・シャープ オールド・ボンド・ストリート、 水彩画家協会ギャラリー内部	1834	水彩	29.6×36.9	
83	ジョーゼフ・マロード 僧院回廊から見た ・ウィリアム・ターナー ソールズベリー大聖堂の南面	1802頃	水彩	68.0×49.6	
84	フレデリック・マッケンジー リンカーン大聖堂の北西からの眺め	1850頃	水彩	77.5×103.5	
85	サミュエル・ブラウト ヴェルツブルク		水彩	65.4×47.6	
86	ジョージ・シェファード エディンバラ近郊、ロスリン礼拝堂の 「プレントイス・ビラー」を描く	1809	水彩	44.4×63.8	
87	ジョージ・キャタモウル バンクォーを殺すために雇われた者たちに 指図するマクベス	1850頃	水彩	34.0×49.2	
88	ジョン・フレデリック 待ちくたびれた近習 ・テイラー		水彩	50.8×37.8	
89	ジョーゼフ・ナッシュ サマセット、モンタキユート・ハウスのポーチ	1842	水彩	75.5×53.4	
90	ジョーゼフ・ナッシュ ノウルのカートウーン・ギャラリー	1841	水彩	53.7×75.7	
91	ジョージ・フェネル スカイ島、コルイス湖とクークリン山地 ・ロブソン	1826頃	水彩	64.2×111.8	
92	ジョーゼフ・ジョン 小海老を採る人たち ・ジェンキンス	1850	水彩	45.1×59.7	
93	ヴァレンタイン アザレア ・バーソロミュー	1840	水彩	41.9×33.9	
94	ヴァレンタイン 椿 ・バーソロミュー	1840	水彩	37.1×27.0	
95	ウィリアム・ヘソリー 聖ヴァレンタインの日 ・ハント	1835-40頃	水彩	25.1×18.2	
96	フレデリック・ウォーカー 春	1864	水彩	62.2×50.2	
97	フレデリック・ウォーカー 秋	1865	水彩	61.5×49.9	
98	エドワード・ダンカン ガーンジの海岸での海藻採り	1853	水彩	38.8×69.3	
99	サミュエル・バーマー 航海(インドへの渡航、父の祝福と母の折り)	1858	水彩	19.4×42.9	
100	ピーター・デ・ウイント ノッティンガム	1848頃	水彩	29.0×76.2	
101	ジョン・マーティン リッチモンド・パーク	1850	水彩	29.6×59.4	
102	ジョージ・バレット(子) 教会の庭での想い、月光	1842	水彩	40.0×50.8	
103	ジョーゼフ・マロード ノーサンバランド、ウォークワース城 ・ウィリアム・ターナー	1799	水彩	50.8×75.0	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
104	ウィリアム・アンドリュース ノーサンバランド、バンバラ城 ・ネスフィールド	1832	水彩	53.0×70.2	
105	ピーター・デ・ウイント キャッスル・ヒルから見た リンカーン大聖堂の西正面	1841	水彩	104.8×80.0	
106	ジョン・ヴァーリー 山の風景	1841頃	水彩	27.4×46.5	
107	デイヴィッド・コックス サンドピット・ゲートから見たウインザー城		水彩	26.7×36.8	
108	ジョージ・アーサー ヨークシャー、ポールトン修道院 ・フリップ	1847 旧水彩画協会展に出品	水彩	35.6×62.3	
109	サー・ジョン・エヴァレット 二回目の説教 ・ミレイ	1864	水彩	24.2×17.2	
110	サー・ジョン・エヴァレット 結婚式での幽霊 ・ミレイ	1853/4	鉛筆 ペン インク	29.5×28.3	
111	ダンテ・ゲイブリエル 大鴉 ・ロセッティ	1848頃	ペン インク	23.2×21.6	
112	フロレンス・クラクストン パリスの審判、牧歌	1860	水彩	13.0×17.0	
113	エリザベス・シッダル 聖チェチーリア	1855	ペン インク	23.9×10.1	
114	ダンテ・ゲイブリエル エリザベス・エリナー・シッダルの肖像 ・ロセッティ	1854	ペン インク	22.9×9.9	
115	クレメンティーナ、レイディ 写真習作 ・ヘイウオーデン	1857-64頃	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	28.7×24.1	
116	ロバート・コリンソン 迷える兎	1857	油彩・厚紙	38.1×48.2	
117	ウィリアム・ペル・スコット タインマス	1860年代	水彩	24.9×34.6	
118	ウィリアム・ペル・スコット 鉄と石炭、タイン地方の産業	1861頃	水彩	24.5×23.8	
119	チャールズ・オールストン 1854年の豊作 ・コリンズ	1854	油彩・キャンヴァス	43.8×34.9	
120	サー・エドワード・コウリー 夫の安全な帰還を心待ちにする ・バーン=ジョーンズ ブルターニュのドーリギン	1871	グアッシュ	26.7×37.4	
121	ウィリアム・ホールマン フィレンツェ、ボンテ・ヴェッキョ ・ハント	1867	水彩	26.7×54.2	
122	サー・エドワード・コウリー 愛 ・バーン=ジョーンズ	1880年代	水彩	211.0×107.0	
123	ヘンリー・ジョージ 《ダンテとベアトリーチェ》のためのスケッチ アレクサンダー・ホリディ	1870年代	ペン 茶色と黒のインク 鉛筆 チョーク	22.8×26.5	
124	ジュリア・マーガレット ベアトリーチェ ・キヤメロン	1866	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	35.7×28.7	
125	デイヴィッド・ウイスキー ダンテとしてのジョン・エヴァレット・ミレイ ・ウインフィールド	1864頃	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	21.2×16.2	
126	デイヴィッド・ウイスキー ヴェネチア風に装ったウィリアム・ ・ウインフィールド ホールマン・ハント	1863	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	21.0×16.2	
127	クレメンティーナ、レイディ 写真習作 ・ヘイウオーデン	1864頃	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	20.8×24.2	
128	クレメンティーナ、レイディ 写真習作 ・ヘイウオーデン	1863-64頃	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	22.9×27.1	
129	ダンテ・ゲイブリエル シリアのアスタルテ女神 ・ロセッティ	1875	クレヨン	54.6×44.8	
130	サー・エドワード・コウリー バーン=ジョーンズに詩を読み聞かせる ・バーン=ジョーンズ ウィリアム・モリス	1880頃	ペン インク	18.0×11.5	
131	ウィリアム・モリス 花の精		水彩	28.0×17.7	
132	フレデリック・サンデイス メデューサ	1875頃	チョーク	72.7×54.6	
133	フレデリック・サンデイス 誇り高きメイジー	1867頃	チョーク	43.9×33.7	
134	シメオン・ソロモン ヴィーナスの神殿にて	1865	水彩	25.4×19.8	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
135 ジュリア・マーガレット ・キャメロン	横顔のトーマス・カーライル	1867	カーボン・プリント	30.7×25.8	
136 ジュリア・マーガレット ・キャメロン	正面向きのサー・ジョン・ハーシェル	1867	カーボン・プリント	35.4×26.7	
137 ジュリア・マーガレット ・キャメロン	アルフレッド・テニスン卿	1865	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	25.2×20.1	
138 ジュリア・マーガレット ・キャメロン	ラファエッロ風の聖チェチーリア	1864-65	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	25.4×20.0	
139 サー・ジョン・ エヴァレット・ミレイ	堀割館のマリアーナ	1851	ペン インク	21.6×13.3	
140 サー・エドワード・コウリー ・バーン=ジョーンズ	マーリンとニムエ	1861	水彩	64.1×52.1	
141 ジュリア・マーガレット ・キャメロン	マーリンとヴィヴィアン	1874	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	32.6×26.2	
142 ダンテ・ゲイブリエル ・ロッセティ	ボルジア家の一族	1863	水彩	36.2×37.8	
143 シメオン・ソロモン	ハガルとイシマエルを追い払うアブラハム	1857	ウォッシュ	30.5×21.3	
144 フォード・マドックス ・ブラウン	寡婦の息子をその手に戻すエリヤ	1868着手	水彩	94.0×61.2	
145 アーサー・ヒューズ	白い雌鹿	1870頃	水彩	34.5×47.0	
146 ジョージ・プライス・ボイス	ウィルトシャー、ブラッドフォード・オン ・エイヴォン近くの古い年貢倉と農場の建物	1878	水彩	21.6×53.0	
147 ジョージ・プライス・ボイス	ノーサンバランド、ホルトン城を 東から眺める	1881	水彩	38.8×54.9	
148 ウィリアム・ヘンリー ・ハント	プリムローズと鳥の巣	1850頃	水彩	34.3×35.3	
149 フランシス・ベドフォード	カンタベリー大聖堂、洗礼堂の塔	1855頃	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	23.3×17.9	
150 ヘンリー・ジョージ・ アレクサンダー・ホリデイ	ホーズ・ウォーター	1860頃	水彩	22.8×29.2	
151 ヘンリー・ホワイト	ベタシコイド近くのルードゥル橋	1855-60	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	19.6×25.0	
152 クレメンティーナ、 レイディ・ヘイウォーデン	写真習作	1863-64頃	湿式コロジオン・ネガによる アルブミン・プリント	23.3×28.3	
153 ジョン・ラスキン	ツェルマット	おそらく1844	水彩	27.3×38.2	
154 ウィリアム・ダイス	睡蓮その他の植物の習作		水彩	21.6×34.7	
155 サー・ジョン・テニエル	ピュグマリオンと彫像	1878	水彩	58.5×36.5	
156 ギュスターヴ・ドレ	「うれしい死の神秘、すばやく傷つけてよ。 この世の外ならどこへでも」	1871	インディアン・ インクと白のハイライト	24.7×18.3	
157 ウィリアム・ハミルトン	ロウの『ジェイン・ショアー』のジェイン ・ショアーを演ずるミセス・シドンズ	1791	水彩 楕円	24.2×15.9	
158 ウィリアム・エティ	マダラのマリアの習作	1845?	油彩・キャンヴァス	53.9×63.5	
159 フレデリック・ クルックシャンク	肘掛け椅子に座る女性の肖像	1830	水彩	45.1×33.0	
160 エドワード・キリンワース ・ジョンソン	若き未亡人	1877	水彩 グアッシュ	52.1×34.6	
161 エミリー・ファーマー	疑惑		水彩	61.3×41.2	
162 チャールズ・ウェスト・コウブ	母子	1852	油彩・キャンヴァス	36.2×25.4	
163 アレキサンダー・ファーマー	心配な時	1865	油彩・パネル	30.2×40.7	
164 エデイス・ヒューム	海岸風景		油彩・キャンヴァス	49.5×74.9	
165 マルズ・パーケット・フォスター	乳搾りの娘	1860	水彩	29.7×44.5	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
166 トーマス・アムストロング	牧草畑		油彩・キャンヴァス	113.6×157.1	
167 エドモンド・トーマス ・パリズ	薔薇、女性群像	1832	油彩・円形キャンヴァス	直径47.2	
168 エドモンド・トーマス ・パリズ	百合、女性群像	1832	油彩・円形キャンヴァス	直径47.2	
169 サミュエル・デ・ワイルド	モートンの喜劇『スピード・ザ・ブラウ』に 登場するアッシュフィールド夫人を演ずる 女優ミセス・ダヴェンポート	1802	水彩	23.5×17.8	
170 エドワード・フランシス ・バーニー	淑女のための上品な学校		水彩	50.2×72.7	
171 アイザック ・クルックシャンク	ダム・スクール (女教師の私塾)		水彩	17.8×23.5	
172 リチャード・レッドグレイヴ	女家庭教師	1844	油彩・キャンヴァス	71.1×91.5	
173 アンジェリカ・カウフマン	青年に弓を引く妖精		油彩・楕円の銅板	31.5×38.1	
174 マーガレット・ギリス	信頼		水彩	60.6×30.5	
175 ケイト・グリーンハウエイ	白い服を着た三人の少女		水彩	18.5×35.6	
176 ヘレン・アリンガム	サリー、チディングフォールドの田舎家		水彩	39.3×33.0	
177 メアリー・エレン・ベスト	ヨーク、エルムズエル・ホールの台所	1834	水彩	25.4×35.6	
178 マーガレット・サラ ・カーベントナー	姉妹	1839	油彩・パネル	30.5×35.6	
179 アルフレッド・モーガン	陶器工房		油彩・キャンヴァス	27.0×61.0	
180 メアリー・モーザー	薔薇、その他の花		水彩	25.4×22.9	
181 アンナ・エアリイ	オーク・アップルズ (カシワ没食子)		水彩	26.0×42.0	
182 ミセス・トーマス・ ウィリアム・エンジェル (ヘレン・コーデイリア ・コールマン)	アザレア		水彩	24.2×32.4	



会場風景

3. 村井正誠展

一色と形と心—人間の詩

会 期：1995年7月1日(土)～7月30日(日)

休 館 日：月曜日

主 催：和歌山県立近代美術館

会 場：2階展示室C、1階展示室B

観 覧 料：一般800(640)円／高大生500(400)円／小中生300(240)円

()内は20名以上の団体料金、高齢者(65歳以上)、障害者は無料

関連事業：7月1日(土)14:00-15:00 美術館ホール

「作家と話そう—村井正誠」

講師 村井正誠、聞き手 植野比佐見

7月8日(土)14:00-15:00 美術館ホール

ミュージアム・トーク

解説 植野比佐見

印刷物：ポスター：B2判

ちらし：A4判

出品目録：A5判8ページ

図録：A4判200ページ 表紙デザイン：村井正誠

本文

村井正誠という存在—日本の戦後美術の貴重な礎石として／小川正隆

《パンチュール》：絵画の成立—村井正誠の初期作品のために／植

野比佐見

《URBAIN》について／堀 元彰

村井正誠—どこまでも拡大する自己／古川秀昭

図版

年譜／三木哲夫編

参考文献／三木哲夫編

資料抄

担当学芸員：植野比佐見、三木哲夫

趣 旨：日本抽象絵画のバイオニアとして、また、つねに独創的な作品の世界を展開し続けている作家として高く評価されている村井正誠の、油彩画、素描、版画、彫刻など120点により、初期から現在までにいたる歩みを回顧した。この展覧会は、とくに初期作品に光をあて、日本の近代・現代美術にたいするそのはたらきをあきらかにすることによって、その創作活動を歴史的に位置づけようとするものであった。さまざまにスタイルを変えながらも、人間とのつながりにおいて物事を見る、というこの作家にとって大切な絵画理論と、その「人間」をテーマにした作品は、一般にとりつきにくいと言われる抽象絵画に、てがかりを与えてくれた。

関連記事●村井正誠展始まる 日本抽象絵画の先駆者

和歌山新報 1995.7.2 6面

●美術 抽象画に浮かぶ「人間」村井正誠展 平

朝日新聞 1995.7.21 夕刊 12面

●村井正誠展開く 近代美術館で七月中 紀伊新聞 1995.7.1 2面

●「人間」テーマに抽象画100点

ニュース和歌山 1995.6.22 7面

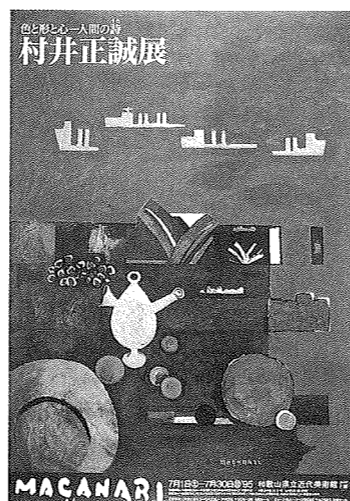
●「色と形と心」117点展示

読売新聞 1995.7.1 31面 地域ニュース

●黒い線 植野比佐見 読売新聞 1995.7.11 26面

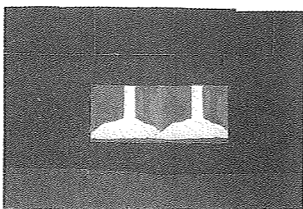
●創 心と形と色を一体に 信濃毎日新聞 1995.7.5 12-13面

●人 日本抽象絵画の先駆者 和歌山新報 1995.7.27 4面



ポスター

MAGANARI



図録

1995

作品名

制作年

技法・材質

寸法(cm)

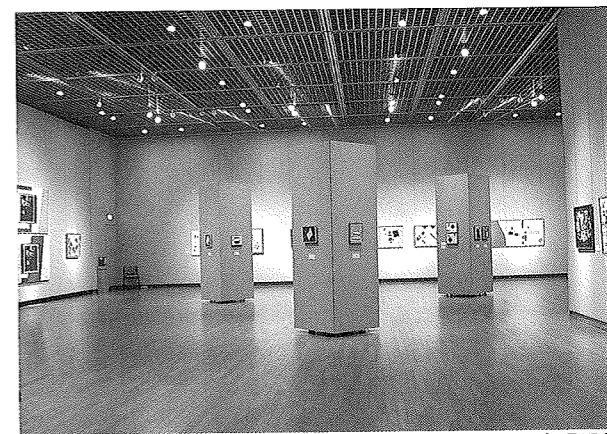
所蔵者名

出品リスト

1 蓬莱山風景(新宮)	1926(昭和1)	油彩・キャンバス	72.8×60.9	文化学院
2 日比谷公園	1925(大正14)	油彩・板	11.5×16.5	文化学院
3 ゴルジュ・ド・ルー	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	80.4×100.4	目黒区美術館
4 フランスの庭	1929(昭和4)頃	油彩・キャンバス	45.4×37.8	個人蔵
5 パンチュール No.1	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	100.0×81.0	東京都現代美術館
6 パンチュール No.2	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	100.0×80.3	和歌山県立近代美術館
7 アラブの窓	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	80.0×196.3	和歌山県立近代美術館
8 ゴルフジュアンの船	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	99.7×80.3	目黒区美術館
9 ゴルフジュアンの船	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	100.0×80.3	愛知県美術館
10 アラブの店	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	100.2×80.7	目黒区美術館
11 ゴルフジュアンの庭 No.1	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	100.0×80.5	東京都現代美術館
12 姉妹	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	100.2×80.3	和歌山県立近代美術館
13 水浴	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	100.0×81.2	和歌山県立近代美術館
14 ボウトレ・アラブ	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	73.0×61.0	和歌山県立近代美術館
15 ゴルフジュアンの庭	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	100.5×80.7	個人蔵
16 静物(赤い帽子)	1931(昭和6)頃	油彩・キャンバス	72.7×90.8	和歌山県立近代美術館
17 朝のスエズ	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	46.0×55.0	広島県立美術館
18 パンチュール No.3	1929-34(昭和4-9)	油彩・キャンバス	113.4×194.2	和歌山県立近代美術館
19 ゴルフジュアンの朝	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	145.6×112.3	和歌山県立近代美術館
20 アカデミア・ベル・アルチ	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	81.3×130.0	和歌山県立近代美術館
21 寺院の壁	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	145.6×112.4	福岡市美術館
22 花	1934(昭和9)頃	油彩・キャンバス	60.5×50.5	芦屋市立美術博物館
23 泰山木	1934(昭和9)頃	油彩・キャンバス	65.0×52.6	個人蔵
24 パンチュール	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	37.3×45.7	個人蔵
25 URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	111.8×193.7	和歌山県立近代美術館
26 ウルバン	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	130.0×162.0	神奈川県立近代美術館
27 URBAIN	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	72.5×233.5	東京国立近代美術館
28 ウルバン	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	60.5×72.7	個人蔵
29 URBAIN	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	27.6×45.6	個人蔵
30 鳥A	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	22.3×27.4	個人蔵
31 支那の町No.1	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	112.1×193.9	三重県立美術館
32 百霊廟	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	72.6×116.4	個人蔵
33 百霊廟	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	72.8×116.2	個人蔵
34 形象A	1939(昭和14)	油彩・板	89.0×145.1	和歌山県立近代美術館
35 CITÉ 1	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	113.7×194.2	福岡市美術館
36 CITÉ	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	60.7×72.7	東京国立近代美術館
37 CITÉ 2	1939(昭和14)	油彩・板	73.0×91.5	個人蔵
38 Cité	1939(昭和14)頃	油彩・キャンバス	81.0×100.4	個人蔵
39 Village	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	131.5×162.5	武蔵野美術大学美術資料図書館
40 URBAIN A	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	26.9×41.0	個人蔵
41 URBAIN B	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	27.0×41.0	個人蔵
42 四つのパンチュール No.1	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	60.5×73.0	世田谷美術館
43 四つのパンチュール	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	60.5×72.5	個人蔵
44 四つのパンチュール No.2	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	60.5×71.0	ふくやま美術館
45 四つのパンチュール	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	60.8×72.5	個人蔵
46 Cité No.2	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	113.7×194.2	福岡市美術館
47 パンチュール	1940(昭和15)	油彩・板	81.0×100.2	和歌山県立近代美術館
48 九つの象型(鳥B)	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	21.9×26.8	個人蔵
49 九つの象型(黄色い太陽)	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	26.8×22.4	個人蔵
50 九つの象型	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	27.4×22.2	個人蔵

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者名
51 九つの象型	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	33.2×24.2	個人蔵
52 九つの象型 No.3	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	27.3×22.0	個人蔵
53 九つの象型 No.7	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	26.9×22.4	個人蔵
54 九つの象型 No.9	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	27.5×22.0	個人蔵
55 かたち A	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	21.8×27.4	個人蔵
56 かたち B	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	21.6×27.1	個人蔵
57 作品	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	27.2×22.4	個人蔵
58 作品	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	27.5×21.8	個人蔵
59 作品	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	27.3×22.3	個人蔵
60 作品	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	27.3×21.7	個人蔵
61 Cité	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	60.3×72.3	個人蔵
62 Cité B	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	60.6×72.7	愛知県美術館
63 Cité	1940(昭和15)頃	油彩・キャンバス	80.1×99.8	個人蔵
64 百霊廟	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	91.2×125.7	和歌山県立近代美術館
65 聚落	1943(昭和18)	油彩・キャンバス	80.1×232.6	和歌山県立近代美術館
66 聚落	1943(昭和18)	油彩・キャンバス	100.5×80.7	富山県立近代美術館
67 聚落	1943(昭和18)	油彩・キャンバス	73.0×90.8	世田谷美術館
68 花	1944(昭和19)頃	油彩・キャンバス	72.6×60.5	個人蔵
69 花	1944(昭和19)頃	油彩・キャンバス	45.5×38.1	個人蔵
70 Crucifix	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	100.0×79.9	個人蔵
71 天使	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	116.9×90.7	愛知県美術館
72 天使とトピア	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	118.0×91.0	神奈川県立近代美術館
73 少女の顔	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	45.5×38.0	個人蔵
74 聖母子	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	72.2×60.3	個人蔵
75 母と子 B	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	99.6×79.5	個人蔵
76 母子像	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	145.4×112.4	和歌山県立近代美術館
77 母と子	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	162.1×130.2	和歌山県立近代美術館
78 手	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	45.5×45.5	個人蔵
79 役者	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	162.0×131.1	岐阜県美術館
80 子供と青衣の母	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	194.0×259.3	世田谷美術館
81 料理人	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	193.5×131.0	武蔵野美術大学美術資料図書館
82 白の上に	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	193.7×258.5	富山県立近代美術館
83 大きな顔	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	72.7×61.0	福岡市美術館
84 青の斑点	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	144.0×110.5	岐阜県美術館
85 顔	1957(昭和32)	油彩・キャンバス	53.0×45.5	個人蔵
86 顔(自画像)	1957(昭和32)	油彩・キャンバス	72.6×60.6	個人蔵
87 二人	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	145.5×112.2	岐阜県美術館
88 びらを配る二つの手	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	162.0×130.5	北海道立近代美術館
89 座っている人	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	161.9×130.5	和歌山県立近代美術館
90 黒い線	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	193.0×259.0	和歌山県立近代美術館
91 長い脚	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	182.3×227.0	北九州市立美術館
92 水辺の人々	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	182.0×230.0	神奈川県立近代美術館
93 人びと	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	194.3×259.0	福岡市美術館
94 木場の人	1967(昭和42)	油彩・キャンバス	194.0×259.0	個人蔵
95 風の中の除幕式	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	193.0×259.0	和歌山県立近代美術館
96 夜の人々	1971(昭和46)	油彩・キャンバス	162.5×130.7	武蔵野美術大学美術資料図書館
97 自画像(細い線)	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	162.0×130.5	北海道立近代美術館
98 自画像(太い線)	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	和歌山県立近代美術館
99 三人の巨匠達	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	227.5×182.0	岐阜県美術館
100 地中海	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	227.5×182.0	岐阜県美術館
101 サハラの人たち	1983(昭和58)	油彩・キャンバス	227.0×182.0	富山県立近代美術館

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者名
102 たくましき人々	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	194.3×259.2	広島市現代美術館
103 自画像	1991(平成3)	油彩・キャンバス	162.0×130.0	芦屋市立美術館
104 大覚寺	1992(平成4)	油彩・キャンバス	130.2×388.6	世田谷美術館
105 紀州	1993(平成3)	油彩・キャンバス	197.0×263.0	個人蔵
106 大覚寺3	1994(平成6)	油彩・キャンバス	130.0×388.0	個人蔵
107 イタリアの庭	1932(昭和7)頃	エッチング・紙	11.0×20.7	個人蔵
108 百霊廟	1942(昭和17)	木版・紙	67.8×169.4	個人蔵
109 風	1962(昭和37)	シルクスクリーン・紙	76.2×56.0	個人蔵
110 泳ぐ人	不詳	インク・紙	23.3×35.6	個人蔵
111 3人	1980(昭和55)	グワッシュ、黒チョーク・紙	35.5×49.0	個人蔵
112 顔	1982(昭和57)	パステル・紙	65.3×49.7	個人蔵
113 人々	1982(昭和57)	パステル・紙	50.0×65.2	個人蔵
114 人	1990(平成2)	木炭、パステル・紙	54.0×38.0	個人蔵
115 人	1978(昭和53)	ブロンズ鑄造	21.2×10.0×3.5	個人蔵
116 人	1978(昭和53)	ブロンズ鑄造	21.5×11.6×5.0	個人蔵
117 子供	1978(昭和53)	ブロンズ鑄造	17.0×24.5×8.5	個人蔵
118 警察官	1979(昭和54)	ブロンズ鑄造	19.5×25.5×8.0	個人蔵
119 料理人	1980(昭和55)	ブロンズ鑄造	28.7×29.0×9.7	個人蔵
120 人	1986(昭和61)	ブロンズ鑄造	21.2×12.0×3.7	個人蔵



会場風景

4. 美術館にいったよ!

—風景ってなあに—

会 期：1995年8月8日(火)～8月31日(木)
休 館 日：月曜日
主 催：和歌山県立近代美術館
会 場：2階展示室C
観 覧 料：常設展と共通
関 連 事 業：8月12日(土) 14:00 美術館ホール
ミュージアム・トーク

解説 浜田拓志

印 刷 物：ポスター：B3判

出品目録：A4判 2頁

リーフレット：A4判 8頁

作品解説／浜田拓志

図版

美術館周辺地図

担当学芸員：浜田拓志

趣 旨：この展覧会は、こどもたちに美術館と美術作品にもっと親しんでもらおうという趣旨で企画された。

展覧会ではおもに当館のコレクションを中心として、日本画、洋画、版画、彫刻、写真などさまざまなジャンルから風景を題材としている作品を紹介して、風景とは何かを一緒に考えた。

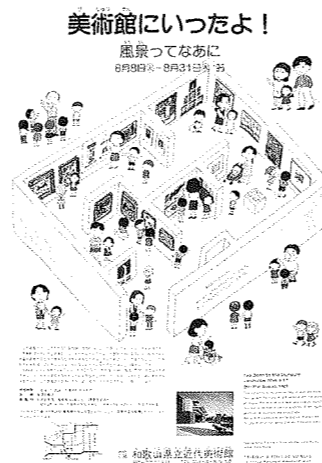
またこの展覧会にあわせて、美術の歴史、技法などについて、また美術観賞のマナーについてリーフレットでかんたんに説明し、はじめて美術館にきてくれるこどもたちにも美術を身近に感じてもらえるように工夫した。

関連記事 ●夏休み最後の思い出づくり

和歌山新報 1995.8.24 4面 文化

●那智の滝と星の関係は？ 浜田拓志

読売新聞 1995.8.22 26面 地域ニュース



ポスター



リーフレット

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
出品リスト					
1	ビルケンハイアー, ダイアナ MANHATTAN WALLS #6 East Village "Storefront"	1991 (昭和58)	シルクスクリーン・紙	50.7×73.5	
2	ビルケンハイアー, ダイアナ MANHATTAN WALLS #7 "STILL LIFE WITH HYDRANT"	1988 (昭和63)	シルクスクリーン・紙	70.0×89.0	
3	ボイル, マーク 黒いふち石の研究	1980-1981 (昭和55-56)	彩色・ファイバーガラス	183.0×183.0	
4	クリスト 囲まれた島々/フロリダ州マイアミ、 ビスケーン湾のためのプロジェクト	1983 (昭和58)	鉛筆、パステル、クレヨン、 グワッシュ、布、航空写真・紙	38.0×165.0	106.0×165.0
5	クリスト 梱包されたボン・ヌフ/パリのプロジェクト	1985 (昭和60)	鉛筆、木炭、パステル、 クレヨン、航空写真・紙	38.0×244.0	106.0×244.0
6	フルトン, ハミッシュ ブレコン・ビーコンズ	1987 (昭和62)	写真・テキスト	119.5×137.7	
7	フルトン, ハミッシュ 山の辺の道	1986 (昭和61)	写真・テキスト	139.0×110.0	
8	ゴールズワージー, アンディ 色にしたがって一列に並べたかえでの葉 /大内山村/1987年11月14日	1991 (平成3)	カラープリント	119.1×59.7	
9	グリーン, アラン 3つと4つ	1989 (平成元)	油彩・キャンバス	155.0×160.0	
10	グリーン, アラン 深紅色にかこまれた白	1982 (昭和57)	油彩・キャンバス	201.0×201.0	
11	ホックニー, デビッド バンドン・ホール	1983 (昭和58)	フォト・コラージュ	124.0×163.0	
12	ロート, アンドレ ミルマンドの城壁	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	37.9×45.0	
13	ラウシェンバーク, ロバート 空の庭	1969 (昭和44)	リトグラフ・シルクスクリーン・紙	224.8×106.2	
14	ローゼンクワイスト, ジェームズ スペース・ダスト	1989 (平成元)	リトグラフ・コラージュ・紙	168.9×267.3	
15	ウェッセルマン, トム シースケープ#8	1966 (昭和41)	アクリル・キャンバス	173.5×106.5	
16	岡田 謙三 入江	1959 (昭和34)	油彩・キャンバス	188.0×152.0	
17	奥野 稔和 92V-0303	1992 (平成4)	カラープリント	150.0×200.0	
18	小野 忠重 工場街	1935 (昭和10)	木版・紙	48.5×48.3	
19	小野 木学 風景F	1970 (昭和45)	油彩・キャンバス	131.0×131.0	
20	川上 澄生 新東京百景 銀座	1929 (昭和4)	木版・紙	18.2×24.2	
21	川口 軌外 エグリーズ寺院	1928 (昭和3)	油彩・キャンバス	54.7×45.5	
22	川口 軌外 少女と貝殻	1934 (昭和9)	油彩・キャンバス	167.0×267.0	
23	川口 軌外 風景	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	65.5×80.5	
24	川端 龍子 白浜・円月島	1949 (昭和24)	墨、顔料・紙	47.0×69.0	
25	岸中 延年 Spring into View 90-13	1990 (平成2)	フォトエッチング、ドローイング・紙	160.0×160.0	
26	木下 義謙 カーニユ風景	1929 (昭和4)	油彩・キャンバス	60.5×72.5	
27	国枝 金三 紀州風景	1919 (大正8)	油彩・キャンバス	45.3×53.0	
28	小林 敬生 蘇生の刻 S63-12	1988 (昭和63)	木口木版・紙	100.0×170.0	
29	小林 敬生 蘇生の刻-緑の星-A-	1990 (平成2)	木口木版・紙	110.0×156.0	
30	佐伯 祐三 オワーズ河周辺風景	1924 (大正13)	油彩・キャンバス	45.5×53.0	
31	佐伯 祐三 モラン風景	1928 (昭和3)	油彩・キャンバス	38.0×45.0	
32	鳴 剛 無題F	1982 (昭和57)	アクリル・キャンバス	182.0×227.0	
33	清水 正博 数寄屋橋より	昭和初期	木版・紙	17.8×24.0	
34	清水 正博 都会風景	昭和初期	木版・紙	33.2×24.8	
35	神中 親子 海岸風景	1888-1892 (明治21-25)	油彩・キャンバス	38.0×80.4	
36	吹田 草牧 夏国之初夏	1919 (大正8)	絹本・彩色	127.0×42.0	
37	菅井 汲 夜の風景	1955 (昭和30)	油彩・キャンバス	77.5×195.0	
38	杉本 博司 カリブ海 ジャマイカ	1980 (昭和55)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	51.0×61.0	
39	杉本 博司 大平洋 オレゴン I	1985 (昭和60)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	51.0×61.0	
40	杉本 博司 日本海 北海道 I	1988 (昭和63)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	51.0×61.0	
41	杉本, ヘンリー カーメルハイランド海辺	1937 (昭和12)	油彩・キャンバス	80.5×100.0	
42	鈴木 治 太陽のシグナル	1984 (昭和59)	陶	61.0×49.0×18.0	
43	須田 国太郎 風景	1950 (昭和25)	油彩・キャンバス	49.8×60.5	
44	建島 覚造 LANDSCAPE 14	1983 (昭和58)	合板	40.0×90.0×90.0	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
45 田中 恭吉	和歌山風景	制作年不明	水彩他・紙	34.2×27.3	
46 田中 恭吉	失題(運動場)	1913 (大正2)	水彩・インク	15.0×23.5	
47 田中 恭吉	失題(雪景)	1913 (大正2)	水彩・インク	18.5×11.6	
48 田中 恭吉	入日と路	1913 (大正2)	水彩・インク	14.0×17.0	
49 田中 恭吉	暮を守る石像	制作年不明	ペン・紙	15.3×8.7	
50 田中 恭吉	病める夕	1913 (大正2)	木版・紙	15.7×10.4	
51 田中 恭吉	風景	1914 (大正3)	木版・紙	13.0×18.9	
52 鳥海 青児	蘇州風景	1939 (昭和14)	油彩・キャンバス	88.0×145.3	
53 土田 麦僊	梅ヶ畑村	1915 (大正5)	顔料・絹	145.0×50.8	
54 出店 久夫	私風景 '88-APRIL-1	1988 (昭和63)	モノタイプ・印画紙	91.5×182.5	
55 奈良 巖	A Turning Point V	1985 (昭和60)	シルクスクリーン・紙	59.5×84.0	
56 碓 伊之助	プザンソン風景	1924 (大正13)	油彩・キャンバス	50.1×60.8	
57 長谷川 利行	工場街	1915 (大正4)	グワッシュ・紙	14.0×21.5	
58 浜口 陽三	パリの屋根	1956 (昭和31)	カラーメゾチント・紙	14.3×19.2	19.0×19.0
59 原 勝四郎	白良浜		油彩・板	18.4×24.0	
60 穂田 一穂	幻想那智	1979 (昭和54)	顔料・紙	212.0×170.0	
61 日高 昌克	夏山雨後図	1957 (昭和32)	墨、顔料・紙	40.5×45.5	
62 平川 清蔵	クレーン	1932 (昭和7)	リノカット・紙	23.0×16.8	
63 平塚 運一	東京震災跡風景 築地	1925 (大正14)	木版・紙	20.9×28.5	
64 平塚 運一	東京震災跡風景 東橋	1925 (大正14)	木版・紙	20.9×28.5	
65 福岡 道雄	石をおとす (2)	1977 (昭和52)	黒色強化ポリエステル・木	95.0×60.0×45.0	
66 藤牧 義夫	ガード下	1934 (昭和9)	木版・紙	11.2×11.5	
67 前川 千帆	新東京百景 地下鉄	1931 (昭和6)	木版・紙	18.0×24.2	
68 村井 正誠	URBAIN No.1	1936 (昭和11)	油彩・キャンバス	111.8×193.7	
69 村井 正誠	ゴルフジュアンの朝	1934 (昭和9)	油彩・キャンバス	145.6×112.3	
70 森岡 完介	Beethoven at the Beach, Message 86-11P	1986 (昭和61)	孔版・紙	70.3×105.0	
71 保田 春彦	屋根 A	1980 (昭和55)	鉄	55.0×55.3×11.0	
72 保田 春彦	屋根 B	1980 (昭和55)	鉄	55.0×55.3×24.2	
73 保田 龍門	自画像	1915 (大正4)	油彩・キャンバス	61.0×50.0	
74 保田 龍門	宿の窓より (オンフルール風景)	1922 (大正11)	油彩・キャンバス	46.0×53.8	
75 山口 八九子	風景	1911 (明治44) 頃	顔料・絹	71.5×147.0	
76 山口 八九子	風景	1917 (大正6)	墨、顔料・紙(2曲1隻屏風)	151.0×139.0	
77 山本 正道	遺跡の見える風景	1976 (昭和51)	ブロンズ	25.0×96.0×40.0	
78 林 義明	農夫	1915 (大正4) 頃	油彩・キャンバス	53.0×41.0	
79 Y. Tokugawa	[風景]	制作年不明	油彩・キャンバス	40.0×52.0	

5. 小企画展 日本の近代版画

会 期：1995年8月8日(火)～9月24日(日)

休 館 日：月曜日

主 催：和歌山県立近代美術館

会 場：1階展示室B

観 覧 料：常設展と共通

関連事業：9月9日(土) 14:00 美術館ホール

ミュージアム・トーク

解説 三木哲夫

印刷物：出品目録：B5判6ページタテ3つ折

担当学芸員：三木哲夫

趣 旨：浮世絵版画に代表されるわが国の伝統版画は、明治以降、次第に衰退していった。その中で版画の世界に新しい風を吹き込んだのが、山本鼎らが提唱した「自画・自刻・自摺」による「創作版画」運動であった。今回の展示では、この「創作版画」運動が始まった1900年代から、大正・昭和前期にかけての版画の啓蒙普及の時代を経て、わが国の版画芸術が大きく開花した1970年頃までの動向を、4セクション、45作家70点の作品で紹介した。また、参考品として、戦前の版画家たちの作品発表の場として大きな役割を果たした。「創作版画雑誌」14タイトル20冊を展示した。

関連記事 ● 県出身の作家中心に70点「日本の近代版画」展

和歌山新報 1995.8.30 第4面

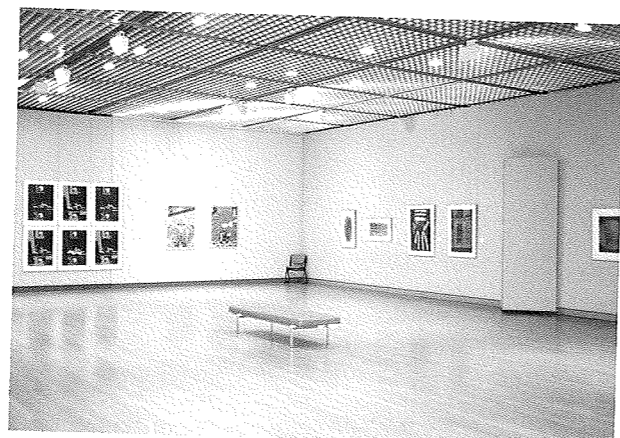


会場風景

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
出品リスト					
1 近代版画の先駆者たち(1904~1917)					
1 山本 鼎	漁 夫	1904(明治37)	木版・紙	16.4×11.2	
2 山本 鼎	ブルターニュの小湾	1912(明治45)	木版・紙	16.4×11.2	
3 石井 柏亭	木 場	1914(大正3)	木版・紙	24.0×17.5	
4 戸張 孤雁	稲村の秋	1912(明治45)	木版・紙	23.3×35.6	
5 太田 三郎	カフェの女	1914(大正3)	木版・紙	20.6×11.1	
6 岡本 帰一	夕の街	1913(大正2)	木版・紙	14.0×15.1	
7 香山 小鳥	風 景	1913(大正2)	木版・紙	12.3×8.5	
8 香山 小鳥	みつめる	1913(大正2)頃	木版・紙	18.0×11.7	
9 恩地 孝四郎	望と怖	1914(大正3)	木版・紙	15.0×11.0	
10 恩地 孝四郎	失 題	1914(大正3)	木版・紙	23.0×16.6	
11 田中 恭吉	五月の呪	1914(大正3)	木版・紙	15.7×10.7	
12 田中 恭吉	冬蟲夏草	1914(大正3)	木版・紙	15.7×13.0	
13 藤森 静雄	か げ	1914(大正3)	木版・紙	24.6×16.5	
14 藤森 静雄	灯のまえ	1914(大正3)	木版・紙	23.7×15.8	
2 戦前の版画家たち (1918~1944)					
15 川上 澄生	春の伏兵	1924(大正13)	木版・紙	23.5×33.0	第4回国画会展
16 平塚 運一	東京震災風景 あさくさ	1925(大正14)	木版・紙	28.0×21.0	
17 山口 進	静 物	1926(大正15)	木版・紙	23.8×16.3	
18 平川 清蔵	風 景 A	1926(大正15)	木版・紙	27.5×36.4	
19 碓 伊之助	そば屋	1923(大正12)	リトグラフ・紙	25.0×29.0	
20 織田 一磨	玉の井雪景	1932(昭和7)	リトグラフ・紙	21.5×31.0	
21 石井 鶴三	東京駅夕景	1928(昭和3)	木版・紙	23.8×34.0	
22 逸見 享	上海風景	1928(昭和3)	木版・紙	23.9×30.8	第6回春陽会展
23 亀井 藤兵衛	黒い家の風景	1928(昭和3)	木版・紙	21.0×31.0	第7回国画会展
24 杉本 義夫	海 女	1932(昭和7)	木版・紙	25.0×31.9	第1回熊野きつき会版画展
25 永瀬 義郎	香港夜景	1930(昭和5)	木版・紙	22.0×28.0	
26 旭 正秀	冬のエッフェル塔	1933(昭和8)	木版・紙	24.1×16.0	
27 前川 千帆	新東京百景 新宿夜景	1931(昭和6)	木版・紙	18.1×24.2	
28 藤森 静雄	大東京十二景のうち 花火の両国	1933(昭和8)	木版・紙	31.7×24.1	
29 前田 藤四郎	時 計	1932(昭和7)	リノカット・紙	27.3×35.0	
30 恩地 孝四郎	サーカス(ハーゲンバック・サーカスの印象)	1933(昭和8)頃	木版・紙	44.0×34.0	
31 谷中 安規	冥想氏	1933(昭和8)	木版・紙	17.0×23.1	
32 加藤 太郎	トンボ	1944(昭和19)	木版・紙	21.0×14.3	
33 小野 忠重	街	昭和初期	木版・紙	24.5×30.8	
34 清水 正博	橋	昭和初期	木版・紙	25.5×37.1	
35 宇治山 哲平	段々島と無花果	1936(昭和11)	木版・紙	23.0×31.5	第11回国画会展
36 川西 英	古道具屋	1941(昭和16)	木版・紙	45.4×60.2	第16回国画会展
《創作版画誌》	『方寸』第3巻第8号	1909(明治42)11月	挿画：石井柏亭《女芝居》		
	『方寸』第4巻第7号	1910(明治43)10月			
	『月映』第1輯	1914(大正3)9月	装幀：恩地孝四郎		
	『月映』第7輯	1915(大正4)11月	表紙絵：恩地孝四郎		
	『版画』第1巻第1号	1921(大正10)11月			
	『詩と版画』第13号	1925(大正14)8月	表紙絵：藤森静雄		
	『HANGA』創刊号	1924(大正13)2月	表紙絵：川上澄生		
	『HANGA』第15号	1930(昭和5)3月	挿画：亀井藤兵衛《手鏡の自画像》		
	『港』第3輯	1927(昭和2)1月	表紙絵：深沢索一		

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
	『風』第1輯	1927(昭和2)10月	装幀：恩地孝四郎		
	『白と黒』第25号	1932(昭和7)7月	表紙絵：料治朝鳴		
	『版芸術』第3巻第4号 川西英版画集	1934(昭和9)4月			
	『新版画』第1輯	1932(昭和7)6月	表紙絵：武藤六郎		
	『新版画』第4輯	1932(昭和7)9月	表紙絵：藤牧義夫		
	『ゆうかり』第11輯	1932(昭和7)10月	表紙絵：栗山茂		
	『ゆうかり』第13輯	1933(昭和8)2月	表紙絵：栗山茂		
	『大衆版画』第1輯	1931(昭和6)8月	表紙絵：徳力富吉郎		
	『大衆版画』第2輯	1931(昭和6)11月	表紙絵：麻田辨次		
	『青森版画』創刊号	1935(昭和10)2月	表紙絵：棟方志功		
	『九州版画』第20号	1939(昭和14)11月	表紙絵：山下楯生		
3 現代版画の出発 (1945~1956)					
37 恩地 孝四郎	あるヴァイオリニストの印象 (諏訪根自子像)	1946(昭和21)	木版・紙	40.5×32.5	第15回日本版画協会展
38 恩地 孝四郎	フォルム No.14 グロテスク(II)	1952(昭和27)	木版・紙	45.5×35.0	第2回ルガノ国際版画展
39 村井 正誠	顔	1953(昭和28)	リトグラフ・紙	45.5×30.5	
40 村井 正誠	作 品	1955(昭和30)	リトグラフ・紙	53.0×40.0	
41 長谷川 潔	切りガラスに挿したアネモネと草花	1944~45(昭和19~20)	アクアチント・紙	25.1×18.4	
42 長谷川 潔	時・静物画	1969(昭和44)	メゾチント・紙	26.4×35.4	
43 駒井 哲郎	東の間の幻影	1951(昭和26)	アクアチント・紙	18.0×29.0	第1回サンパウロ・ビエンナーレ コロニー賞(受託作品)
44 駒井 哲郎	人形と小動物	1951(昭和26)	アクアチント・紙	18.0×10.4	第28回春陽会展
45 浜田 知明	初年兵哀歌 歩哨	1951(昭和26)	エッチング、アクアチント・紙	30.4×21.5	
46 浜田 知明	狂った男	1962(昭和37)	エッチング、アクアチント・紙	36.1×29.2	第5回現代日本美術展 第2回福島賞
47 浜口 陽三	ジブシー	1954(昭和29)	メゾチント・紙	29.0×29.0	第1回現代日本美術展 佳作賞
48 浜口 陽三	黒いさくらんぼ	1964(昭和39)	カラーメゾチント・紙	19.5×24.3	
49 瑛 九	人魚の恋	1955(昭和30)	エッチング、ルーレット・紙	23.5×31.0	
50 泉 茂	深夜のセロ弾き	1954(昭和29)	エッチング・紙	18.0×10.7	第4回サンパウロ・ビエンナーレ(1957)
51 泉 茂	さまよえるオランダ人	1954(昭和29)	エッチング・紙	36.3×29.9	第6回選抜秀作美術展(1955)
52 泉 茂	インディアン	1956(昭和31)	リトグラフ・紙	51.0×43.0	第4回サンパウロ・ビエンナーレ(1957)
53 福井 良之助	実をむすぶひまわり	1955(昭和30)	謄写版・紙	26.9×27.8	
54 福井 良之助	日と花	1959(昭和34)	謄写版・紙	29.8×17.9	
55 吉田 政次	地の泉 No.1	1956(昭和31)	木版・紙	56.0×82.5	第6回モダンアート協会展
56 吉田 政次	New Star No.1	1956(昭和31)	木版・紙	60.0×47.5	
4 現代版画の開花 (1957~1970)					
57 萩原 英雄	石の花(赤)	1960(昭和35)	木版・紙	87.0×58.0	第2回東京国際版画ビエンナーレ展 神奈川県立近代美術館賞
58 萩原 英雄	鎧へる人 No.20	1962(昭和37)	木版・紙	90.0×62.0	第15回選抜秀作美術展

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
59 加納 光於	翼・予感	1961(昭和36)	インタリオ・紙	62.0×50.0	第6回日本国際美術展 優秀賞
60 加納 光於	星・反芻学	1962(昭和37)	インタリオ・紙	33.2×67.8	第3回東京国際版画ビエンナーレ展
61 池田 満寿夫	日付のない日	1963(昭和38)	ドライポイント、ルーレット、エッチング・紙	36.5×34.5	国立近代美術館賞
62 池田 満寿夫	生徒の名はイヴ	1963(昭和38)	ドライポイント、ルーレット・紙	36.0×34.5	[受託作品]
63 池田 満寿夫	受胎告知	1964(昭和39)	ドライポイント、ルーレット、エッチング・紙	36.0×34.5	[受託作品]
64 池田 満寿夫	楽園に死す	1965(昭和40)	ドライポイント、ルーレット、エッチング・紙	39.5×36.5	第8回日本国際美術展 第33回ベニス・ビエンナーレ展(1966)
65 吉原 英雄	彼女は空に	1968(昭和43)	リトグラフ、銅版・紙	72.0×104.0	大賞 [受託作品]
66 吉原 英雄	シーソー I	1968(昭和43)	リトグラフ、銅版・紙	100.0×100.0	第8回現代日本美術展 優秀賞
67 横尾 忠則	暗黒舞踏派ガメラ商会	1965(昭和40)	シルクスクリーン・紙	103×72.8	第6回東京国際版画ビエンナーレ展
68 横尾 忠則	終わりの美学	1966(昭和41)	シルクスクリーン・紙	103×72.8	文部大臣賞
69 黒崎 彰	闇のコンポジション	1970(昭和45)	木版・紙	180.0×186.0	第7回東京国際版画ビエンナーレ展
70 髪 嘸	レインボー北斎 ポジションA	1970(昭和45)	シルクスクリーン・紙	90×135	文部大臣賞 第7回東京国際版画ビエンナーレ展 東京国立近代美術館賞 [受託作品]



会場風景

6. 保田春彦展

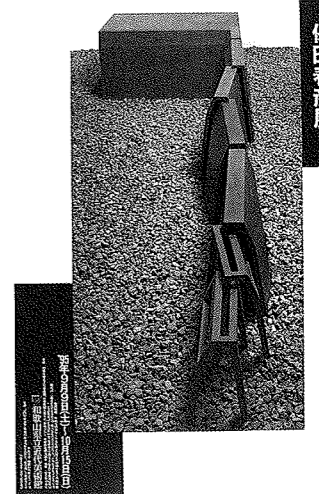
会 期：1995年9月9日(土)～10月15日(日)
 休 館 日：月曜日
 主 催：和歌山県立近代美術館、読売新聞大阪本社、読売テレビ、美術館連絡協議会
 協 賛：花王株式会社
 協 力：南天子画廊
 会 場：2階展示室C / 2階ホワイエ / 1階エントランスホール
 観 覧 料：一般800(640)円 / 高大生500(400)円 / 小中生300(240)円
 ()内は20名以上の団体料金、高齢者(65歳以上)および障害者は無料
 関 連 事 業：9月23日(土) 14:00 美術館ホール
 詩人・高橋睦郎による「なぜ彫刻なのか」(講演会)
 10月14日(土) 14:00 美術館ホール
 ミュージアム・トーク
 解説 寺口淳治
 印 刷 物：ポスター：B2版
 ちらし：A4版
 出品目録：A5版 4ページ
 図録：A4版変形 184ページ
 序 / 酒井忠康
 本文
 空間の秘匿—保田春彦の彫刻 / 山梨俊夫
 「聚落を囲う壁」を見て思うこと / 毛利伊知郎
 図版
 出品目録
 年譜 / 寺口淳治編
 文献目録 / 寺口淳治編

担当学芸員：寺口淳治

趣 旨：日本の現代彫刻界を代表する作家の一人である保田春彦は、1930年和歌山県に生まれ、東京美術学校を卒業した。その後、10年にわたりローマを中心としてヨーロッパで制作活動を行なったが、そこで培われた鋭い感性は、ステンレス・スティールや鉄を使った抽象的な仕事に結実していく。都市や遺跡などの文明論的な関心をもとにした構築性の強いそれらの作品は、日本をはじめ海外でも高い評価を受けている。

本展は、最初期の具象彫刻からこの展覧会のために制作された最新作まで、作家自身の選による立体43点・デッサン60点によりその全貌をご紹介します。初めての機会となりました。

- 関連記事 ● 欧州の息吹、感性 金属で表現 9日から保田春彦展
 読売新聞 1995.9.3(大阪版) 25面 地域ニュース (和歌山)
 ● 保田展・回顧40年 心と形 1 寺口淳治
 読売新聞 1995.9.13(大阪版) 23面 地域ニュース (和歌山)
 ● 保田展・回顧40年 心と形 2 寺口淳治
 読売新聞 1995.9.14(大阪版) 29面 地域ニュース (和歌山)
 ● 保田展・回顧40年 心と形 3 寺口淳治
 読売新聞 1995.9.15(大阪版) 29面 地域ニュース (和歌山)
 ● 保田展・回顧40年 心と形 4 寺口淳治
 読売新聞 1995.9.16(大阪版) 22面 地域ニュース (和歌山)
 ● 鋭い感性 美術ファン魅了
 和歌山新報 1995.9.27 4面 文化
 ● 緊張感と安らぎと 保田春彦展 (早)
 産経新聞 1995.9.24(大阪版) 12面 文化



ポスター

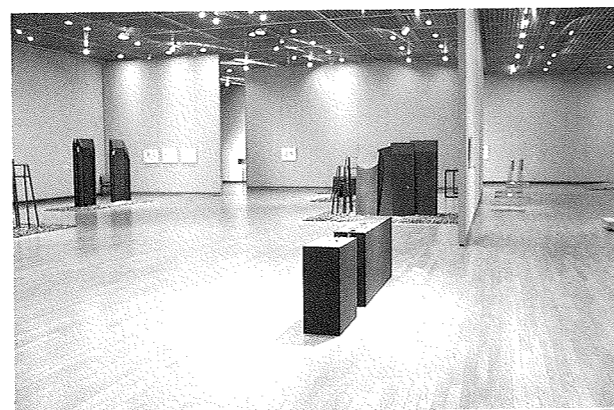


図録

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者名
出品リスト				
<彫刻>				
1 女の顔	1955	セメント	70×40.3×43.3cm	
2 トルソ	1955	セメント	104×53.5×36.7cm	
3 島I	1956	ブロンズ	61×30×30.2cm	
4 島II	1956	ブロンズ	58.5×33.5×32.2cm	
5 伝説	1957	木	99.5×36.5×39.2cm	
6 National Museum - アンテ・スパツィー・エターテム 後期	1969	ステンレス・スチール	110×300×720cm	東京国立近代美術館
7 ミューゼ・ドウ・ルーム	1970	ステンレス・スチール	39.7×300.1×306cm	神戸市
8 36cm立方体	1970	真鍮、ニッケルメッキ	38.5×36×36cm	神奈川県立近代美術館
9 斜面のある風景	1973	ステンレス・スチール	2基1対 53×12.6×58.5cm 50×12.8×52.7cm	和歌山県立近代美術館
10 階段のある広場	1973	ステンレス・スチール	2基1対 (各) 6×75×75cm	和歌山県立近代美術館
11 階段のある風景・Assisi, Todi	1973	ステンレス・スチール、 コンクリート	157×25×113cm	神奈川県立近代美術館
12 街の一隅・閉ざされた祠	1974	白花崗岩、 ステンレス・スチール	2基1対 44×62×146cm 44×62×145cm	神奈川県立近代美術館
13 黒い壁の廟	1975	黒花崗岩、 ステンレス・スチール	2基1対 56×25×50cm 50.5×25×50cm	東京国立近代美術館
14 大河に沿って・埋もれていた祭壇	1975	白花崗岩、 ステンレス・スチール	2基1対 (各) 18×145×114cm	彫刻の森美術館
15 橋のある風景・Arno, Tevere	1975	ステンレス・スチール	2基1対 (各) 6×75×75cm	東京都現代美術館
16 ソフィットB	1977	銅	31.6×31.6×31.6cm	和歌山県立近代美術館
17 赤錆のクニコロ (地下道)	1977-8	鉄	3点組 10×132.5×10cm 10×130×10cm 10×130×10cm	和歌山県立近代美術館
18 プーリアの岩	1978	鉄	3点組 132.5×15×15cm 130×15×15cm 132.5×15×15cm	
19 赤錆のクリプト	1980	鉄	100×101.5×100cm	いわき市立美術館
20 迷宮のある僧院	1981	鉄	2基1対 72×30×150.2cm 71.5×30×60cm	東京都現代美術館
21 都市の方位-南から北へ- (1)	1982	鉄	97×65×83cm	
22 都市の方位-南から北へ- (2)	1982	鉄	100×75×93.4cm	
23 都市の方位-南から北へ- (3)	1982	鉄	97.7×66.9×65.9cm	
24 都市の変遷	1982	鉄	5点組 (小国町役場) (各) 120.4×33×33cm	
25 クリプト試作	1982	鉄	2基1対 (各) 12×12×12cm	
26 都市試作A	1982	鉄	2基1対 16×14×14cm 16×15×15cm	

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者名
27 都市試作B	1983	鉄	2基1対 16.1×16×15cm 16.1×14.1×14.9cm	
28 都市A・B	1985	鉄	48.3×172.9×76.5cm	三重県立美術館
29 都市-集合・機能・拡散	1987	ステンレス・スチール	3点組 (各) 85×21.6×21.6cm	
30 石に立つ幕舎	1992	ステンレス・スチール、 黒花崗岩、鉄塗装	169.5×88.5×154.3cm	
31 石に伏せる幕舎	1992	ステンレス・スチール、 黒花崗岩、鉄塗装	87.5×55.5×55.5cm	
32 石にもたれる幕舎	1992	ステンレス・スチール、 黒花崗岩、鉄塗装	161.8×39.5×35.4cm	
33 石を包む幕舎	1993	ステンレス・スチール、 黒花崗岩、鉄塗装	94×54.2×54.2cm	
34 新作のためのエスキース I	1994	ブロンズ、黒花崗岩	21.3×25.5×43cm	
35 新作のためのエスキース II	1994	ブロンズ、黒花崗岩	10.2×27.5×61.7cm	
36 新作のためのエスキース III	1994	ブロンズ、黒花崗岩	22.5×36.5×43.4cm	
37 新作のためのエスキース IV	1994	ブロンズ、黒花崗岩	76×33×53.3cm	
38 新作のためのエスキース V	1994	ブロンズ、黒花崗岩	10.5×37.2×38.1cm	
39 閉ざされた門 I	1994-5	鉄	195×92×33cm	
40 閉ざされた門 II	1994-5	鉄	195×92×32.5cm	
41 聚落を囲う壁 I	1994-5	鉄	170×72.9×238.4cm	
42 聚落を囲う壁 II	1994-5	鉄	60×127.5×451.2cm	
43 聚落を囲う壁 III	1994-5	鉄	185×217.6×331cm	
<デッサン>				
D-1	1950年代	コンテ・紙	26.5×21.8cm	
D-2	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-3	1950年代	コンテ、鉛筆・紙	35.5×25.0cm	
D-4	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-5	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-6	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-7	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-8	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-9	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-10	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-11	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-12	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-13	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-14	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-15	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-16	1950年代	鉛筆・紙	13.2×9.0cm	
D-17	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-18	1950年代	コンテ・紙	35.5×25.0cm	
D-19	1950年代	ペン・紙	2点 (各) 12.2×18.0cm	
D-20	1950年代	ペン・紙	2点 18.0×12.2cm 12.2×18.0cm	
D-21	1970年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-22	1970年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	
D-23	1970年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	
D-24	1970年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者名
D-25	1970年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	
D-26	1970年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-27	1970年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-28	1970年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-29	1970年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-30	1970年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-31	1970年代	鉛筆、ペン・紙	17.5×49.8cm	
D-32	1970年代	鉛筆、ペン・紙	17.5×49.8cm	
D-33	1970年代	鉛筆、ペン・紙	24.5×35.5cm	
D-34	1980年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-35	1980年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-36	1980年代	鉛筆、ペン・紙	24.5×35.5cm	
D-37	1980年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-38	1980年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-39	1980年代	鉛筆、ペン・紙	24.5×35.5cm	
D-40	1980年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 17.5×24.5cm	
D-41	1980年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	
D-42	1980年代	鉛筆、ペン・紙	24.5×35.5cm	
D-43	1980年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	
D-44	1980年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-45	1980年代	鉛筆、ペン・紙	24.5×35.5cm	
D-46	1990年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	
D-47	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-48	1990年代	鉛筆、ペン・紙	4点 (各) 12.5×18.0cm	
D-49	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-50	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-51	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-52	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-53	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-54	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-55	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-56	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-57	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-58	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-59	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	
D-60	1990年代	鉛筆、ペン・紙	2点 (各) 26.0×18.5cm	



会場風景

7. 野田裕示近作展

- 絵画の原風景をもとめて -

会 期：1995年10月24日(火)～12月17日(日)

休 館 日：月曜日

主 催：和歌山県立近代美術館

会 場：2階展示室C

観 覧 料：常設展と共通

関 連 事 業：11月11日(土) 14:00 美術館ホール

アーティスト・トーク

語り 野田裕示

12月9日(土) 14:00 美術館ホール

ミュージアム・トーク

解説 安来正博

印 刷 物：ポスター：B2判

案内ハガキ

出品目録：A4判

作品集（和歌山県立近代美術館友の会発行）：A4判68ページ

本文

野田裕示のLANDSCAPE／建畠覚造

平面絵画の原風景—野田裕示が試みたこと—／安来正博

図版

年譜／安来正博編

文献目録／安来正博編

担当学芸員：安来正博

趣 旨：本展は、70年代後半から、一貫して絵画における平面性の意味を問い、独自の半平面（半立体）作品を制作し続けてきた、野田裕示（1952年～ 和歌山県御坊市生まれ）の、主に90年以降の近作を中心に紹介したものである。

野田の作品は、あらかじめ四角いボード上に、角材や板を貼り付け、それをキャンバスですっぽりと包みこみながら、内部の構造を擦り出すようにしてキャンバスと密着させ、その凹凸のついた表面上に、アクリル絵の具でペイントするというもので、出来上がった作品は、逆に堅牢な壁のような強い平面性を意識させるものとなる。半立体的な構造の作品によって、逆に平面としての絵画の可能性を問う、それが野田の目指すところといえるであろう。

当館では、1990年に「美術の現在—4つの試み」展を開催し、そのとき野田の初期からの試みを紹介しており、今回の展覧会は、その後の彼の作品の展開を紹介する意図のもとに企画された。

関 連 記 事 ● 独特の平面絵画70点 御坊市出身の作家野田さんの近作展

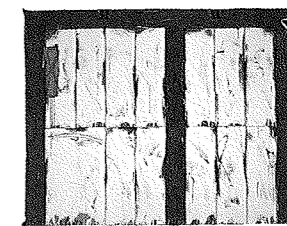
毎日新聞 1995.11.1 和歌山版

● 野田裕示近作展 絵画の本質を追求する中堅作家の近作を見る
びあ No.319 (1995年10月31日号) p.247 美術

● 野田裕示近作展

和歌山新報 1995.12.6

HIROJI NODA

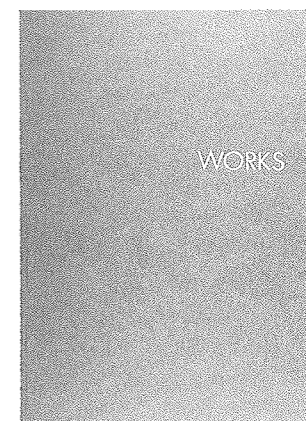


野田裕示近作展 絵画の原風景をもとめて

1995/10/24 - 12/17

RECENT WORKS

ポスター



図録

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者名	
出品リスト					
1 WORK-214	1984(昭和59)	アクリル・パネル・木・布	166.0×116.0	和歌山県立近代美術館	
2 WORK-882	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	227.3×162.1	個人	
3 WORK-880	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	227.3×181.8		
4 WORK-884	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	227.3×181.8		
5 WORK-879	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	181.8×227.3		
6 WORK-881	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	227.3×181.8		
7 WORK-877	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	181.8×227.3		
8 WORK-995	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	181.8×227.3		
9 WORK-992	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	227.3×181.8		
10 WORK-994	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	181.8×227.3		
11 WORK-112	1981(昭和56)	アクリル・パネル・竹・針金	54.5×76.0		
12 WORK-171	1983(昭和58)	アクリル・パネル・木・布	76.0×54.5		
13 WORK-147	1982(昭和57)	アクリル・パネル・木・紙・布	126.0×198.0		
14 WORK-143	1982(昭和57)	アクリル・パネル・木・竹・針金・布	126.0×226.0		個人
15 WORK-213	1984(昭和59)	アクリル・パネル・木・布	166.0×116.0		
16 WORK-274	1985(昭和60)	アクリル・木・キャンバス	193.9×97.0		
17 WORK-466	1988(昭和63)	アクリル・木・キャンバス	162.1×112.1	ギャラリーユマニテ	
18 WORK-293	1987(昭和62)	アクリル・木・キャンバス	259.1×181.8	和歌山県立近代美術館	
19 WORK-294	1987(昭和62)	アクリル・木・キャンバス	259.1×181.8		
20 WORK-299	1987(昭和62)	アクリル・木・キャンバス	227.3×181.8		
21 WORK-504	1988(昭和63)	アクリル・キャンバス	259.1×181.8	個人	
22 WORK-554	1989(平成元)	アクリル・キャンバス	90.9×65.2	和歌山県立近代美術館	
23 WORK-505	1988(昭和63)	アクリル・キャンバス	259.1×181.8		
24 WORK-507	1988(昭和63)	アクリル・キャンバス	259.1×181.8		
25 WORK-580	1990(平成2)	アクリル・キャンバス	193.9×130.3		
26 WORK-578	1990(平成2)	アクリル・キャンバス	193.9×130.3		
27 WORK-950	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	181.8×227.3		
28 WORK-629	1991(平成3)	アクリル・キャンバス	227.3×145.4		
29 WORK-628	1991(平成3)	アクリル・キャンバス	227.3×162.1		
30 WORK-676	1992(平成4)	アクリル・キャンバス	227.3×181.8		
31 WORK-630	1991(平成3)	アクリル・キャンバス	227.3×145.4		
32 WORK-632	1991(平成3)	アクリル・キャンバス	227.3×162.1		
33 WORK-645	1991(平成3)	アクリル・キャンバス	227.3×145.4		
34 WORK-794	1993(平成5)	アクリル・キャンバス	181.8×259.1		個人
35 WORK-796	1993(平成5)	アクリル・キャンバス	259.1×181.8		
36 WORK-984	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	181.8×259.1		
37 WORK-982	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	227.3×162.1		
38 WORK-869	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	65.2×90.9		
39 WORK-988	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	90.9×65.2		
40 WORK-986	1995(平成7)	アクリル・キャンバス	90.9×65.2		
41 WORK-849	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	90.9×72.7		
42 WORK-847	1994(平成6)	アクリル・キャンバス	90.9×72.7		
43 消去法より	1988(昭和63)	アクリル・紙	76.5×57.0		
44 消去法より	1988(昭和63)	アクリル・紙	76.5×57.0		
45 鉛筆ドローイング1	1985(昭和60)	鉛筆・紙	54.5×39.5		
46 鉛筆ドローイング2	1985(昭和60)	鉛筆・紙	54.5×39.5		
47 鉛筆ドローイング3	1985(昭和60)	鉛筆・紙	54.5×39.5		
48 鉛筆ドローイング4	1985(昭和60)	鉛筆・紙	54.5×39.5		

作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵者名
49 鉛筆ドローイング5	1985(昭和60)	鉛筆・紙	54.5×39.5	個人
50 鉛筆ドローイング9	1985(昭和60)	鉛筆・紙	54.5×39.5	
51 引き算のフロッターージュ	1986(昭和61)	アクリル・紙	76.5×57.0	
52 引き算のフロッターージュ	1986(昭和61)	アクリル・紙	76.5×57.0	
53 引き算のフロッターージュ	1986(昭和61)	アクリル・紙	76.5×57.0	
54 引き算のフロッターージュ	1986(昭和61)	アクリル・紙	76.5×57.0	
55 引き算のフロッターージュ	1986(昭和61)	アクリル・紙	57.0×76.5	
56 WORK-D-101	1993(平成5)	アクリル・紙	50.0×70.0	
57 WORK-D-102	1993(平成5)	アクリル・紙	50.0×70.0	
58 WORK-D-103	1993(平成5)	アクリル・紙	50.0×70.0	
59 WORK-D-104	1993(平成5)	アクリル・紙	70.0×50.0	
60 WORK-D-105	1993(平成5)	アクリル・紙	70.0×50.0	
61 WORK-D-106	1993(平成5)	アクリル・紙	70.0×50.0	
62 WORK-D-107	1993(平成5)	アクリル・紙	70.0×50.0	
63 WORK-D-108	1993(平成5)	アクリル・紙	70.0×50.0	
64 WORK-D-109	1993(平成5)	アクリル・紙	70.0×50.0	
65 WORK-D-110	1993(平成5)	アクリル・紙	70.0×50.0	
66 WORK-236	1985(昭和60)	アクリル・パネル・木・布	54.0×39.0	個人
67 WORK-257	1985(昭和60)	アクリル・パネル・木・布	54.0×39.0	
68 WORK-245	1985(昭和60)	アクリル・パネル・木・布	54.0×39.0	
69 WORK-238	1985(昭和60)	アクリル・パネル・木・布	54.0×39.0	
70 WORK-678	1992(平成4)	アクリル・キャンバス	40.9×31.8	
71 WORK-723	1992(平成4)	アクリル・キャンバス	40.9×31.8	
72 WORK-745	1992(平成4)	アクリル・キャンバス	40.9×31.8	
73 WORK-739	1992(平成4)	アクリル・キャンバス	40.9×31.8	
74 WORK-477	1988(昭和63)	アクリル・キャンバス	40.9×31.8	
75 WORK-777	1992(平成4)	アクリル・キャンバス	72.7×60.6	
76 WORK-559	1989(平成元)	アクリル・キャンバス	90.9×72.7	
77 WORK-568	1989(平成元)	アクリル・キャンバス	72.7×60.6	
78 WORK-799	1993(平成5)	アクリル・キャンバス	65.2×53.0	



会場風景

8. 小企画展

線画の世界—かたりの表現—

会 期：1996年1月5日(金)～2月12日(月)
 休 館 日：月曜日(1月15日は開館・1月16日休館)
 主 催：和歌山県立近代美術館
 会 場：2階展示室C
 観 覧 料：常設展と共通
 関 連 事 業：2月10日(土) 14:00 美術館ホール
 ミュージアム・トーク
 解説 井上芳子

印 刷 物：出品目録:A4判タテ3つ折
 案内ハガキ

担当学芸員：井上芳子

趣 旨：ペン画やエッチングなど、線描による作品には、独特の魅力的な世界がある。

胸の奥にある思いが形になって輪郭を持ち始める瞬間、一本の線が作家によって選び取られる。それは省略された表現でありながら、象徴的で、作家の息遣いを克明に伝えるものである。

今回の展示は、1 下図にあらわれた線、2 完成図にみる線、3 刷られ、複数化された線、といったセクションにより、饒舌に語る線の表現を通して、作家と作品の間の密接な関係を見ようとするものである。中村轟、野長瀬晩花、岸田劉生、長谷川潔、永瀬義郎、恩地孝四郎、田中恭吉、武井武雄、佐伯祐三、瑛九、泉茂、池田満寿夫、荒川修作、横尾忠則、山本容子、ジョアン・ミロ、ベン・シャーン、ジム・ダイソン、デビッド・ホックニー、ブルース・マクレーン、ジャン・ミッシェル・バスキアほか、近代から現代にいたるまでの幅広い作品を展示した。

関 連 記 事 ● 繊細かつ強じんな銅版画 「線画の世界—かたりの表現」展 木村未来 読売新聞1996.1.26夕刊 大阪3版 第9面 2月の美術アート前線
 [山本容子氏へのインタビュー]

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-------	--------	----

出品リスト

1. 下図にあらわれた線

1 佐伯 祐三	自画像	1919 (大正8)	インク・紙	27.2×17.5	
2 田中 恭吉	病める自画像	1913 (大正2)	インク・紙	7.5×5.0	
3 建畠 覚造	有機体 デッサン	1957 (昭和32)	インク・紙	37.5×26.5	
4 建畠 覚造	有機体	1957 (昭和32)	セメント・鉄	124.0 100.0×47.0	
5 豊福 知徳	作品	1962 (昭和37)	鉛筆・紙	42.5×63.5	
6 豊福 知徳	円柱 I	1965 (昭和40)	木	296.0×49.0×49.0	
7 江口 週	飛翔のはじまりデッサン	1981 (昭和56)	水彩、鉛筆・紙	41.0×33.0	
8 江口 週	飛翔のはじまり	1981 (昭和56)	木	203.0×57.0×53.0	
9 野長瀬 晩花	夕日に帰る漁夫下絵	1920 (大正9)	顔料・紙(屏風)	169.0×360.0	
10 稗田 一穂	夏去る下絵	1980 (昭和55)	顔料・紙	185.0×170.0	
11 稗田 一穂	夏去る	1980 (昭和55)	顔料・紙	193.5×172.5	
12 田中 恭吉	「病児」木版画 デッサン	1913 (大正2)	インク・紙	15.5×8.8	
13 田中 恭吉	「病児」木版画 版木	1913 (大正2)	木板	22.7×15.6	
14 田中 恭吉	病児	1914 (大正3)	木版・紙	20.6×10.6	
15 田中 恭吉	心原幽趣 I 夜のおそれ第一デッサン	1915 (大正4)	インク・紙	9.1×14.3	
16 田中 恭吉	綺はれゆく歓喜と悲哀	1915 (大正4)	インク・紙	14.0×8.8	
17 田中 恭吉	綺はれゆく歓喜と悲愁	1915 (大正4)	木版・紙	12.0×17.8	
18 田中 恭吉	心原幽趣 I 意志と災害第二デッサン	1915 (大正4)	インク・紙	13.9×8.9	
19 田中 恭吉	心原幽趣 I 意志と災害第二	1915 (大正4)	インク・紙	15.2×10.6	
20 田中 恭吉	白昼のなまけものデッサン	1913 (大正2)	インク・紙	15.7×12.3	
21 田中 恭吉	白昼のなまけもの	1913 (大正2)	インク、彩色・紙	10.2×9.0	
22 田中 恭吉	飛び去る前デッサン	1913 (大正2)	インク・紙	14.9×8.9	
23 田中 恭吉	飛び去る前	1914 (大正3)	インク、彩色・紙	16.0×8.7	
24 田中 恭吉	小とりら	1913 (大正2)	インク・紙	9.4×7.5	
25 田中 恭吉	心原幽趣 I 地上の幸福者	1915 (大正4)	鉛筆、インク・紙	15.2×10.7	
26 田中 恭吉	地上の幸福者	1914 (大正3)	木版・紙	18.0×12.0	
27 藤森 静雄	瞳	1914 (大正3)	インク、淡彩・紙	16.2×11.6	
28 恩地 孝四郎	DÔKEMONO	1913 (大正2)	インク・紙	14.5×9.6	
29 恩地 孝四郎	失題	1915 (大正4)	インク・紙	18.9×14.2	
30 難波田 史男	作品	1963 (昭和38)	インク・紙	31.5×101.5	

2. 完成図にみる線

31 泉 茂	目	1955 (昭和30)	油彩・キャンバス	60.5×72.5	
32 川口 軌外	貝殻	1936 (昭和11)	油彩・キャンバス	80.3×115.5	
33 菅井 汲	夜の風景	1955 (昭和30)	油彩・キャンバス	77.5×195.0	
34 津高 和一	アシタハキノユニナル	1964 (昭和39)	油彩・キャンバス	193.9×130.3	
35 難波田 龍起	緑の空間	1960 (昭和35)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	
36 中西 夏之	L & R - 目のひびき - I・II・III	1988 (昭和63)	油彩・キャンバス	194.0×146.5	
37 田中 敦子	WORK '91G	1991 (平成3)	アクリル・キャンバス	直径200.0	
38 堀 浩哉	水の肌へ - 83.7	1983 (昭和58)	アクリル、岩彩、 オイルスティック・キャンバス	227.0×162.0	
39 荒川 修作	無題	1964 (昭和39)	油彩・キャンバス	225.0×163.0	
40 バスキア、ジャン・ミッシェル	無題	1983 (昭和58)	シルクスクリーン・キャンバス	144.8×190.5	
41 マクレーン、ブルース	アルテ・フィッシュ	1981 (昭和56)	アクリル、油彩、パステル・印画紙	190.0×137.0	
42 山本 鼎	漁夫	1904 (明治37)	木版・紙	16.4×11.2	
43 永瀬 義郎	抱擁	1915 (大正4)	木版・紙	28.0×18.5	
44 恩地 孝四郎	裸形のくるしみIII	1914 (大正3)	木版・紙	19.9×8.1	
45 藤森 静雄	一のみち	1914 (大正3)	木版・紙	9.0×5.8	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
46 逸見 享	幸福な海女の群	1919 (大正8)	木版・紙	19.5×15.2	
47 萬 鐵五郎	羅布かづく人	1924 (大正13)	木版・紙	17.2×12.6	
48 川上 澄生	震災以前横浜山手之図	1923 (大正12)頃	木版・紙	18.1×26.0	
49 深沢 索一	風景	1926 (大正15/昭和元)	木版・紙	14.8×20.8	
50 旭 正秀	キリスト	1930 (昭和5) 頃	木版・紙	36.0×22.0	
51 平川 清蔵	風景A	1926 (大正15/昭和元)	木版・紙	27.5×36.4	
52 谷中 安規	ロケーション	1933 (昭和8)	木版・紙	13.7×18.9	
53 清水 正博	数寄屋橋より	1933 (昭和8)	木版・紙	17.8×24.0	
54 前川 千帆	新東京百景 西の市	1929 (昭和4)	木版・紙	18.2×24.5	
55 裕 伊之助	蛙	1933 (昭和8)	木版・紙	26.1×24.2	
56 北川 民次	タスコの裸婦	1941 (昭和16)	木版・紙	26.0 43.0	
57 武井 武雄	生命の構図	1940 (昭和15)	木版・紙	18.3×13.0	
58 小野 忠重	パリの屋根	1964 (昭和39)	木版・紙	25.0×45.0	
59 関野 準一郎	フィレンツェの屋根	1959 (昭和34)	木版・紙	81.8×41.0	
60 吉田 政次	憂愁の空 No.2	1957 (昭和32)	木版・紙	43.5×72.0	
61 中村 彝	男の像	制作年不明	エッチング・紙	17.8×13.4	
62 中村 彝	若き女	制作年不明	エッチング・紙	12.6×8.9	
63 岸田 劉生	「天地創造」石を噛む人	1914 (大正3)	エッチング・紙	13.0×13.0	
64 岸田 劉生	「天地創造」怒れるアダム	1914 (大正3)	エッチング・紙	13.0×13.0	
65 岸田 劉生	「天地創造」欲望	1914 (大正3)	エッチング・紙	12.6×23.7	
66 三木 辰夫	トランプ	制作年不明	エッチング・紙	30.0×36.5	
67 武藤 完一	蘇州風景	1940 (昭和15)	エッチング・紙	30.0×36.5	
68 長谷川 潔	木と村の小寺院	1959 (昭和34)	エッチング・紙	33.5×24.0	
69 瑛九	人魚の恋	1955 (昭和30)	エッチング・紙	23.5×31.0	
70 加納 光於	円形天使	1958 (昭和33)	インタリオ・紙	20.5×20.5	
71 加納 光於	花・沈黙	1960 (昭和35)	インタリオ・紙	41.5×23.0	
72 浜田 知明	初年兵哀歌 歩哨	1954 (昭和29)	エッチング、アクアチント・紙	24.0×16.2	
73 麻生 三郎	男の顔	1976 (昭和51)	エッチング・紙	23.8×17.8	
74 福沢 一郎	作品	1976 (昭和51)	ドライポイント・紙	35.9×39.9	
75 鬮 嘸	あ! Eの海だA	1971 (昭和46)	エッチング、手彩・紙	26.0×19.0	
76 池田 満寿夫	楽園に死す	1965 (昭和40)	ドライポイント、エッチング・紙	39.0×35.7	受託作品
77 山本 容子	Fresh Fishing	1977 (昭和52)	エッチング、アクアチント・紙	44.5×58.5	受託作品
78 李 禹煥	版画集「廃虚へ」より 作品1	1986 (昭和61)	ドライポイント・紙	49.3×39.3	
79 清原 啓子	詩人・クセノファネス	1981 (昭和56)	エッチング・紙	54.6×33.8	
80 清原 啓子	領土	1981 (昭和56)	エッチング・紙	49.1×40.7	
81 小林 敬生	蘇生の刻 S63-12	1989 (昭和64/平成元)	木口木版・紙	100.0×170.0	
82 石井 柏亭	橋の上	1907 (明治40)	リトグラフ・紙	8.0×13.5	
83 清水 正博	カンカン踊	1933 (昭和8)	オフセット、手彩・紙	13.5×9.0	
84 プブノワ、バルバラ	2人	1928 (昭和3)頃	リトグラフ・紙	23.7×28.8	
85 赤瀬川 原平	作品	1969 (昭和44)	リトグラフ・紙	28.8×38.5	
86 ホックニー、デビッド	6つのグリム童話「あめふらし」より お城の塔の女王さま	1969 (昭和44)	エッチング、アクアチント・紙	46.0×32.0	
87 ホックニー、デビッド	6つのグリム童話「あめふらし」より たまごの中にかくれた若者	1969 (昭和44)	エッチング、アクアチント・紙	46.0×32.0	
88 ホックニー、デビッド	6つのグリム童話「あめふらし」より 魚の中にかくれた若者	1969 (昭和44)	エッチング、アクアチント・紙	46.0×32.0	
89 ホックニー、デビッド	6つのグリム童話「あめふらし」より 若者をさがす女王さま	1969 (昭和44)	エッチング、アクアチント・紙	46.0×32.0	
90 ミロ、ジョアン	岩壁の軌跡 III	1968 (昭和43)	エッチング、アクアチント・紙	58.0×92.0	
91 ダイン、ジム	ピカビア I,II,III	1971 (昭和46)	リトグラフ、コラージュ・紙	138.0×93.0	
92 ピカソ、パブロ	サルタンバンク	1905 (明治38)	ドライポイント・紙	28.5×32.5	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
3.刷られ、複数化された線					
93 藤森 静雄	『月映』III ポスター	1914 (大正3)	木版・紙	49.0×23.0	
94 池田 満寿夫	案内状のためのデザイン	1958 (昭和33)	レリーフエッチング・紙	12.5×10.8	
95 赤瀬川 原平	雑誌『漫画主義』No.6 ポスター	1970 (昭和45)	オフセット・紙	55.0×39.7	
96 横尾 忠則	腰巻お仙	1966 (昭和41)	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	
97 横尾 忠則	切断された小指に捧げるバラード	1966 (昭和41)	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	
98 横尾 忠則	第6回東京国際版画ビエンナーレ展	1968 (昭和43)	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	
99 山本 鼎	雑誌『方寸』第3巻第8号表紙 薄暮	1909 (明治42)	リトグラフ・冊子	30.8×22.7×0.2	
100 石井 柏亭	雑誌『方寸』第4巻第7号挿画 ロハ台	1910 (明治43)	リトグラフ・冊子	30.4×22.4×0.2	
101 恩地 孝四郎ほか	雑誌『月映』III	1914 (大正3)	木版・冊子	26.3×20.0×0.4	
102 田中 恭吉	雑誌『月映』VII 挿画 緋はれゆく歓喜と悲愁	1915 (大正4)	木版・冊子	26.6×20.3×0.5	
103 恩地 孝四郎ほか	雑誌『月映』VII	1915 (大正4)	木版・冊子	26.1×20.0×0.6	
104 谷中 安規	雑誌『版藝術』第1年第8号表紙 影絵芝居の登場人物	1932 (昭和7)	木版・冊子	28.8×20.9×0.5	
105 小川 龍彦	雑誌『白と黒』第22号表紙 魚自在	1932 (昭和7)	木版・冊子	30.7×21.3×0.3	
106 清水 正博	雑誌『新版画』第16号表紙	1935 (昭和10)	木版・冊子	21.8×28.7	
107 藤森 静雄	『詩と版画』第9集表紙 木守り	1924 (大正13)	木版・冊子	26.8×19.2	
108 逸見 享	『詩と版画』第11集装画	1925 (大正14)	木版・冊子	26.5×19.5×0.5	
109 谷中 安規	絵本『FOU』(佐藤春夫著)	1933 (昭和11)	木版・冊子	15.4×13.0×1.3	
110 泉 茂ほか	詩集『大阪』(小野十三郎著)	1955 (昭和30)	エッチング、シルクスクリーン・冊子	32.0×25.9×1.0	
111 裕 伊之助	『絵入 みよ子』(佐藤春夫著)	1933 (昭和8)	木版・冊子	26.0×18.5×0.7	
112 プブノワ、バルバラ	『葬儀屋』(プーシキン著)	1935 (昭和10)	リトグラフ・冊子	30.8×22.8×0.4	
113 深沢 索一	版画集『一つの道』	1922 (大正11)	木版・冊子	24.2×18.0×0.4	
114 平塚 運一	『黄楊供養』平塚運一小画集第一冊	1942 (昭和17)	木版・冊子	20.3×14.2×0.8	
115 恩地 孝四郎	詩画集『海の童話』	1934 (昭和9)	木版・冊子	28.7×22.0×0.3	
116 アオイ書房十周年記念	書窓版画帖十連聚より	1941-43 (昭和16-18)	冊子10点		
117 武井 武雄	銅版絵本『地上の祭』	1938 (昭和13)	エッチング・冊子	30.8×30.0×2.0	
118 加納 光於	『1959』	1959 (昭和34)	インタリオ・冊子	16.0×16.0×2.0	
119 ダイン、ジム	The Picture of Dorian Gray	1968 (昭和43)	リトグラフ、エッチング・冊子	32.5×48.0×5.0	
120 ミロ、ジョアン	A TOUTE EPREUVE	1958 (昭和33)	木版・冊子	33.5×26.0×3.5	
121 マクレーン、ブルース	Ladder	1986 (昭和61)	シルクスクリーン・冊子	28.1×27.6×1.5	
122 マクレーン、ブルース	APROPOS THE JUG	1988 (昭和63)	空押しエッチング、手彩・冊子	28.1×14.3×0.8	
123 ピカソ、パブロ	Saint Matorel	1910 (明治43)	エッチング・冊子	27.0×14.2×2.0	
124 山本 容子	『クリスマスの思い出』	1990 (平成2)	オフセット・冊子	19.3×12.4×1.2	山本容子氏蔵
125 山本 容子	A Christmas Memory	1991 (平成3)	エッチング、手彩・紙、 12点組・目次・奥付	10.0×8.0	山本容子氏蔵



会場風景

9. ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作品たち

会期：1996年2月24日(土)～3月31日(日)
 休館日：月曜日
 主催：和歌山県立近代美術館
 会場：2階展示室C 1階エントランスホール 展示ホールほか
 観覧料：一般800(640)円/高大生500(400)円/小中生300(240)円
 ()内は20名以上の団体料金/高齢者(65才以上)および障害者は無料
 関連事業：1月5日(金)～3月24日(日) 1階展示室C
 特設展示「建島覚造のうごく彫刻」
 常設展「美術館へ行こう4」に併設
 3月20日(水) 14:00 美術館ホール
 講演会「むかし夢見た未来の美術」
 講師 森村泰昌(美術家)
 3月24日(日) 14:00 美術館ホール
 映画上映会「抽象映画の展開」
 協力：イメージフォーラム、プラネット映画資料図書館、山下信子
 3月9日(土) 14:00 美術館ホール
 ミュージアム・トーク
 解説 奥村泰彦

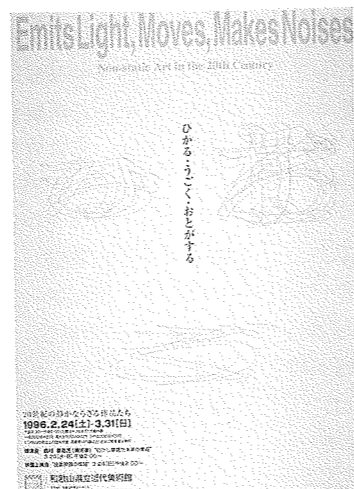
印刷物：ポスター：B2判
 チラシ：A4判
 出品目録：A5判 8頁
 図録：A5判 96頁 デザイン：ビーンズ
 本文

『ひかる・うごく・おとがする』序論/奥村泰彦
 科学の時代に/寺口淳治
 抽象映画の展開/奥村泰彦
 図版 作家略歴 年表 出品目録
 「抽象映画の展開」上映作品リスト
 補遺：A5判変形 2つ折 4頁

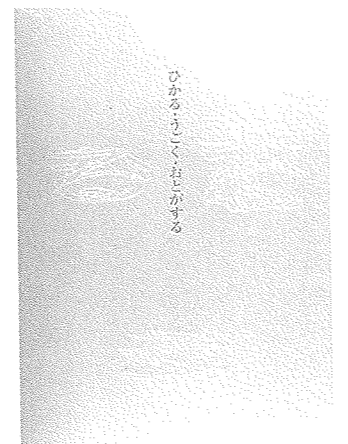
担当学芸員：奥村泰彦・寺口淳治

趣旨：美術作品といえば従来は静止したものであったが、20世紀になると運動や光や音を取り入れた作品が制作されるようになった。動く作品の最初のものといわれるマルセル・デュシャンの作品から、未来派、カルダーのモビール、1960年代の隆盛を経て今日に至るまで、32作家の作品39点により概観した。あわせて、抽象的な動きを主題とした映画作品の上映会も開催した。

- 関連記事 ●今世紀アートの本質に迫る 和歌山新報 1996.1.28 6面
 ●ココは美術のアミューズメント・パークだ! L magazine No.227 1996.2.1 p.86 ART
 ●この人に聞く 洋画家 浜口富治さん 浜田茂 高知新聞(夕刊) 1996.2.9 3面
 ●20世紀に生まれた光る動く音がするアート 関西ウォーカー No.5 1996.2.21 p.118 アート情報
 ●沈黙から解き放たれた20世紀の賑やかな美術 びあ関西版 No.328 1996.2.27 p.189 美術
 ●異色の美術展にぎわう 和歌山新報 1996.2.27 7面
 ●静かなだけではいられない月刊「ギャラリー」 1996.3 p.18
 ●花形文化通信 1996.3 No.82 Review
 ●芸術新潮 第47巻3号 1996.3.1 p.236 Exhibition
 ●「ひかる・うごく・おとがする」展 S 高知新聞(朝刊) 1996.3.1 13面
 ●美術手帖 No.721 1996.3.1 p.191 Exhibition Guide
 ●現代的な作品展示 中国新聞 1996.3.4 9面 文化
 ●光や音の美術作品を集める日本海新聞 1996.3.4 11面 美術話題
 ●光や音の作品集める 徳島新聞 1996.3.5 17面 美術話題
 ●Cycle90° RII 奥村泰彦 読売新聞 1996.3.5 24面 館蔵品から
 ●光や音の美術作品 京都新聞 1996.3.7 19面 文化
 ●朝日小学生新聞 1996.3.8 5面 イベント
 ●わかる現代美術 光り、動き、鳴る 朝日新聞 大阪(夕刊) 1996.3.8 13面 美術館・博物館から
 ●今世紀の美術を見直すサギに 奥村泰彦 京都新聞 1996.3.9 15面 美術
 ●文明の進歩を享受 美産経新聞 1996.3.10 12面 文化
 ●光り、動き、音を発する作品群 ニュース和歌山 1996.3.16 10面 おじゃまします
 ●光や音を出す作品が続々と 神戸新聞 1996.3.17 19面 美術
 ●ALARM 奥村泰彦 読売新聞 1996.3.19 30面 館蔵品から
 ●“柔らかい機械”達が光り、動き、音を出すにぎやかな展覧会。山下里加 Meets Regional No.76 1996.4.1 p.60 top-pics art
 ●EXHIBITION REVIEW(近畿) 中井康之 季刊グラス&アート 夏号 No.14 1996.8.1 p.73



ポスター



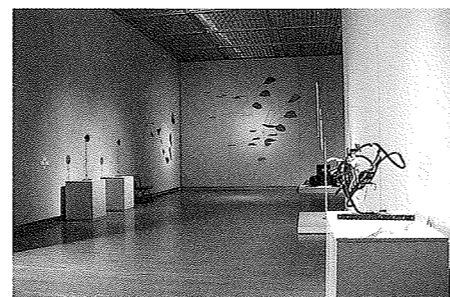
図録

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
出品リスト					
1 赤瀬川 原平	不在の部屋・より	1963(昭和38) / 再制作1995(平成7)	紐、紙、扇風機、椅子、ラジオ		作家
2 ボルトンスキー、クリスチャン	モニュメント4(赤)	1986-1990(昭和61-平成2)	写真、電球、電線、鉄	208.0×60.4×7.2	個人(オオタ ファインアーツ協力)
3 カルダー、アレキサンダー	遭遇	1965(昭和40)	彩色金属板	137.0×391.0×140.0	広島市現代美術館
4 デュシャン、マルセル	自転車の車輪	1913(大正2)	木製椅子、自転車の車輪	h. 126.5	京都国立近代美術館
5 デュシャン、マルセル	秘めた音で	1916(大正5)	真鍮、毛糸	12.9×13.0×11.4	京都国立近代美術館
6 フレヴィン、ダン	無題(タトリンのためのモニュメント)	1967-1970(昭和42-昭和45)	蛍光灯	243.8×80.0×11.4	東京都現代美術館
7 藤本 由紀夫	HERMETIC SCALE(DIAMETER)	1988(昭和63)	木、陶器、オルゴールユニット	10.0×120.0×30.0	作家
8 濱口 富治	メカニズムを閉じこめたよろこび	1963(昭和38)	モーター、メス、金網、他	60×80×30	作家(トランク外寸)
9 伊藤 隆道	ラセンとリング	1977(昭和52)	ステンレス、モーター	104.0×23.0×23.0	呉市立美術館
10 伊藤 隆道	上下する光	1978(昭和53)	ステンレス、モーター	124.0×30.0×33.5	呉市立美術館
11 河川 龍夫	石と光	1971(昭和46)	石、蛍光灯	50.0×237.0×40.0	高松市美術館
12 北代 省三	モビール・オブジェ「蝕る日の軌跡」	1956(昭和31) / 再制作1990(平成2)	ジュラルミン、真鍮、鉄	222.0×320.0	千葉市美術館
13 コース、ジョゼフ	Four Words Four Colors	1965(昭和40)	ネオン管	7.0×120.0	
14 松本 薫	Cycle-90° RII	1990(平成2)	ステンレス・ステール、ベアリング、スピード・コントロール・モーター、減速機	200.0×72.0×140.0	和歌山県立近代美術館
15 宮島 達男	Opposite Level 8 units No.54353-73172	1993(平成5)	発光ダイオード、I C、電線、アルミニウム	31.0×156.5	ギャラリーたかぎ
16 中原浩大	making of 'nakahara'	1992(平成4)	テレビモニター、写真、他		作家
17 ノグチ、イサム	ラジオ・ナース	ca. 1937(昭和12)	ベークライト、電気部品(ゼニス・ラジオ会社製)	21.0×17.0×15.0	382コレクション(オオタ ファインアーツ協力)
18 バイク、ナムジュン(白南準)	現実の花 生きている花	1982(昭和57)	旧型テレビのボディ、花、4インチテレビ、ビデオカメラ		東京都現代美術館
19 リッキー、ジョージ	斜めになる2つの開いた長方形の連結	1984(昭和59)	ステンレス	230.0×102.0×13.0	和歌山県立近代美術館
20 ルッソロ、ルイジ	イントナルモーリ「複製」	1913-1933(大正2-昭和8)			多摩美術大学美術学部芸術学科
		1986(昭和61)	多摩美術大学美術学部芸術学科プロデュース系秋山邦晴		コースによる再制作
	1.クレピタトーレ		木、他	60.0×34.0×149.0	
	2.スコピアトーレ(モトーレ)		木、他	36.5×45.0×119.0	
	3.スコピアトーレ(モトーレ)		木、他	36.5×45.0×95.0	
	4.スコピアトーレ		木、他	56.0×47.0×170.0	
	5.ロンザトーレ		木、他	60.0×34.5×133.0	
	6.ストロピッチアトーレ		木、他	51.0×47.5×160.0	
	7.ウルラトーレ		木、他	56.0×47.5×160.0	
	8.ロンバトーレ		木、他	54.0×47.5×164.0	
21 新宮 晋	雲	1984(昭和49)	鋼線、不織布	250.0×250.0×250.0	兵庫県立近代美術館
22 田中 敦子	作品<ベル>	1955(昭和30) / 再制作1985(昭和60)	電気ベル、電気コード、モータースイッチ、ステンレススチール	3000.0(コード延長)	兵庫県立近代美術館(山村コレクション)
23 田中 敦子	電気服	1956(昭和31) / 再制作1986(昭和61)	エナメル、電球、コード	165.0×80.0×80.0	高松市美術館

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
24 田中不二	作品62	1962 (昭和37)	木、スリガラス、ライト、 レーザー発振機、金属、水	142.5×98.5×47.5	作家
25 田中不二	作品66	1964 (昭和39)	水、ビニールホース	200.0 (インсталレーション直径)	作家
26 田中 薫	n個のドラム	1982 (昭和57)	ジュラルミン、モーター	270.0×50.0×50.0	呉市立美術館
27 ティンゲリー、ジャン	掘鑿機	1963 (昭和38)	鉄、モーター	52.0×114.0×60.0	草月美術館
28 牛島 達治	キオクノタメニ I	1987 (昭和62)	耐蝕アルミ合金、真鍮、 ステンレス、モーター、石	120.0×110.0×94.0	作家
29 牛島 達治	キオクノタメニ II	1990 (平成2)	アルミ合金、真鍮、ステンレス、モーター、 石、圧電マイク、アンプ、スピーカー	260.0×170.0×150.0	作家
30 フォーゲル、ピーター	ディーブ・スタート	1994 (平成6)	スピーカー、フォトセル、他	89.5×17.5×12.0	王清一氏
31 フォーゲル、ピーター	ピチカートとレガート	1994 (平成6)	スピーカー、フォトセル、他	95.0×20.0×15.0	作家
32 フォーゲル、ピーター	ライト・キューブ	1994 (平成6)	発光ダイオード、他	13.0×13.0×13.0	久保知左子氏
33 山口勝弘	港 No.2	1967 (昭和42)	アクリル樹脂、光	160.0×200.0×200.0	愛知県美術館
34 柳 幸典	ヒノマル・イルミネーション (ミニ)	1992 (平成4)	ネオン管、プレキシグラス、鉄	50.0×70.0×28.0	大貫久美子氏
35 ヤノベケンジ	GRAND SEED NEW "ORGA"	1993 (平成5)	鉄、ゴム、ファン、エンジン、ほか	450.0×400.0×400.0	北九州市立美術館
36 吉田 克朗	Cut-off 8	1969 (昭和44)	木材、コード、電球	10.0×100.0×10.0	高松市美術館
37 ヨシダミノル	JUST CURVE '67 Cosmoplastic	1967 (昭和42)	ステンレス、プラスチック、 蛍光灯、センサー、他	175.0×270.0×150.0	高松市美術館
38 吉田稔郎	FOAM-A	1965 (昭和40) / 再制作1993 (平成5)	ミクストメディア	90.0×120.0×120.0	作家
39 吉村益信	反物質 ライト・オン・メビウス	1968 (昭和43)	ステンレススティール、点滅灯	130.0×100.0×180.0	大分県立芸術会館

“抽象映画の展開” 上映作品

1 エッグリング、ヴィーキング	対角線交響曲	1921-1924 (大正10-13)	7分
2 リヒター、ハンス	リズム21	1921 (大正10)	3分
3-5 ルットマン、ワルター	作品 II, III, IV	1922-1924 (大正11-13)	10分
6 マンレイ	理性に帰る	1923 (大正12)	4分
7 レジェ、フェルナン	バレエ・メカニク	1924 (大正13)	11分
8 デュシャン、マルセル	アネミック・シネマ	1926 (大正15)	7分
9-12 フィッシャー、オスカー	習作No.6,7,8,11	1930-1932 (昭和5-7)	13分
13 ライ、レン	カラー・ボックス	1935 (昭和10)	5分
14 ライ、レン	ミュージカル・ポスター	1940 (昭和15)	3分
15 ホイットニー、ジョン	アラベスク	1974 (昭和49)	8分
16 今井 祝雄	円	1967 (昭和42)	4分
17 古川 タク	驚き盤	1975 (昭和50)	5分
18 居田 伊佐雄	オランダ人の写真	1976 (昭和51)	7分
19 瀬尾 俊三	フィルム・ディスプレイ	1979 (昭和54)	5分
20 松本 俊夫	ホワイト・ホール	1979 (昭和54)	7分
21 奥山 順一	我が映画旋律	1980 (昭和55)	6分
22 伊藤 高志	S P A C Y	1981 (昭和56)	10分



会場風景

1995年度常設展一覧

1. 美術館へ行こう1

会 期：1995年4月8日(土)～6月18日(日)
休 館 日：月曜日
会 場：1階展示室AB 他館内
印 刷 物：出品目録：A5判 8頁
担当学芸員：井上芳子

2. 美術館へ行こう2

会 期：1995年6月24日(土)～9月24日(日)
休 館 日：月曜日
会 場：1階展示室A 他館内
印 刷 物：出品目録：A5判 8頁
担当学芸員：寺口淳治

3. 美術館へ行こう3

会 期：1995年9月30日(土)～12月17日(日)
休 館 日：月曜日
会 場：1階展示室AB 他館内
印 刷 物：出品目録：A5判 8頁
担当学芸員：植野比佐見

4. 美術館へ行こう4

会 期：1996年1月5日(金)～3月24日(日)
休 館 日：月曜日
会 場：1階展示室AB 他館内
印 刷 物：出品目録：A5判 8頁
担当学芸員：浜田拓志

観 覧 料：一般300(240)円／高大生200(160)円／小中生100(80)円
()内は20名以上の団体料金／高齢者(65才以上)および
障害者は無料

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
美術館へ行く1 1995年4月8日(土)~6月18日(日) 出品リスト					
1. 明治から昭和にかけての日本美術					
1 神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩・キャンバス	38.0×80.4	
2 鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩・キャンバス	79.5×64.0	
3 岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩・板	51.0×39.0	受託作品
4 山下 新太郎	臥婦	1910代	油彩・キャンバス	80.0×141.0	受託作品
5 萬 鐵五郎	湘南風景	1926(大正15)頃	油彩・キャンバス	33.3×46.0	受託作品
6 中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩・キャンバス	200.0×137.0	受託作品
7 保田 龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	20.0×22.0×19.0	
8 保田 龍門	アンドレ像	1922(大正11)	油彩・キャンバス	54.7×45.6	
9 碓 伊之助	ブザンソン風景	1924(大正13)	油彩・キャンバス	50.0×60.8	
10 木下 孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	71.5×51.0	
11 木下 義謙	静物	1931(昭和6)	油彩・キャンバス	73.0×91.0	受託作品
12 鳥海 青児	蘇州風景	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	60.8×50.4	受託作品
13 川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	167.0×267.0	受託作品
14 松本 竣介	三人	1943(昭和18)	油彩・キャンバス	162.2×112.5	受託作品
15 山口 八九子	月見草と少女	1912(明治45/大正1)	顔料・紙	178.0×66.5	
16 吹田 草牧	夏国之初夏	1919(大正8)	顔料・絹	127.0×42.1	
17 徳力 富吉郎	人形	1927(昭和2)	顔料・絹	39.7×51.2	
18 杉田 勇次郎	麓庵	1927(昭和2)	顔料・絹	170.2×195.2	
19 稗田 一穂	昼の波止場	1942(昭和17)	顔料・紙	148.7×125.0	
20 建島 大夢	お湯のつかれ	1913(大正2)	ブロンズ	高さ64.5	
21 建島 大夢	魔法使いの女	1923(大正12)	ブロンズ	高さ45.0	
2. 佐伯祐三の世界					
22 佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922(大正11)	油彩・キャンバス	73.0×53.4	
23 佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923(大正12)	油彩・キャンバス	60.0×53.0	
24 佐伯 祐三	森と広場	1924(大正13)	油彩・キャンバス	37.5×45.5	
25 佐伯 祐三	パリの街角	1925(大正14)	油彩・キャンバス	64.5×41.0	
26 佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩・キャンバス	72.5×60.5	
27 佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩・キャンバス	60.2×73.0	
28 佐伯 祐三	アネモネ	1925(大正14)頃	油彩・キャンバス	45.3×26.9	受託作品
29 佐伯 祐三	男の顔(K氏の像)	1927(昭和2)	油彩・板	31.5×22.5	
30 佐伯 祐三	下落合風景	1926(昭和1)	油彩・キャンバス	50.0×60.5	
31 佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩・キャンバス	60.2×73.0	
32 佐伯 祐三	オペセルヴァトワール附近	1927(昭和2)	油彩・キャンバス	73.0×92.0	
33 佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩・キャンバス	61.0×50.3	受託作品
34 佐伯 祐三	モラン風景	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	38.0×45.0	
35 佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925(大正14)	油彩・キャンバス	46.0×54.0	
3. 時間と存在					
36 杉本 博司	カボット・ストリート・シネマ、マサチューセッツ州	1978(昭和53)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	42.2×54.5	
37 杉本 博司	ラジオ・シティ・ミュージック・ホール、ニュー・ヨーク	1978(昭和53)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	42.2×54.6	
38 杉本 博司	オハイオ・シアター、オハイオ	1980(昭和55)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	42.0×54.3	
39 小野木 学	風景F	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	131.0×131.0	
40 戸谷 成雄	森	1986(昭和61)	木・アクリル	220.0×490.0×30.0	



作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
4. 意識の深みへ					
41 三木 富雄	耳	制作年不明	アルミニウム	24.8×16.0×4.8	
42 シャーマン、シンディ	無題#132	1984(昭和59)	Cプリント	175.5×115.5	
43 アルマンド	頭 18-7-90	1990(平成2)	油彩・キャンバス	250.0×198.0	
44 ノイマン、マックス	無題	1988(昭和63)	ミクストメディア・キャンバス	300.0×200.0	
45 パラディーノ、ミンモ	アトランティコ	1987(昭和62)	リノカット・紙	204.5×75.0	
46 加納 光於	《まなざしー疼く飛沫を辿れ》九月	1989(平成1)	油彩・キャンバス	175.0×130.0	
47 前川 強	作品	1963(昭和38)	麻布、油彩・キャンバス	227.0×181.0	
48 辰野 登恵子	WORK 87-P-26	1987(昭和62)	油彩・キャンバス	227.3×182.0	
49 ネヴェルスン、ルイーヌ	北の星	1977-82(昭和52-57)	彩色・木	278.0×213.0×48.0	
50 中川 佳宣	果実あつめ(1)	1989(平成1)	アクリル・紙	92.8×183.0×22.0	
5. 今日のイギリス美術					
51 ライリー、ブリジット	旗 4	1969(昭和44)	アクリル・キャンバス	188.0×43.0	
52 グリーン、アラン	3つと4つ	1989(平成1)	油彩・キャンバス	155.0×160.0	
53 グリーン、アラン	深紅色にかこまれた白	1982(昭和57)	油彩・キャンバス	201.0×201.0	
54 ボイル、マーク	黒いふち石の研究	1980-81(昭和55-56)	彩色・ファイバーグラス	183.0×183.0	
55 フルトン、ハミッシュ	ヒーブスタウン・ケルン	1986(昭和61)	写真・テキスト	119.5×137.5	
56 ロジャー、アックリング	ノーフォーク、イングランド	1988(昭和68)	木	69.5×5.0×3.9	
57 ゴールズワージー、アンディ	光をとらえるように折り重ねられた葉／大内山村／1987年11月24日	1991(平成3)	カラープリント	101.8×232.3	
58 ホジキン、ハワード	一人沈んで	1982(昭和57)	リトグラフ、グワッシュ・紙	91.7×122.0	
59 ホジキン、ハワード	行く二人	1982(昭和57)	リトグラフ、グワッシュ・紙	91.8×122.6	
60 ホックニー、デビッド	ポンドン・ホール	1983(昭和58)	フォト・コラージュ	123.5×161.8	
61 ホックニー、デビッド	グレゴリーのイメージ	1984-85(昭和59-60)	リトグラフ、コラージュ・紙	221.0×106.7	
62 パターソン、サイモン	大熊座	1992(平成4)	リトグラフ・アルミニウム・ガラス	109.0×134.8×5.0	
63 リンク、サイモン	アート・コロニー 1986年10月	1987(昭和62)	油彩・キャンバス	182.0×182.0	
64 アーリントン、エドワード	あなたに名前がなかったら	1991(平成3)	ブロンズ・写真・木	35.0×62.0×51.0/77.5×62.2	
65 マクレーン、ブルース	アルテ・フィッシュェ	1981(昭和56)	アクリル、油彩、パステル・版画紙	190.0×137.0	
66 カロ、アンソニー	カタロニアのふぶき(カタロニア・シリーズ)	1987-88(昭和62-63)	鉄	105.5×63.5×71.0	
67 カロ、アンソニー	ライン川流域	1986-87(昭和61-62)	ブロンズ・真鍮	101.5×91.5×37.0	
68 デーコン、リチャード	二人が遊べます	1983(昭和58)	垂鉛メッキされた鋼鉄・ネジ	183.0×365.8×183.0	
69 フラナガン、パリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989(平成1)	ブロンズ	228.6×198.1×228.6	
6. イメージとリアリティ					
70 ラウシェンバーク、ロバート	空の庭	1969(昭和44)	リトグラフ、シルクスクリーン・紙	224.8×106.2	
71 シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏・木・アクリル・プラスチック・合板	254.0×213.4×76.2	
72 リキテンスタイン、ロイ	おやすみベイビー!	1965(昭和40)	シルクスクリーン・紙	90.7×65.0	
73 リキテンスタイン、ロイ	メロディ	1965(昭和40)	シルクスクリーン・紙	69.0×58.5	
74 ダイン、ジム	ピカビアI	1971(昭和46)	リトグラフ、コラージュ・紙	138.0×93.8	
75 ダイン、ジム	ピカビアII	1971(昭和46)	リトグラフ、コラージュ・紙	137.0×92.5	
76 ダイン、ジム	ピカビアIII	1971(昭和46)	リトグラフ、コラージュ・紙	138.0×92.5	
77 小枝 繁昭	Still Life on the Table #3	1990(平成2)	シルクスクリーン、アクリルペイント・紙	212.0×146.0	
78 パスキア、ジャン・ミッシェル	無題	1983(昭和58)	シルクスクリーン・キャンバス	144.8×190.5	
79 ローゼンクイスト、ジェームズ	スペース・ダスト	1989(平成1)	リトグラフ、コラージュ・紙	168.9×267.3	
80 荒川 修作	Splitting of Meaning	1970-71(昭和45-46)	シルクスクリーン・紙	101.5×76.1	
81 荒川 修作	NEXT TO THE LAST	1967-71(昭和42-46)	シルクスクリーン・紙	78.8×117.1	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
美術館へ行こう2 1995年6月24日(土)~9月24日(日) 出品リスト					
1. 和歌山ゆかりの作家と日本の美術・明治以後					
1 神中 糸子	牡丹	1915-1925 (大正4-14)	油彩・キャンバス	50.4×61	
2 岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正3)	油彩・板	51.0×39.0	受託作品
3 保田 龍門	村の娘	1916 (大正5)	油彩・キャンバス	82.5×67	
4 山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩・キャンバス	80.0×141.0	受託作品
5 中村 不折	白頭翁	1907 (明治40)	油彩・キャンバス	200.0×137.0	受託作品
6 石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	75.2×91.3	
7 石垣 栄太郎	K.K.K.	1937 (昭和12)	油彩・キャンバス	76.5×91.8	
8 裕 伊之助	望遠鏡	1934 (昭和9)	油彩・キャンバス	40.8×33	
9 木下 義謙	横たはれる裸体の習作	1926 (昭和元)	油彩・キャンバス	73×116.5	
10 原 勝四郎	道化	1941 (昭和16)	油彩・ボール紙	89.9×72.8	
11 川口 軌外	ひまわり	1943 (昭和18)	油彩・キャンバス	65×49.8	
12 米良 道博	魚のある静物	1933 (昭和8)	油彩・キャンバス	91×73	
13 木下 孝則	女優の像	1926 (大正15/昭和元)	油彩・キャンバス	91×73	
14 建畠 大夢	感に打たれた女	1932 (昭和7)	ブロンズ	高さ161.0	
15 川端 龍子	芭蕉翁	1923 (大正12)	顔料・紙	71.8×84.2	
16 伊藤 草白	葡萄の図	1925 (大正14)	顔料・絹	42.0×51.5	
17 速水 御舟	竹生図	1928 (昭和3)	顔料・絹	124.7×41.3	受託作品
18 野長瀬 晩花	島の女	1916 (大正5)	顔料・絹	145.0×51.5	
19 日高 昌克	呖々鳥図	1959 (昭和34)	墨・紙	28.0×38.9	
20 稗田 一穂	初夏の庭	1936 (昭和11)	顔料・絹	103.1×169	
21 下村 良之介	闘鶏屏風(度)	1978 (昭和53)	顔料・紙	165×185	
22 川口 軌外	夏の海	1940 (昭和15)	油彩・キャンバス	266×166	
23 高井 貞二	回教徒	1942 (昭和17)	油彩・キャンバス	130×161.7	
24 松本 竣介	三人	1943 (昭和18)	油彩・キャンバス	162.2×112.5	受託作品
2. 佐伯祐三の世界					
25 佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923 (大正12)	油彩・キャンバス	91.2×65.5	
26 佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	46.0×54.0	
27 佐伯 祐三	アネモネ	1925 (大正14) 頃	油彩・キャンバス	45.3×27.0	受託作品
28 佐伯 祐三	パリの街角	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	64.5×41.0	
29 佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	72.3×60.8	
30 佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	60.0×73.3	
31 佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和2)	油彩・キャンバス	61.0×50.3	受託作品
32 佐伯 祐三	下落合風景	1926 (昭和元)	油彩・キャンバス	50.0×60.5	
33 佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和2)	油彩・キャンバス	73.0×92.0	
34 佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	60.5×73.3	
3. 日本美術・昭和					
35 鳥海 青児	アルジェの水汲み女	1932 (昭和7)	油彩・キャンバス	45.6×33.4	受託作品
36 山口 薫	沼地の雨	1960 (昭和35)	油彩・キャンバス	45.7×53.1	受託作品
37 難波田 龍起	郊外	1951 (昭和26)	油彩・キャンバス	53×45.5	
38 泉 茂	目	1955 (昭和30)	油彩・キャンバス	60.5×72.5	
39 泉 茂	しゃも	1957 (昭和32)	油彩・キャンバス	48.5×65.2	
40 池田 満寿夫	骨をはこぶ人 (C)	1955 (昭和30)	油彩・キャンバス	72.7×53.0	
41 吉原 英雄	たわむれ	1956 (昭和31)	油彩・合板	130×91	
42 津高 和一	キム キム	1957 (昭和32)	油彩・キャンバス	91.0×116.7	
43 加納 光於/大岡 信アララットの船		1971-1972 (昭和46-47)	ミクストメディア	68×44.3×23.3	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
44 戸谷 成雄	森	1986 (昭和61)	木・アクリル	220.0×490.0×30.0	
4. 版画の名品					
45 ルドン, オディロン	『聖アントワヌの誘惑第3集』より 《オアンネス：混沌の最初の意識であるわたしは、物質を固くし、形体を定めるために、深淵からおどりでてきた》	1896 (明治29)	リトグラフ・紙	57.0×40.0	
46 ムンク, エドヴァルト	骸骨の腕のある自画像	1895 (明治28)	リトグラフ他・紙	45.9×31.5	
47 レジェ, フェルナン	軽業師マリー	1948 (昭和23)	リトグラフ・紙	54.5×42.7	
48 トゥルーズ=ロートレック, アリステュード プリアン アンリ・ド		1892 (明治25)	リトグラフ・紙	127.3×95	受託作品
49 ルオー, ジョルジュ	『ミゼレーレ』より 《でも愛することができたら、なんと楽しいことだろう》	1922-1927 (大正11-昭和2)	銅版・紙	65.5×50.5	
50 ブラック, ジョルジュ	コンポジション (静物 I)	1911 (明治44)	エッチング・紙	35.0×21.5	
51 ピカソ, パブロ	泣く女	1937 (昭和12)	エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙	69.2×49.5	
52 ピカソ, パブロ	ミノトーロマシー	1935 (昭和10)	エッチング、ビュラン・紙	49.8×69.3	
53 クレー, パウル	網渡り	1923 (大正12)	リトグラフ・紙	44.1×26.8	
54 ミロ, ジョアン	月の前の女と犬	1936 (昭和11)	ステンシル・紙	50.0×45.0	
55 フォートリエ, ジャン	青の上の裸体	1955 (昭和30)	エッチング、アクアチント・紙	53.7×47.6	
56 デュシャン, マルセル	横顔の自画像	1958 (昭和33)	コラージュ・紙	21.3×17.3	
57 ゴームリー, アントニー	BEARING LIGHT	1991 (平成3)	木版・紙	56×49	
58 ゴームリー, アントニー	BEARING LIGHT	1991 (平成3)	木版・紙	56×49	
59 タマヨ, ルフィーノ	座っている人物	制作年不詳	リトグラフ・紙	74.6×56.8	
5. “あなたはどこに”・現代の美術					
60 ノグチ, イサム	考える議長	1978 (昭和53)	御影石・木	26.7×22.7×26.0	
61 クロス, チャック	自画像	1983 (昭和58)	バルブペーパー・キャンバス	137.2×101.6	
62 アレシンスキー, ビエール	あなたは何処に	1988 (昭和63)	エッチング、アクアチント・紙	188×95	
63 ルフ, トマス	肖像 (P. フリース)	1988 (昭和63)	Cプリント	210.0×165.0	
64 ルフ, トマス	肖像 (J. バウムガルトナー)	1989 (平成元)	Cプリント	210.0×165.0	
65 シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和63)	石膏・木・アクリル・プラスチック・合板	254.0×213.4×76.2	
66 麻生 三郎	二面一人	1975 (昭和50)	油彩・キャンバス	91×116.5	受託作品
67 麻生 三郎	ゆかひと	1977 (昭和52)	油彩・キャンバス	130.3×162.0	受託作品
68 荒川 修作	M. TESTE	1971 (昭和46)	油彩・キャンバス	121.5×182.0	
69 宇佐美 圭司	慶応大学壁画エスキース 「やがてすべてが一つの円のなかに」のための1/9 カルトン 2	1982 (昭和57)	水彩・紙	82.5×237	
70 ウェッセルマン, トム	Bedroom Blonde Doodle with Photo	1988 (昭和63)	ボード・シルクスクリーン	114×173	
71 菅井 汲	Soleil Vert	1968 (昭和43)	油彩・キャンバス	245×330	
72 セラ, リチャード	パリ	1985 (昭和60)	ペイントスティック、シルクスクリーン・紙	214.6×133.3	
73 ネヴェルソン, ルイーズ	北の星	1977-1982 (昭和52-57)	彩色・木	278.0×213.0	
74 ジョーンズ, ジャスパール	旗	1960-1969 (昭和35-44)	鉛レリーフ	59.0×73.5	
75 カロ, アンソニー	カタロニアのふぶき	1987-1988 (昭和62-63)	鉄	105.5×63.5×71.0	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
美術館へ行く3 1995年9月30日(土)～12月17日(日) 出品リスト					
1.和歌山ゆかりの作家と日本の美術					
1 神中 糸子	妙義山風景	1918 (大正7)	水彩・紙	19.3×32.2	■
2 神中 糸子	塔の沢風景	1888 (明治21)	水彩・紙	25×19.2	■
3 神中 糸子	飯田町風景	1879 (明治12)	鉛筆・紙	18.6×23.9	□
4 神中 糸子	風景	1878-80 (明治11-13)	鉛筆・紙	15.4×23.4	□
◇会期中展示換え(■10月29日まで、□10月31日から)					
5 中村 不折	白頭翁	1907 (明治40)	油彩・キャンバス	200.2×136.6	受託作品
6 鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906 (明治39)	油彩・キャンバス	79.5×64	
7 岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正3)	油彩・板	51.3×39.2	受託作品
8 建島 大夢	少女胸像	昭和前期	大理石		
9 木下 義謙	静物	1931 (昭和6)	油彩・キャンバス	72.7×91.1	
10 木下 雅子	玉葱の静物	1930 (昭和5)	油彩・キャンバス	60.6×72.7	
11 国枝 金三	卓上静物	1919 (大正8)	油彩・キャンバス	60.5×72.8	
12 川口 軌外	水差しのある静物	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	80.0×65.7	
13 川口 軌外	花	1932 (昭和7)	油彩・キャンバス	115.5×90	
14 川口 軌外	ボヘミアン	1928 (昭和3)	油彩・キャンバス	116.5×80.3	
15 米良 道博	魚のある静物	1933 (昭和8)	油彩・キャンバス	91×73	
16 原 勝四郎	ばら	制作年不詳	油彩・板	27.1×21.5	
17 原 勝四郎	ばら	制作年不詳	油彩・板	24.1×18.0	
18 萬 鐵五郎	湘南風景	1917 (大正6) 頃	油彩・キャンバス	33.3×46	受託作品
19 山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩・キャンバス	76.5×140.7	受託作品
20 下村 観山	魔障図(試作)	1910 (明治43)	墨・絹	64×164	
21 下村 観山	維摩黙然下図	1924 (大正13)	墨・顔料・紙	153.5×86.5	
22 山口 八九子	花売り	1910 (明治43)	顔料・紙	154×83.5	
23 山口 八九子	月見草と少女	1912 (大正元)	顔料・紙	178×66.5	
24 稗田 一穂	東北の秋	1946 (昭和21)	顔料・紙	180×124.8	
25 野長瀬 晩花	スペインの田舎の子供	1924 (大正13)	顔料・寒冷紗	110×136	
26 高井 貞二	松花江の船出	1941 (昭和16)	油彩・キャンバス	130.5×161.5	
27 松本 竣介	三人	1943 (昭和18)	油彩・キャンバス	162.2×112.5	受託作品
2.佐伯祐三の世界					
28 佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922 (大正11)	油彩・キャンバス	73×53.4	
29 佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	72.3×60.8	
30 佐伯 祐三	下落合風景	1926 (昭和元)	油彩・キャンバス	50×60.5	
31 佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和2)	油彩・キャンバス	73×92	
32 佐伯 祐三	アネモネ	1925 (大正14) 頃	油彩・キャンバス	45.3×27	受託作品
33 佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	46×54	
34 佐伯 祐三	オワーズ河周辺風景	1924 (大正13)	油彩・キャンバス	45.5×53	
35 佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和2)	油彩・キャンバス	61×50.3	受託作品
36 佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	60.5×73.3	
3.現代の美術					
37 泉 茂	輝 I	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
38 泉 茂	輝 II	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
39 泉 茂	輝 III	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
40 泉 茂	輝 IV	1972 (昭和47)	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
41 山田 正亮	Work E-265	1986-1987 (昭和61-62)	油彩・キャンバス	194×194	
42 山口 長男	連	1965 (昭和40)	油彩・ボード	182×364	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
43 戸谷 成雄	森	1986 (昭和61)	木(つが)・アクリル	220×490×30	
44 ノグチ, イサム	考える議長	1978 (昭和53)	御影石・木	26.7×22.7×26	
45 李 禹煥	点より	1980 (昭和55)	岩彩・キャンバス	194×259	
46 榎倉 康二	FIGURE B-No.3	1983 (昭和58)	アクリル・綿布	167×346.5	
47 セラ, リチャード	パリ	1985 (昭和60)	ペイントスティック、 シルクスクリーン・紙	214.6×133.3	
48 パラディーノ, ミンモ	アトランティコ I~7	1987 (昭和62)	リノカット・紙	204.5×75	
49 カロ, アンソニー	カタロニアのふぶき(カタロニア・シリーズ)	1987-1988 (昭和62-63)	鉄	105.5×63.5×71	
50 ネヴェルスン, ルイーズ	北の星	1977-1982 (昭和52-57)	彩色・木	278×213×48	
51 ネヴェルスン, ルイーズ	スカイ・ザグ	1974 (昭和49)	彩色・木	95×136×22	
52 シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和63)	石膏・木・アクリル・プラスチック・合板	254×213.4×76.2	
53 バスキア, ジャン・ミッシェル	無題	1983 (昭和58)	シルクスクリーン・キャンバス	192×146	
54 アルマンド	頭 18-7-90	1990 (平成2)	油彩・キャンバス	250×198	
55 クロス, チャック	フィル	1982 (昭和57)	cold pressed・紙	175×137	
56 グリーン, アラン	深紅色にかこまれた白	1982 (昭和57)	油彩・キャンバス	201×201	
57 ノイマン, マックス	無題	1988 (昭和63)	ミクストメディア・キャンバス	300×200	
58 ヘップワース, バーバラ	紋を張った円板(太陽)	1969 (昭和44)	ブロンズ・紐	50.8×47×10.2	
4.銅版画コレクションより一物語の中へ					
59 ピカソ, パブロ	貧しき食事	1904 (明治37)	エッチング・紙	46.5×37.7	
60 ピカソ, パブロ	ミノトーロマシー	1935 (昭和10)	エッチング、ピュラン・紙	49.8×69.3	
61 岸田 劉生	「天地創造」より『欲望』	1914 (大正3)	銅版・紙	13×13	
62 岸田 劉生	「天地創造」より『怒れるアダム』	1914 (大正3)	銅版・紙	13×13	
63 岸田 劉生	「天地創造」より『石を噛む人』	1914 (大正3)	銅版・紙	13×13	
5.過程と軌跡—それぞれの方法で、それぞれの方向へ					
64 ラインハート, アド	10 screenprints 1~10	1966 (昭和41)	シルクスクリーン・紙	55.7×43	
65 ステラ, フランク	ブラック・シリーズ	1967 (昭和42)	リトグラフ・紙		
	CLINTON PLAZA			55.7×43	
	ARUNDEL CASTELE			55.7×43	
	DIE FAHNE HOCH!			55.7×43	
	MARRIAGE OF REASON AND SQUALOR			55.7×43	
	TOMLINSON COURT PARK			55.7×43	
	GETTY TOMB			55.7×43	
	ARBEIT MACHT FREI			55.7×43	
	CLUB ONYX-SEVEV STEPS			55.7×43	
	BETHLEHEM'S HOSPITAL			55.7×43	
66 ゴームリー, アントニー	BEARING LIGHT 1~12	1991 (平成3)	木版・紙	56×49	
67 北辻 良央	WORK (Les joueurs de cartes) 2点組	1976 (昭和51)	エッチング・紙	39.7×47	
68 北辻 良央	WORK (Nature morte on panier) 2点組	1976 (昭和51)	エッチング・紙	39.7×49.7	
69 北辻 良央	WORK (Cézanne) 2点組	1978 (昭和53)	エッチング・紙	19.4×15.5	
70 クレー, パウル	情熱の園	1913 (大正2)	エッチング・紙	9.7×14.6	
71 クレー, パウル	小さな世界	1914 (大正3)	エッチング・紙	14.4×9.6	
72 龔 嘔	One+Two+Four=Eight	1959 (昭和34)	銅版・紙	15.1×21.6	
73 龔 嘔	Seven+Night=Eight	1959 (昭和34)	銅版・紙	15.2×21.8	
74 ステュワート, ボール L.	Village II	1992 (平成4)	ディープエッチング・紙	75.2×98.4	
75 玉置 正敏	ヘラクレスを食べる大蛇	1958 (昭和33)	油彩・キャンバス	162×130	
76 向井 修二	作品	1965 (昭和40)	油彩・キャンバス	183×137	
77 工藤 哲巳	未来と過去の間にある遺伝染色体 による少年の遊び	1979 (昭和54)	ミクストメディア	26.5×33.5×19.5	
78 中西 夏之	LℓR-目前のひびき-I	1988 (昭和63)	油彩・キャンバス	194×146.5	
79 中西 夏之	LℓR-目前のひびき-II	1988 (昭和63)	油彩・キャンバス	194×146.5	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
80 中西 夏之	L R-目のひびき-III	1988 (昭和63)	油彩・キャンバス	194×146.5	
81 クリスト	梱包されたライヒスターク ／ベルリンのプロジェクト	1986 (昭和61)	鉛筆、木炭、パステル、 クレヨン、地図・紙	38×165／106.6×165	
82 クリスト	梱包されたボン・ヌフ ／パリのプロジェクト	1985 (昭和60)	鉛筆、木炭、パステル、 クレヨン、航空写真・紙	38×244／106.6×244	
83 野村 仁	午前のアナレンマ	1990 (平成2)	カラープリント・紙	90×90	
84 野村 仁	正午のアナレンマ	1990 (平成2)	カラープリント・紙	110×90	
85 野村 仁	午後のアナレンマ	1990 (平成2)	カラープリント・紙	90×90	
86 三木 富雄	EAR 301	1964 (昭和39)	アルミニウム	31.2×26.9×6.7	
87 浅野 弥衛	無題	1967 (昭和42)	油彩・キャンバス	72.2×90.9	
88 浅野 弥衛	無題	1981 (昭和56)	油彩・キャンバス	72.2×90.9	
89 フルトン、ハミッシュ	プレコン・ビーコンズ	1987 (昭和62)	写真・テキスト	119.5×137.7	
90 フルトン、ハミッシュ	山の辺の道	1986 (昭和61)	写真・テキスト	139×110	
91 フルトン、ハミッシュ	ラガジャー	1987 (昭和62)	写真・テキスト	147×119	
92 フルトン、ハミッシュ	ヒープスタウン・ケルン	1986 (昭和61)	写真・テキスト	119.5×137.5	

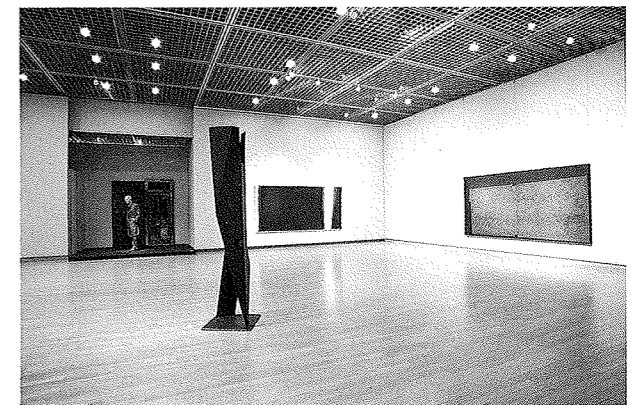


会場風景

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
美術館へ行こう4 1996年1月5日(金)～3月24日(日) 出品リスト					
1.和歌山ゆかりの作家と日本の美術を中心として					
1 中村 不折	白頭翁	1907 (明治40)	油彩・キャンバス	200.0×136.6	受託作品
2 ミレー、ジャン=フランソワ	仕事に出かける人	1863	エッチング・紙		受託作品
3 建島 大夢	子供	1917 (大正6)	ブロンズ	h94.0	
4 鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906 (明治39)	油彩・キャンバス	79.5×64.0	
5 保田 龍門	コオニユリのある風景	1912 (大正1) 頃	油彩・キャンバス	38.0×46.0	
6 林 義明	農夫	1915 (大正4) 頃	油彩・キャンバス	53.0×41.0	受託作品
7 神中 糸子	牡丹	1915-1925 (大正4-14)	油彩・キャンバス	50.4×61.0	
8 岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914 (大正3)	油彩・板	51.3×39.2	受託作品
9 高須 光治	自画像	1915 (大正4)	油彩・板	46.0×38.0	
10 保田 龍門	母の像	1915 (大正4)	油彩・キャンバス	73.2×61.3	
11 山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩・キャンバス	79.5×140.7	受託作品
12 野長瀬 晩花	被布着たる少女	1911 (明治44)	顔料・絹	114.4×135	
13 山口 八九子	橋立風景	1921 (大正10)	顔料・絹	87.0×117.0	
14 八田 高容	八坂之雪	1922 (大正11)	顔料・絹	169.0×69.5	
15 橋本 関雪	松竹梅山水図	制作年不詳	顔料・絹(双幅)	各147.9×36.0	受託作品
16 稗田 一穂	群鶴	1978 (昭和53)	顔料・紙	155.7×237	
17 国枝 金三	島の四月	1917 (大正6)	油彩・キャンバス	65.3×80.4	
18 Y. Tokugawa	[風景]	制作年不詳	油彩・キャンバス	40.0×52.0	
19 萬 鐵五郎	湘南風景	1917 (大正6) 頃	油彩・キャンバス	33.3×46.0	受託作品
2.佐伯祐三の世界					
20 佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922 (大正11)	油彩・キャンバス	73.0×53.4	
21 佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923 (大正12)	油彩・キャンバス	91.2×65.5	
22 佐伯 祐三	オワーズ河周辺風景	1924 (大正13)	油彩・キャンバス	45.5×53.0	
23 佐伯 祐三	ポスターとロウソク立て	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	46.0×54.0	
24 佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	60.5×73.3	
25 佐伯 祐三	広告のある門	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	60.0×73.3	
26 佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	72.3×60.8	
27 佐伯 祐三	下落合風景	1926 (昭和1)	油彩・キャンバス	50.0×60.5	
28 佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927 (昭和2)	油彩・キャンバス	73.0×92.0	
29 佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927 (昭和2)	油彩・キャンバス	61.0×50.3	受託作品
30 佐伯 祐三	モラン風景	1928 (昭和3)	油彩・厚紙	38.0×45.0	
3.和歌山ゆかりの作家と日本の美術					
31 裕 伊之助	ブザンソン風景	1924 (大正13)	油彩・キャンバス	50.1×60.8	
32 鳥海 青児	アルジェの水汲み女	1932 (昭和7)	油彩・キャンバス	44.7×32.5	
33 石垣 栄太郎	拳闘	1925 (大正14)	油彩・キャンバス	75.2×91.3	
34 石垣 栄太郎	キューバ島の反乱	1933 (昭和8)	油彩・キャンバス	181.0×140.0	
35 松本 竣介	三人	1943 (昭和18)	油彩・キャンバス	162.2×112.5	受託作品
36 木下 孝則	赤衣の女	1934 (昭和9)	油彩・キャンバス	71.5×51.0	
37 木下 義謙	赤衣半身像	1931 (昭和6)	油彩・キャンバス	91.0×73.0	
38 川口 軌外	少女と貝殻	1934 (昭和9)	油彩・キャンバス	167.0×267.0	
39 川口 軌外	花と少女	1938 (昭和13)	油彩・キャンバス	110.7×91.0	
40 杉本、ヘンリー	明日のアメリカを担う世代	1966 (昭和41)	油彩・キャンバス	162.0×130.0	
41 杉本、ヘンリー	ニューヨークの安アパート	1965 (昭和40)	油彩・キャンバス	162.0×130.0	
42 村井 正誠	自画像(太い線)	1974 (昭和49)	油彩・キャンバス	162.1×130.0	
43 村井 正誠	ならぶ人々	1975 (昭和50)	油彩・キャンバス	193.0×259.0	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
4.現代の美術—簡潔なイメージ					
44	ノグチ, イサム 黒いシルエット	1958 (昭和33)	アルミニウム	244.0×61.0×46.0	
45	川端 実 門のイメージ 黒	1984 (昭和59)	アクリル・キャンバス	213.0×157.3	
46	野田 裕示 WORK-796	1993 (平成5)	アクリル・キャンバス	259.1×181.8	
47	山口 長男 連	1965 (昭和40)	油彩・ボード	182.0×364.0	
48	榎倉 康二 FIGURE B-No.3	1983 (昭和58)	アクリル・綿布	167.0×346.5	
49	シーガル, ジョージ 煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988 (昭和63)	石膏・木・アクリル・ プラスチック・合板	254.0×213.4×76.2	
50	濱田 弘明 Untitled '92-12	1992 (平成4)	シルクスクリーン・写真	180.0×225.0	
51	木村 秀樹 BANK OF ENGLAND	1988 (昭和63)	シルクスクリーン・紙	159.0×129.0	
52	中里 斉 Massa (マーサ)	1981 (昭和56)	アクリル、油彩・キャンバス	112.0×336.0	
53	中里 斉 Minn (ミン)	1982 (昭和57)	アクリル、油彩・キャンバス	112.0×390.0	
54	マンゴルド・ロバート 3つのアクアチント 黄	1979 (昭和54)	アクアチント・紙	64.7×148.0	
55	マンゴルド・ロバート 3つのアクアチント 赤	1979 (昭和54)	アクアチント・紙	104.1×104.1	
56	マンゴルド・ロバート 3つのアクアチント オレンジ	1979 (昭和54)	アクアチント・紙	103.5×111.1	
5.花や草のある風景					
57	田中 恭吉 太陽と花	1914 (大正3)	木版・紙	17.8×11.6	
58	谷中 安規 花は花	1933 (昭和8)	木版・紙	15.9×23.1	
59	モランディ, ジョルジョ 縞模様の花瓶にいた花	1924 (大正13)	エッチング・紙	25.9×21.0	受託作品
60	長谷川 潔 コクリコ・野花(A)	1931 (昭和6)	ドライポイント・紙	23.8×18.6	
61	長谷川 潔 コップに挿した花	制作年不詳	ドライポイント・紙	21.0×28.5	
62	長谷川 潔 切子グラスに挿したアネモネと草花	1944-1945 (昭和19-20)	アクアチント・紙	25.1×18.4	
63	長谷川 潔 アカリユウムの前の草花	1969 (昭和44)	メゾチント・紙	26.4×35.4	
64	浜口 陽三 草花	1952 (昭和27)	ドライポイント・紙	10.5×8.0	
65	浜口 陽三 あざみ	1957 (昭和32)	メゾチント・紙	29.5×39.5	
66	浜口 陽三 かわらなでしこ	1971 (昭和46)	メゾチント・紙	9.7×7.5	
67	浜口 陽三 あじさい	1964 (昭和39)	カラーメゾチント・紙	3.7×3.7	
68	浜口 陽三 蝶	1968 (昭和43)	カラーメゾチント・紙	11.5×11.5	
69	南 桂子 鳥と花	1957 (昭和32)	カラーエッチング・紙	36.9×28.8	
70	恩地 孝四郎 ポエム「白い花」	1954 (昭和29)	リトグラフ・紙	44.0×31.0	
71	瑛 九 海辺の花	1953 (昭和28)	エッチング・紙	27.0×24.0	
72	瑛 九 花	1954 (昭和29)	エッチング、アクアチント・紙	24.0×18.0	
73	船井 裕 花を守る人々	1956 (昭和31)	エッチング・紙	24.7×20.4	
74	船井 裕 二人	1956 (昭和31)	エッチング・紙	19.6×14.9	
75	巖 嘸 ひまわり男女	1954 (昭和48)	エッチング・紙	18.4×18.0	
76	吉原 英雄 ひまわり	1956 (昭和31)	リトグラフ・紙	43.0×31.0	
77	福井 良之助 日と花	1959 (昭和34)	謄写版・紙	29.8×17.9	
78	駒井 哲郎 Les Fleurs (花々)	1970 (昭和45)	モノタイプ・紙	17.0×16.2	
79	萩原 英雄 石の花(灰)	1960 (昭和35)	木版・紙	87.0×58.0	
80	萩原 英雄 石の花(赤)	1960 (昭和35)	木版・紙	87.0×58.0	
81	萩原 英雄 石の花(黒)	1960 (昭和35)	木版・紙	88.0×59.0	
82	麻田 浩 花	1976 (昭和51)	アクアチント、エッチング・紙	50.0×40.0	
83	草間 弥生 花	1984 (昭和59)	シルクスクリーン・紙	52.9×45.6	
84	植木 茂 モードス	1949 (昭和24)	木	57.5×27.0×22.0	
85	ヴラマンク, モーリス・ド 花	制作年不詳	油彩・キャンバス	54.0×37.0	
86	佐伯 祐三 アネモネ	1925 (大正14) 頃	油彩・キャンバス	45.3×27.0	受託作品
87	鳥海 青児 花の図	1941 (昭和16)	油彩・キャンバス	60.8×50.4	受託作品
88	原 勝四郎 ばら	制作年不詳	油彩・板	27.2×21.5	
89	原 勝四郎 ばら	制作年不詳	油彩・板	24.1×18.0	
90	ピカソ, パブロ ミノトーロマシー	1935 (昭和10)	エッチング、ビュラン・紙	49.8×69.3	

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
6.建島覚造の動く彫刻					
91	建島 覚造 ECLIPSE (DISK 1)	1976 (昭和51)	アルミ・鉄・木・モーター	90.0×52.0×48.0	
92	建島 覚造 DISK 2	1977 (昭和52)	アルミ・鉄・木・モーター	90.0×50.0×48.0	
93	建島 覚造 DISK 3	1977 (昭和52)	アルミ・鉄・木・モーター	90.0×50.0×48.0	
94	建島 覚造 動く傘	1978 (昭和53)	アルミ・鉄・布・レール	210.0×130.0×175.0	
95	建島 覚造 傘	1976 (昭和51)	アルミ・ステンレス・ 鉄・ナイロン布	240.0×240.0×85.0	
96	建島 覚造 ALARM	1972 (昭和47)	ポリエステル・アクリル	211.0×81.0×124.0	
97	建島 覚造 Go Go	1971 (昭和46)	アルミ・ステンレス	62.0×77.0×18.0	



会場風景

普及事業

講演会

(各展覧会事業の項に記載)

広報活動

- 美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等を理解し、活用してもらうために、要覧、美術館案内、ちらし、カレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供した。
- 特別展ごとに、ポスター、ちらし等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関その他に配布した。
- 県内外の新聞社、放送局、出版社等に事業案内の報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて資料等を提供した。
- 県発行の広報に、事業案内を掲載した。
- その他、随時広報活動を行なった。

刊行物の発行

展覧会図録、リーフレット、ポスター、ちらし、出品目録
(各展覧会事業の項に記載)

機関誌「NEWS」

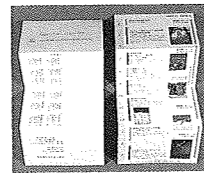
4回発行(右頁に記載)

和歌山県立近代美術館リーフレット

B4判変形観音折り

1995年度展覧会カレンダー

A7判8頁4ツ折り



カレンダー

博物館実習生の受け入れ

大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間

1995年8月1日～8月7日(5日間)

- 大阪青山短期大学 1名
- 大阪芸術大学 3名
- 大阪府立大学 2名
- 岡山県立大学 1名
- 帝塚山学院 3名
- 名古屋芸術大学 1名
- 関西学院大学 1名
- 以上12名



友の会活動

「和歌山県立近代美術館友の会」は、美術を愛する人々が集い、当館の活動を支援するとともに美術作品を鑑賞したり、語り合い、ときにはアーティストを囲んでのトークなど楽しみながら美術に親しむ会である。

1995年度友の会事業報告

1. 会員の現状

1996年3月31日現在での会員数は次のとおりであった。

- 一般会員 446人
- 学生会員 9人

賛助会員 6人

計 461人

2. 会員への助成事業

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しむことができるよう常設展及び特別展の観覧並びに図録の購入に対し助成を行った。

- (1) 展覧会入場延会員 426人
- (2) 図録購入 58冊

3. 研修事業

(1) 特別展内覧会の開催

特別展プレビューを開催(5回)し、延450人の会員が観覧した。

(2) パフォーマンスの開催

1995年6月10日(土)美術館入口前アプローチプラザにおいて玉城正紀氏、加藤ひろ子氏出演による「現在音楽とモダンダンス」を開催し、観覧者100人を集めて約1時間にわたっての公演を観覧した。

(3) 懇親パーティーの開催(参加者約120人)

1995年12月23日(土)美術館リーディングコーナーにおいて作家(京都市立芸術大学教授)の吉原英雄氏を招いて会員と歓談し、交流を行った。

(4) 版画のプレゼント

会員コレクションの一環として、昨年度に続き版画家吉原英雄氏創作の版画「猫'95(リトグラフ・手彩色・19×25.5)」を会員にプレゼントした。

(5) アーティスト・トークとサイン会の開催

1996年1月13日(土)美術館ホールにおいて講師には銅版画家の山本容子氏、ゲストには建築家の竹山聖氏を招いてアーティスト・トークを開催し、聴講者130人を集めて約2時間にわたって拝聴した。アーティスト・トーク終了後には美術館リーディングコーナーにおいて山本容子氏によるサイン会が行われた。

(6) ミュージウムコンサートの開催

1996年2月17日(土)美術館1F展示室において澤和樹四重奏団によるミュージウムコンサートを開催し、聴衆者200人を集めて約2時間にわたって拝聴した。

(7) 美術鑑賞ツアーの開催(参加者46人)

1996年3月10日(日)徳島周辺的美術館めぐりバスツアーを企画し、会員46人が参加、恰美術館(「茶道具拝見」：鳴門市)、藍染工芸館(藍染工場の見学、藍染体験：徳島市)及び徳島県立近代美術館(「同時代のアフリカ美術」：徳島市)の3館を鑑賞した。

4. 館広報紙・その他の情報提供事業

会員に、ミュージウムカレンダー('95展覧会案内)、機関紙「NEWS」(年4回発行)その他企画展チラシ、ショップDMなどの情報を配布し、館事業等を案内した。

機関誌「NEWS」

(付記のない執筆者は当館学芸員)

No.5(1995年7月1日発行)

風景ってなあに?「美術館にいったよ!展」の前に 浜田拓志
創作版画誌のこと「日本の近代版画展」のために 三木哲夫
表紙の話/「村井正誠展」より《ゴルフジュアンの朝》1934年 寺口淳治
村井正誠/色と形と心一人間の詩 植野比佐見
風景小論「美術館にいったよ!—風景ってなあに—展」によせる 奥村泰彦
歴史を持つ—ヴィクトリア&アルバート美術館展 奥村泰彦
場と彫刻—「保田春彦展」のための覚書 寺口淳治
研究ノオト/ニューヨークの石垣栄太郎—《K.K.K.》をめぐって— 安来正博
美術館の日常/展示室の約束—作品保存のために— 井上芳子

No.6(1995年9月1日発行)

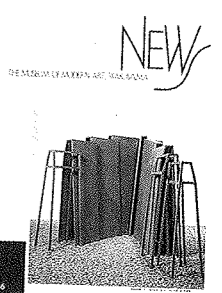
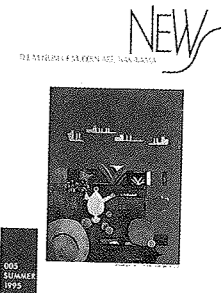
作家のはなし/抄録「作家と話そう—村井正誠」1995年7月1日 当館ホール(語り) 村井正誠、抄録 植野比佐見
美術館へいったら…ポスターにつかったイラストあれこれ 浜田拓志
表紙の話/保田春彦《聚落を囲う壁 III》1994-95年 奥村泰彦
保田春彦展 寺口淳治
作品論試論—野田裕示近作展のために 安来正博
研究ノオト/モビールの展開—コールドーとリッキー 奥村泰彦
作品保存の現状 井上芳子
美術館の日常/監視員の仕事—人と作品の安全のために— 植野比佐見

No.7(1995年12月1日発行)

想像のリアリティー—ひかる・うごく・おとがする 世紀 寺口淳治
表紙の話/野田裕示《Work 884》1994年 植野比佐見
絵をつくること/絵を考えること—野田裕示アーティスト・トーク(語り) 野田裕示、抄録 安来正博
線画の世界—かたりの表現— 井上芳子
ひかる/うごく/おとがする/なにか?/作品が 奥村泰彦
研究ノオト/アースワークが問いかけるもの(1) 浜田拓志
美術館の日常/おしゃべり 植野比佐見

No.8(1996年3月1日発行)

50年目の検証—見直される在米日本人画家たち 安来正博
表紙の話/田中敦子《電気服》1956年(1986年再制作) 寺口淳治
1950年:モビールの季節 山口勝弘(造形作家)
ひかる・うごく・おとがする—展覧会のなりたちのなりゆき 奥村泰彦
「絵画」というしくみ—うつすことの秘密 植野比佐見
研究ノオト/アースワークが問いかけるもの(2) 浜田拓志
美術館の日常/クイズをひとつ 井上芳子



調査・研究・発表活動および対外協力活動

三木哲夫

- 創作版画誌のこと「日本の近代版画展」のために
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 『旅人泉茂 自著述集』(監修 1996年5月 番画廊)
- 『村井正誠展カタログ』年譜 参考文献
- 1995年9月～ 京都精華大学美術学部・非常勤講師 版画論
- 1995年1月～1996年3月 徳島県立近代美術館資料収集委員会委員
- 1995年4月～ 国立国際美術館運営委員会委員
- 1995年8月～ 田辺市立美術館美術館協議会委員
- 1995年8月～ 田辺市立美術館作品選定委員会委員

浜田拓志

- 館蔵品から 野村仁 自転と重力―補陀落の海へ
読売新聞 1995.8.22.
- 館蔵品から ロジャー・アックリング ノーフォーク
イギリス 読売新聞 1995.10.17.
- 風景ってなあに?「美術館にいったよ!展」の前に
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 美術館へいったら…ポスターにつかったイラストあれこれ
和歌山県立近代美術館ニュース 第6号(1995年秋号)
- 研究ノオト／アースワークが問いかけるもの(1)
和歌山県立近代美術館ニュース 第7号(1995年冬号)
- 研究ノオト／アースワークが問いかけるもの(2)
和歌山県立近代美術館ニュース 第8号(1996年春号)
- 1995年5月「全国美術館会議 阪神大震災美術館・博物館
総合調査」の現地調査にボランティアとして参加。被災
状況についての調査研究。

寺口淳治

- 1995年7月 シンポジウム「コレクションのゆくえ」にパ
ネリストとして参加。文化の森イベントホール(徳島県
立近代美術館)(7月23日)
- 『保田春彦展図録』年譜および文献目録
- 「科学の時代に」『ひかる・うごく・おとがする』展図録
- 表紙の話／「村井正誠展」より《ゴルフジュアンの朝》1934年
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 場と彫刻―「保田春彦展」のための覚書
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 保田春彦展
和歌山県立近代美術館ニュース 第6号(1995年秋号)
- 想像のリアリティー／ひかる・うごく・おとがする 世紀
和歌山県立近代美術館ニュース 第7号(1995年冬号)
- 表紙の話／田中敦子《電気服》1956年(1986年再制作)
和歌山県立近代美術館ニュース 第8号(1996年春号)

安來正博

- 「平面絵画の原風景―野田裕示が試みたこと―」 『野
田裕示作品集』
- 「石垣栄太郎関係スクラップ資料と、その補足的考察(1)」
『和歌山県立近代美術館紀要 第1号』
- 現代美術入門 和歌山新報 1994年11月17日～1995年9月
21日まで毎週連載
- 館蔵品から [水其地] 横尾忠則
読売新聞 和歌山版 4月11日
- 館蔵品から [3つと4つ] アラン・グリーン
読売新聞 和歌山版 6月13日
- 館蔵品から [WORK-882] 野田裕示
読売新聞 和歌山版 10月31日

- 館蔵品から [少女] 野田英夫
読売新聞 和歌山版 1996年2月20日
- 美術館の風
山陰中央新報 10月12日～11月9日まで5回連載
- 研究ノオト／ニューヨークの石垣栄太郎―《K.K.K.》をめ
ぐって―
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 作品論試論―野田裕示近作展のために
和歌山県立近代美術館ニュース 第6号(1995年秋号)
- 50年目の検証―見直される在米日本人画家たち
和歌山県立近代美術館ニュース 第8号(1996年春号)

奥村泰彦

- 「林康夫：その歩み」『YASUO HAYASHI』1995.10.24
- 「ひかる・うごく・おとがする序論」『ひかる・うごく・
おとがする』展 図録
- 「抽象映画の展開」『ひかる・うごく・おとがする』展
図録
- 館蔵品から 松本薫 Cycle90° R II 読売新聞1996.3.5
- 館蔵品から 建畠覚造 ALARM 読売新聞1996.3.19
- 全国美術館会議、情報処理ワーキンググループ参加
- 風景小論「美術館にいったよ!―風景ってなあに―展」
によせる
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 歴史を持つ―ヴィクトリア&アルバート美術館展
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 表紙の話／保田春彦《聚落を囲う壁 Ⅲ》1994-95年
和歌山県立近代美術館ニュース 第6号(1995年秋号)
- 研究ノオト／モビールの展開―コールドーとリッキー
和歌山県立近代美術館ニュース 第6号(1995年秋号)
- ひかる／うごく／おとがする／なにか?／作品が
和歌山県立近代美術館ニュース 第7号(1995年冬号)
- ひかる・うごく・おとがする―展覧会のなりたちのなりゆき
和歌山県立近代美術館ニュース 第8号(1996年春号)

植野比佐見

- 「《パンチュール》：絵画の成立―村井正誠の初期作品
のために」『村井正誠展カタログ』
- 村井正誠／色と形と心―人間の詩
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 美術館の日常／監視員の仕事―人と作品の安全のために
和歌山県立近代美術館ニュース 第6号(1995年秋号)
- 表紙の話／野田裕示《Work 884》1994年
和歌山県立近代美術館ニュース 第7号(1995年冬号)
- 美術館の日常／おしゃべり
和歌山県立近代美術館ニュース 第7号(1995年冬号)
- 「絵画」というしくみ―うつすことの意味
和歌山県立近代美術館ニュース 第8号(1996年春号)

井上芳子

- 美術館の日常／展示室の約束―作品保存のために―
和歌山県立近代美術館ニュース 第5号(1995年夏号)
- 作品保存の現状 和歌山県立近代美術館ニュース 第6号
(1995年秋号)
- 線画の世界―かたりの表現―
和歌山県立近代美術館ニュース 第7号(1995年冬号)
- 美術館の日常／クイズをひとつ
和歌山県立近代美術館ニュース 第8号(1996年春号)

収集事業

和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- | | |
|-----|--|
| 日本画 | 1. 下村観山、川端龍子を軸とする院展の作家たち |
| | 2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち |
| 洋画 | 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち |
| | 4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち |
| | 5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち |
| 版画 | 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見 享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画 |
| 彫刻 | 7. 本県にゆかりの建畠覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻 |
| その他 | 8. 戦後美術 |
| | ア パンリアル美術協会 |
| | イ 走泥社 |
| | ウ デモクラート美術家協会 |
| | エ 具体美術協会 |
| | 9. 現代の美術 |
| | 10. 海外の美術 |

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員名簿

(◎=会長)

氏名	職業
大河内 菊雄	伊丹市立美術館館長
◎ 玉井 一郎	歯科医院長 県立近代美術館友の会顧問
村田 慶之輔	美術評論家
保田 春彦	武蔵野美術大学教授
山本 陽一	会社社長

1995年度 収蔵作品点数

1 購入

種別	作家数	作品点数
洋画	2	2
彫塑	1	1
版画	32	158
水彩	1	2
写真	1	1
総計	37	164

2 寄贈

種別	作家数	作品点数
日本画	1	9
洋画	2	2
版画	12	37
素描	1	32
写真	1	1
資料	4	9
総計	21	90

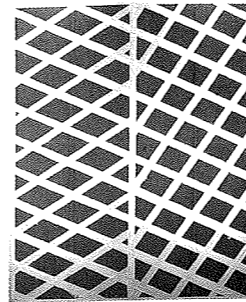
所蔵作品点数年度別一覧

年度	日本画		洋画		彫塑		版画		水彩画		素描・下図		写真		工芸		資料		年度小計		年度合計		累計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
1963		3	1	1															1	4	5		8
1964			1	2															0	25	25		36
1965	1		2						1					4					13	8	21		57
1966		1		19				11											1	7	8		65
1967	2	1		7					1										2	16	18		83
1968		1		5	1														9	4	13		96
1969	1			11	1	5							3	2					1	10	11		107
1970	4	2			2				3	1	1								20	10	30		137
1971		2		4				3	1	1									3	16	19		156
1972			3	3															53	22	75		231
1973		11	3	5				47	18	2			1						14	20	34		265
1974	3	1	1	1				7	17										14	46	60		325
1975			5	3	2														15	9	24		349
1976		14	2	28				12											20	22	42		445
1977	3	2	3	6				9		1							1		9	28	75		548
1978	1	12	2	31	2			17	5					4					78	87	165		713
1979			3	60	8									10					1	42	81		836
1980	5	10	1	66	4	1	68							1				23	1	169	252	421	1257
1981	1		2	22	4	3	136	22						219					137	311	448		1705
1982	3	7	3		5		124	299										1	12	63	47	110	1815
1983	3	4	5		3	1	53	25					1					28	127	256	383	2198	
1984	1	9	4		3	1	117	153						10				3	160	30	190	2388	
1985			2	33	8	3	153	30										1	181	904	1085	3473	
1986			1	3			153	30											147	1	148	3621	
1987	4		1	36	3	1	169	161						12	3	694			98	100	198	3819	
1988	8		2				137	1											42	47	89	3908	
1989	1		1	2			90	76	2	5	2	16							72	61	133	4041	
1990			1	1	2	3	37	9						6	13	14		1	429	429	4470		
1991					2	29	49	18	1					6	4				185	39	224	4694	
(基金作品買戻し)	8		34		18		341	28	1				7						187	43	230	4924	
1992					1		180	28						10	3				42		42	4966	
1993	1	5	1				185	37											4	306	109	415	5381
(基金作品買戻し)	5		7		2		27						3	1	1	15	1		9	164	90	254	5635
1994	2		5	40	3	2	291	47					32	1	1				84	2,829	2,806		
1995		9	2	2	1		158	37	2														
小計	57	94	98	388	77	63	2,473	1,044	8	30	38	1,036	17	16	22	51	39	84	2,829	2,806			
合計	151		486		140		3,517		7			1,074			127				873				
(基金)			41		30		611		7			1,074			57				123				
総合計	151		527		170		4,128		45			1,074			160				130				

1995年度図書資料購入

- 購入資料
 - 単行図書 98冊
 - マイクロフィルム 1セット50リール
 - 逐次刊行物 17タイトル160冊
- 寄贈 493冊

1995年度購入作品



中村 一美
示差性の絵画-赤と銀
1987(昭和62)
アクリル・キャンバス
194×162.5



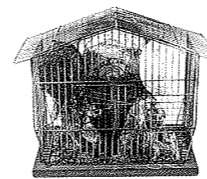
野田 裕示
WORK-796
1993(平成5)
アクリル・キャンバス
259.1×181.8



五姓田 芳柳
相川龍藏守胤像
1887(明治20)
顔料・絹
127.0×40.4



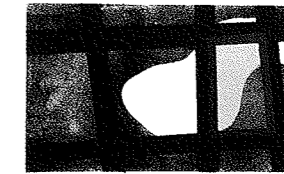
五姓田 芳柳
相川鍋次郎守正像
1887(明治20)
顔料・絹
127.0×40.4



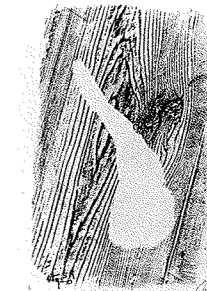
工藤 哲巳
未来と過去の間にある遺伝染色体
による少年の遊び
1979(昭和54)
ミクストメディア
26.5×33.5×19.5



靉 嘔
鳥をみる女達
1957(昭和32)
1979(昭和54)
リトグラフ・紙
42.9×28.9



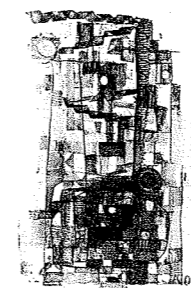
靉 嘔
白い形
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
22.9×38.3



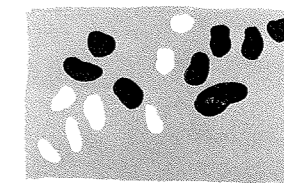
靉 嘔
木の目の中の白い形
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
42.5×27.0



靉 嘔
グリーンの太陽
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
53.1×36.8



靉 嘔
都市
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
43.6×27.1



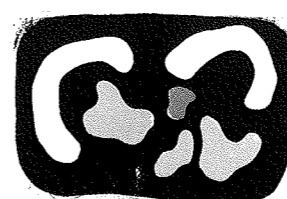
靉 嘔
黒・白・黄
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
25.0×39.7



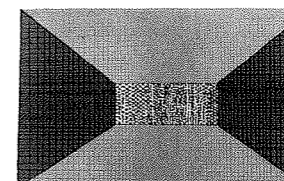
靉 嘔
三つの形
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
39.6×23.8



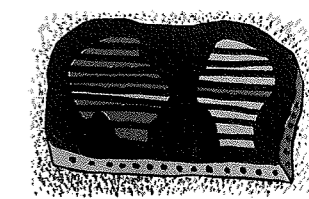
靉 嘔
ラブ・スネーク
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
28.3×44.5



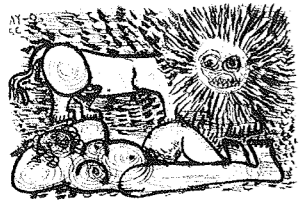
靉 嘔
黒の中の白・黄・赤の形
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
28.9×42.3



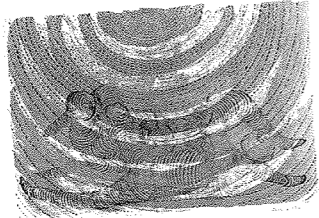
靉 嘔
バンドラの箱
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
22.5×36.5



靉 嘔
会話
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
29.5×44.7



鏡 嘯
ライオンと女
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
29.5×45.0



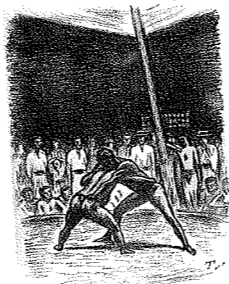
鏡 嘯
太陽をあびる父母子
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
26.8×39.6



鏡 嘯
線のリズムC
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
41.8×27.0



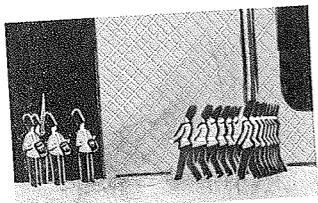
鏡 嘯
銀河系
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
27.1×38.2



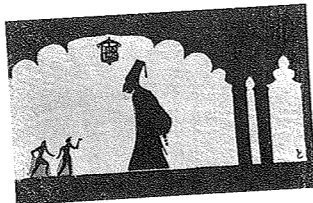
石井 鶴三
夜相撲
1926(大正15)
リトグラフ・紙
32.9×25.0



稲垣 知雄
松竹大レビュー 第一輯
1.シャラパン 3.スペイン セヴィ
ラの広場(飛鳥明子)
1931(昭和6)
木版・紙
14.2×9.2



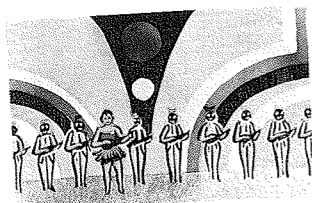
稲垣 知雄
松竹大レビュー 第一輯
1.シャラパン 1.イギリス
1931(昭和6)
木版・紙
9.1×14.4



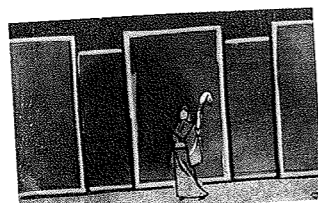
稲垣 知雄
松竹大レビュー 第一輯
2.トルコ
1931(昭和6)
木版・紙
8.9×14.3



石井 柏亭
茶店
制作年不明
木版・紙
25.3×16.7



稲垣 知雄
松竹大レビュー 第一輯
2.ヴァニチ・フェア 1.世界的ジャズ
ダンサー
1931(昭和6)
木版・紙
9.1×14.3



稲垣 知雄
松竹大レビュー 第一輯
2.ヴァニチ・フェア 2.ミス・ニッ
ポンの内槍踊(香椎園子)
1931(昭和6)
木版・紙
9.1×14.4



瑛 九
母子
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
22.9×20.7



瑛 九
海辺
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
36.4×25.4



瑛 九
家
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
38.4×24.5



瑛 九
森のパレー
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
39.0×24.7



瑛 九
こわれた自転車
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
39.1×24.7



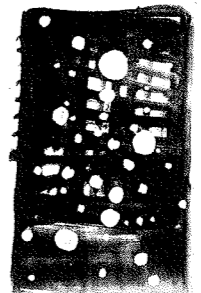
瑛 九
砂漠で
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
34.9×26.5



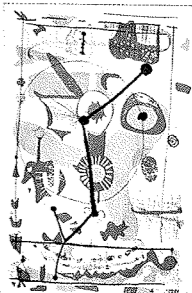
瑛 九
街の灯
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
39.0×25.0



瑛 九
嵐をつげる
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
34.9×52.0



瑛 九
夜の白
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
36.0×22.2



瑛 九
赤と黄
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
38.3×23.9



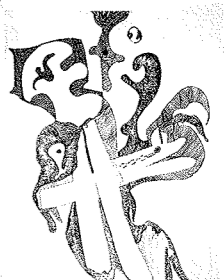
瑛 九
鳥の芝居
1956(昭和31)
リトグラフ・紙
37.7×51.8



瑛 九
舞台のピエロ
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
52.9×40.5



瑛 九
旅人
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
37.7×52.6



瑛 九
ゴーストツブ
1953(昭和28)
銅版・紙
36.3×26.5



岡本 帰一
花
制作年不明
木版・紙
29.2×18.8



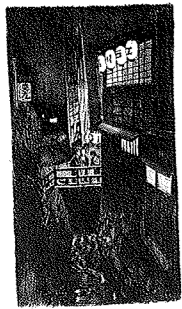
織田 一磨
東京風景 一 愛宕山
1916(大正5)
リトグラフ・紙
40.8×26.0



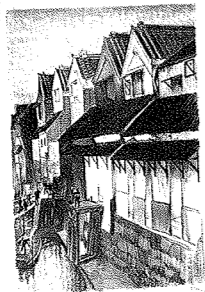
織田 一磨
東京風景 二 十二階
1916(大正5)
リトグラフ・紙
43.3×18.1



織田 一磨
東京風景 三 日本橋
1916(大正5)
リトグラフ・紙
28.7×39.3



織田 一磨
東京風景 四 目白阪下
1916(大正5)
リトグラフ・紙
45.5×25.4



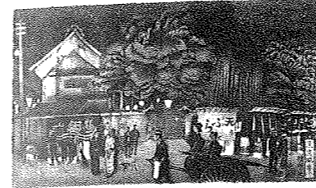
織田 一磨
東京風景 五 小舟町河岸
1916(大正5)
リトグラフ・紙
44.7×29.3



織田 一磨
東京風景 六 待乳山
1916(大正5)
リトグラフ・紙
28.0×41.6



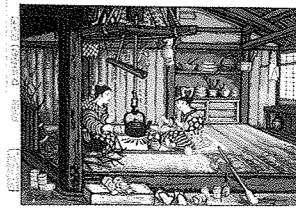
織田 一磨
東京風景 七 柳橋之雨
1916(大正5)
リトグラフ・紙
28.7×39.6



織田 一磨
東京風景 二十 神楽坂
1917(大正6)
リトグラフ・紙
26.3×43.6



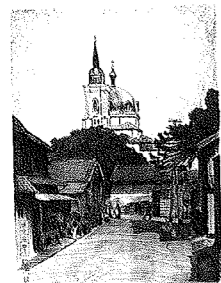
小野 忠重
火災 1923年9月1日
1932(昭和7)
木版・紙
14.3×23.2



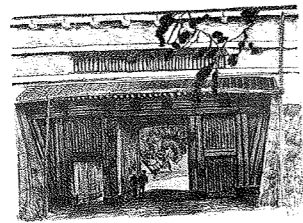
勝平 得之
あろり
1939(昭和14)
木版・紙
27.0×38.0



加藤 正
愛しあっている二人は殺された(口
ーゼンバーグ夫妻に捧ぐ)
1953(昭和28)
エッチング・紙
36.1×20.0



織田 一磨
東京風景 八 駿河臺
1916(大正5)
リトグラフ・紙
39.4×28.8



織田 一磨
東京風景 九 和田倉門
1916(大正5)
リトグラフ・紙
28.3×39.0



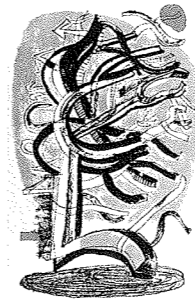
織田 一磨
東京風景 十 大根河岸
1916(大正5)
リトグラフ・紙
39.1×28.5



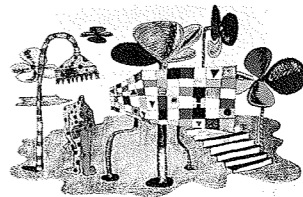
織田 一磨
東京風景 十一 小日向大日堂
1916(大正5)
リトグラフ・紙
29.0×43.8



加藤 正
朝
1953(昭和28)
エッチング・紙
20.4×17.7



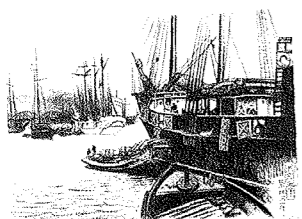
加藤 正
風の塔
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
40.2×25.5



加藤 正
街に夕陽が落ちた
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
24.5×38.4



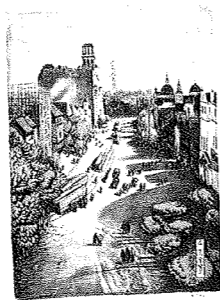
加藤 正
街に夕陽が落ちる
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
41.2×52.8



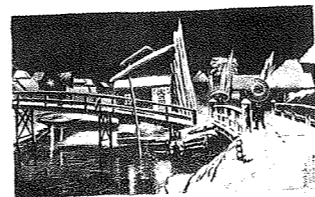
織田 一磨
東京風景 十二 築地河岸
1916(大正5)
リトグラフ・紙
29.9×40.5



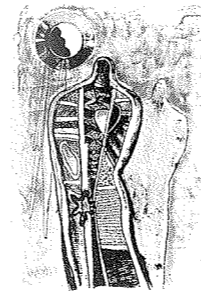
織田 一磨
東京風景 十三 洲崎之景
1916(大正5)
リトグラフ・紙
25.9×43.1



織田 一磨
東京風景 十四 上野廣小路
1916(大正5)
リトグラフ・紙
40.0×28.6



織田 一磨
東京風景 十五 木場雪景
1917(大正6)
リトグラフ・紙
27.2×44.4



加藤 正
夜の記憶
1957(昭和32)
リトグラフ・紙
38.5×25.5



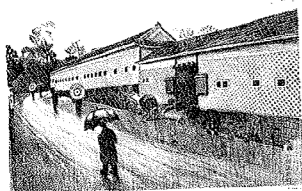
加藤 正
都市の残光
1958(昭和33)
リトグラフ・紙
49.5×36.5



加藤 正
聖者が街にやって来た
1958(昭和33)
リトグラフ・紙
48.6×35.2



加藤 正
ヘバイストの人形
1958(昭和33)
リトグラフ・紙
49.6×36.7



織田 一磨
東京風景 十六 本郷龍岡町
1917(大正6)
リトグラフ・紙
28.3×44.3



織田 一磨
東京風景 十七 芝御霊屋
1917(大正6)
リトグラフ・紙
30.5×45.2



織田 一磨
東京風景 十八 上野之櫻
1917(大正6)
リトグラフ・紙
40.3×27.1



織田 一磨
東京風景 十九 品川之雨
1917(大正6)
リトグラフ・紙
26.0×42.7



川端 龍子
月夜のヨット
1916(大正5)
木版・紙
28.8×19.0



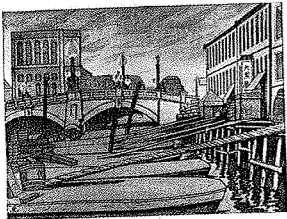
川端 龍子
露
1916(大正5)
木版・紙
28.0×18.1



川端 龍子
失題
1916(大正5)
木版・紙
28.9×20.7



北澤 収二
収穫
1931(昭和6)
リトグラフ・紙
33.5×46.8



小泉 癸巳男
日本橋
制作年不明
木版・紙
22.7×30.2



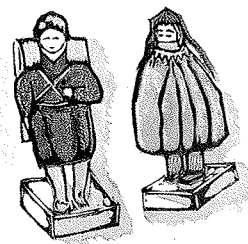
柴 秀夫
かまきり
制作年不明
木版・紙
7.0×20.7



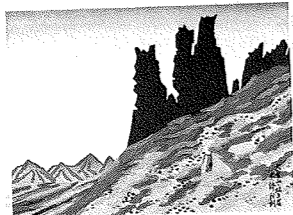
柴 秀夫
農婦図
1932(昭和7)
木版・紙
10.7×9.5



柴 秀夫
足について
1933(昭和8)
木版・紙
10.8×16.0



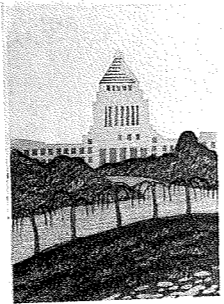
柴 秀夫
玩具
制作年不明
木版・紙
13.5×12.3



下澤 木鉢郎
大雪山(新日本百景)
1938(昭和13)
木版・紙
22.8×30.5



諏訪 兼紀
皇居(新東京百景)
1932(昭和7)
木版・紙
18.5×24.5



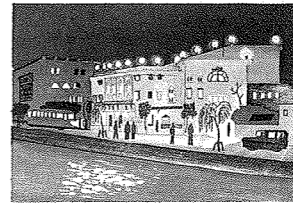
諏訪 兼紀
帝国議事堂(新東京百景)
1932(昭和7)
木版・紙
24.7×17.4



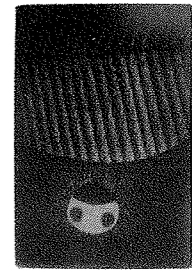
徳力 富吉郎
愛宕の残雪
1934(昭和9)
木版・紙
26.9×38.9



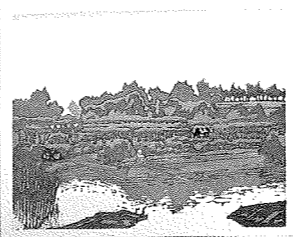
永瀬 義郎
ある日の草人
1928(昭和3)
木版・紙
39.2×20.0



野村 俊彦
帝劇
制作年不明
木版・紙
21.6×30.8



浜口 陽三
てんとう虫(15点)
1984(昭和59)
メゾチント・紙
各6.0×4.0



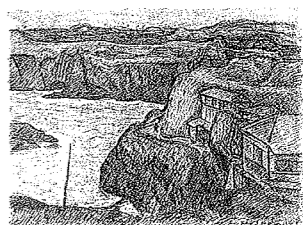
藤森 静雄
田園風景
制作年不明
木版・紙
22.5×27.9



前川 千帆
濠八丁(新日本百景)
1938(昭和13)
木版・紙
22.7×30.6



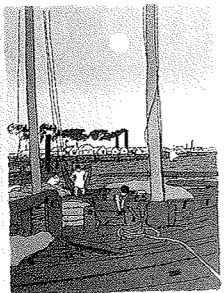
間部 時雄
風景
1925(大正14)頃
エッチング・紙
16.0×23.5



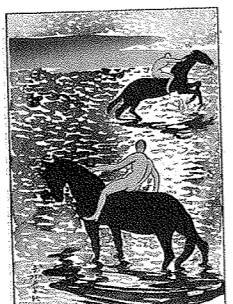
森田 恒友
犬吠風景
1921(大正10)頃
リトグラフ・紙
26.1×34.3



武田 新太郎
嵐
1933(昭和8)頃
木版・紙
35.0×52.0



鶴田 吾朗
失題
1915(大正4)
木版・紙
29.5×21.4



鶴田 吾朗
水馬
1916(大正5)
木版・紙
27.2×19.2



鶴田 吾朗
牧場の夕
1916(大正5)
木版・紙
28.5×19.0



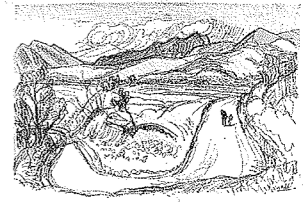
山本 鼎
香港にて
1917(大正6)
木版・紙
30.1×24.5



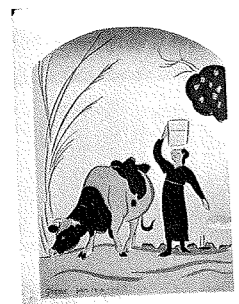
山本 鼎
プルトーニユの入江
1918(大正7)
木版・紙
24.3×31.8



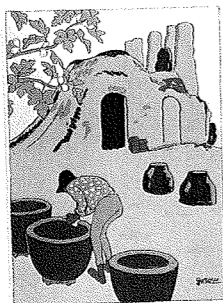
山本 鼎
水浴
1918(大正7)
木版・紙
32.6×24.2



山本 鼎
高原の路
1918(大正7)
リトグラフ・木版・紙
20.7×30.1



鶴田 吾朗
失題
1916(大正5)
木版・紙
28.7×20.6



鶴田 吾朗
失題
1916(大正5)頃
木版・紙
29.5×21.3



鶴田 吾朗
失題
1916(大正5)頃
木版・紙
28.3×20.3



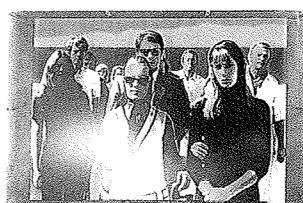
徳力 富吉郎
祇園町の夜更
1933(昭和8)
木版・紙
27.5×39.1



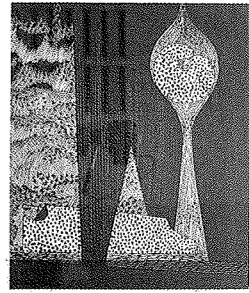
山本 鼎
房州の海
1919(大正8)
リトグラフ・木版・紙
25.5×34.8



山本 鼎
高原の道
1919(大正8)
リトグラフ・紙
26.0×34.0

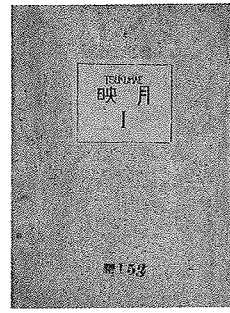


横尾 忠則
葬列 I
1969(昭和44)
シルクスクリーン・アクリル
74.5×113.5×9.0

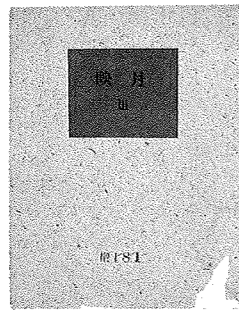


吉田 政次
新しい発生No.2
1958(昭和33)
木版・紙
45.2×37.7

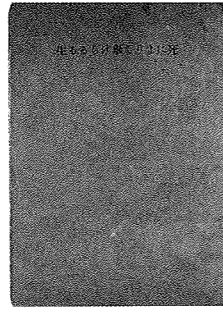
1995年度寄贈作品



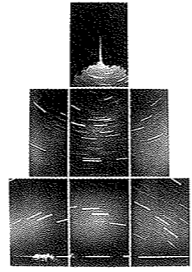
田中 恭吉他
公刊月映第1号
1914(大正3)
25.9×19.0



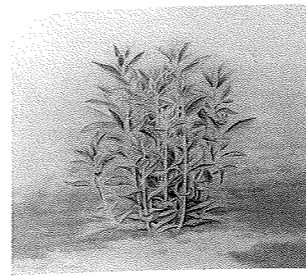
田中 恭吉他
公刊月映第3号
1914(大正3)
26.5×20.0



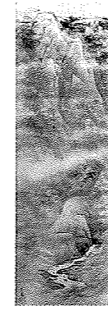
田中 恭吉他
公刊月映第4号
1915(大正4)
26.3×19.0



野村 仁
自転と重力
1982-84(昭和57-59)
カラー写真
180×122.5



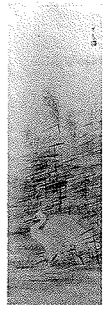
日高 昌克
草
1923(大正12)
顔料・絹
39.3×44.8
池田壽一氏寄贈



日高 昌克
朝霧
1948(昭和23)
顔料・紙
135.0×42.8
池田壽一氏寄贈



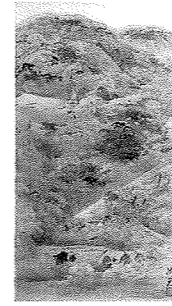
日高 昌克
冬枯れの山
1955-59(昭和30-34)
顔料・紙
29.1×49.6
池田壽一氏寄贈



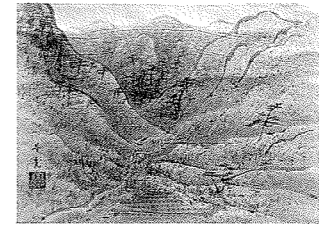
日高 昌克
池汀の秋
制作年不明
墨・紙
132.0×42.0
池田壽一氏寄贈



日高 昌克
春山靄図
1955-59(昭和30-34)
顔料・紙
67.0×40.0
池田壽一氏寄贈



日高 昌克
初夏峰樹図
制作年不明
顔料・紙
58.0×30.6
池田壽一氏寄贈



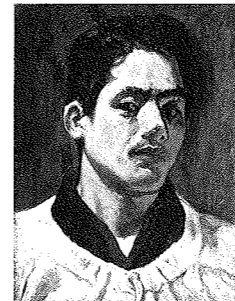
日高 昌克
早春の山
制作年不明
顔料・紙
37.7×52.0
池田壽一氏寄贈



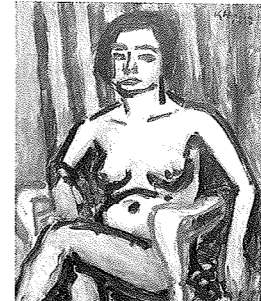
日高 昌克
深秋
制作年不明
顔料・紙
33.5×30.8
池田壽一氏寄贈



日高 昌克
遠山不盡
制作年不明
顔料・紙
33.1×40.6
池田壽一氏寄贈



寺中 美一
自画像
1916(大正5)
油彩・キャンバス
46×33
立石靖子氏寄贈



原 勝四郎
裸婦
1930(昭和5)
油彩・ボール紙
72.5×60.7
原厚子氏寄贈



保田 春彦
(デッサン)
1950年代
コンテ・紙
26.5×21.8
南天子画廊寄贈



保田 春彦
(デッサン)
1950年代
コンテ・鉛筆・紙
35.5×25.0
南天子画廊寄贈



保田 春彦
(デッサン)
1950年代
コンテ・紙
35.5×25.0
南天子画廊寄贈



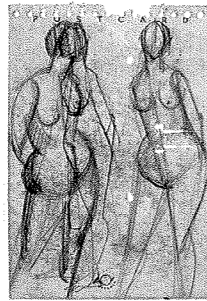
保田 春彦
(デッサン)
1950年代
コンテ・紙
35.5×25.0
南天子画廊寄贈



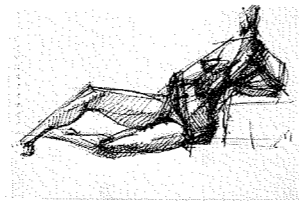
保田 春彦
(デッサン)
1950年代
コンテ・紙
35.5×25.0
南天子画廊寄贈



保田 春彦
(デッサン)
1950年代
コンテ・紙
35.5×25.0
南天子画廊寄贈



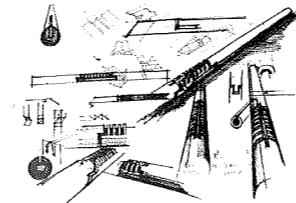
保田 春彦
(デッサン)
1950年代
鉛筆・紙
13.2×9.0
南天子画廊寄贈



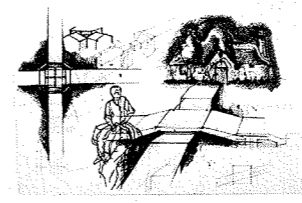
保田 春彦
(デッサン)
1950年代
ペン・紙
12.2×18.0
南天子画廊寄贈



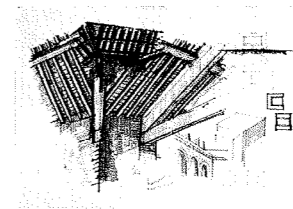
保田 春彦
(デッサン)
1950年代
ペン・紙
12.2×18.0
南天子画廊寄贈



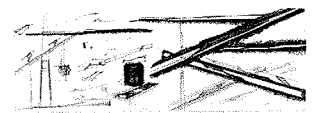
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



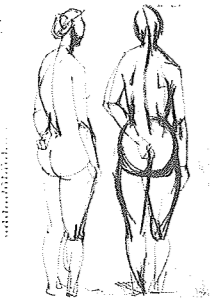
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



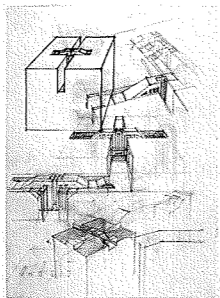
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



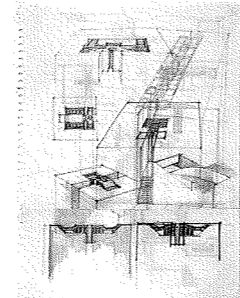
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



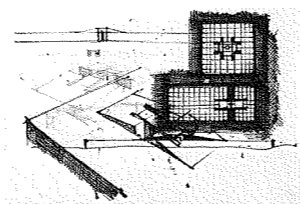
保田 春彦
(デッサン)
1950年代
コンテ・紙
35.7×25.2
南天子画廊寄贈



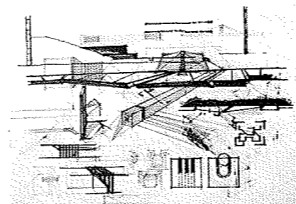
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
26.0×18.5
南天子画廊寄贈



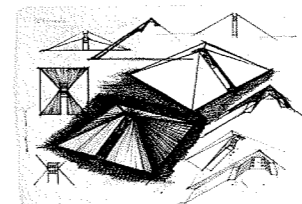
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
26.0×18.5
南天子画廊寄贈



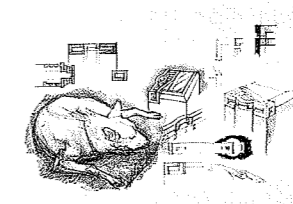
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
12.5×18.0
南天子画廊寄贈



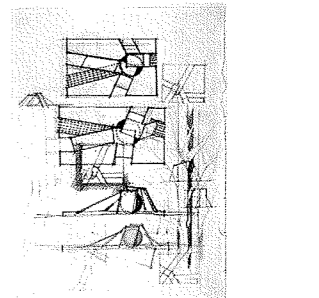
保田 春彦
(デッサン)
1980年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



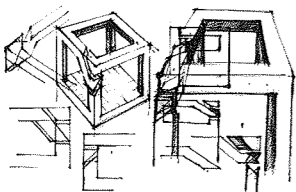
保田 春彦
(デッサン)
1980年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



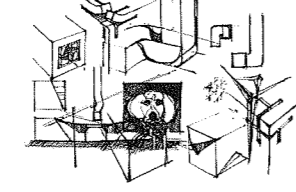
保田 春彦
(デッサン)
1980年代
鉛筆・ペン・水彩・紙
24.6×35.4
南天子画廊寄贈



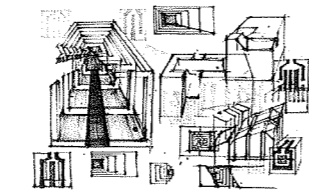
保田 春彦
(デッサン)
1990年代
鉛筆・ペン・紙
26.0×18.5
南天子画廊寄贈



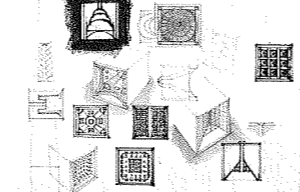
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
12.5×18.0
南天子画廊寄贈



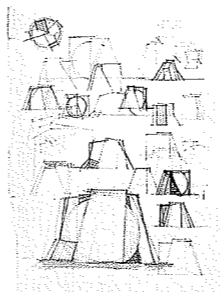
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
12.5×18.0
南天子画廊寄贈



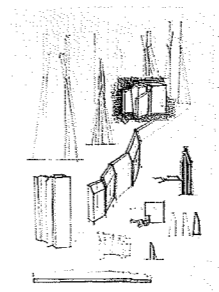
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
12.5×18.0
南天子画廊寄贈



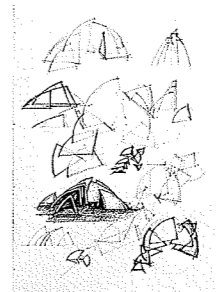
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



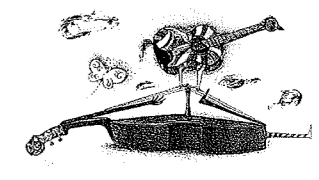
保田 春彦
(デッサン)
1990年代
鉛筆・ペン・紙
26.0×18.5
南天子画廊寄贈



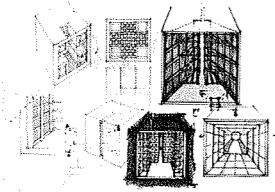
保田 春彦
(デッサン)
1990年代
鉛筆・ペン・紙
26.0×18.5
南天子画廊寄贈



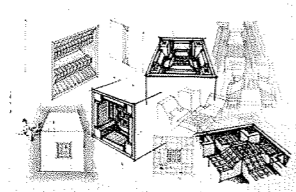
保田 春彦
(デッサン)
1990年代
鉛筆・ペン・紙
26.0×18.5
南天子画廊寄贈



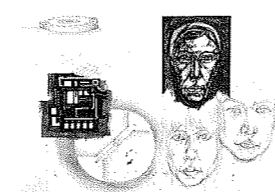
泉 茂
デュオ
制作年不明
リトグラフ・紙
21.0×38.0
橋本帆氏寄贈



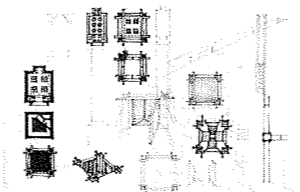
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



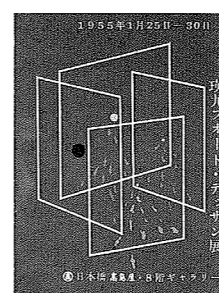
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



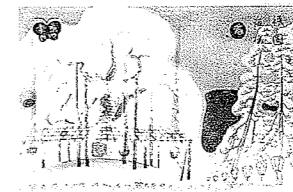
保田 春彦
(デッサン)
1970年代
鉛筆・ペン・紙
17.5×24.5
南天子画廊寄贈



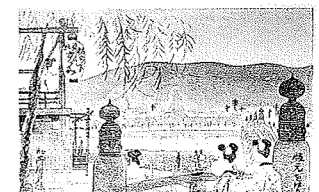
加藤 正
デモクラート美術展ポスター
1953(昭和28)
リトグラフ・紙
54.5×38.1
谷口ミヤ子氏寄贈



山城 隆一
瑛九フォトデッサン展ポスター
1953(昭和30)
シルクスクリーン・紙
102.5×72.2
谷口ミヤ子氏寄贈

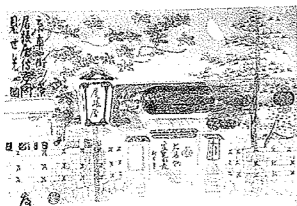


亀井 藤兵衛
京洛四季 祇園夜桜
制作年不明
木版・紙
14.7×21.3
北川久氏寄贈



亀井 藤兵衛
京洛四季 加茂川夕涼
制作年不明
木版・紙
14.4×21.5
北川久氏寄贈

鶴失 19 木 28.



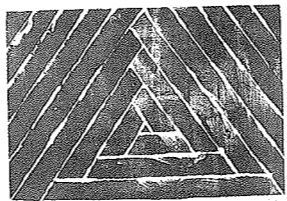
亀井 藤兵衛
京洛四季 京車や街二条
尾張屋伝右エ門見世先ノ図
制作年不明
木版・紙
14.8×21.5
北川久氏寄贈



亀井 藤兵衛
京洛四季 大原の秋
制作年不明
木版・紙
14.8×21.4
北川久氏寄贈



亀井 藤兵衛
京洛四季 金閣寺雪景
制作年不明
木版・紙
15.1×21.3
北川久氏寄贈



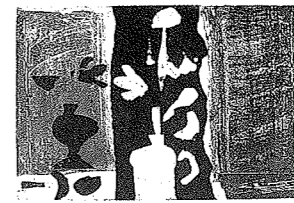
大沢 昌助
トライアングル
1990(平成2)
リトグラフ・紙
34.9×50.0
西本伊都子氏寄贈



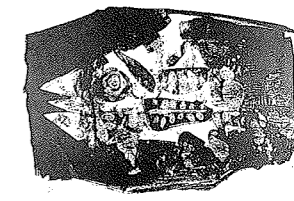
クラーベ,アントニ
戦士
制作年不明
エッチング・紙
69.2×49.7
西本伊都子氏寄贈



クラーベ,アントニ
作品
制作年不明
エッチング・紙
69.0×49.5
西本伊都子氏寄贈



クラーベ,アントニ
静物(花)
制作年不明
エッチング・紙
40.0×59.9
西本伊都子氏寄贈



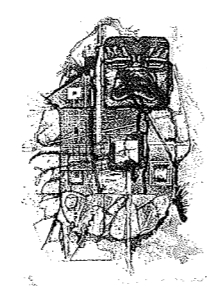
クラーベ,アントニ
魚
制作年不明
リトグラフ・紙
48.0×71.0
西本伊都子氏寄贈



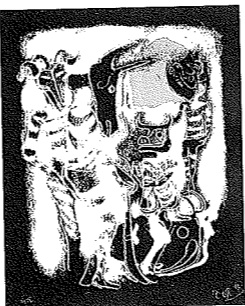
小野 具定
漁夫
1977(昭和52)
エッチング・紙
40.5×54.2
西本伊都子氏寄贈



笹島 喜平
不動明王No.31
1968(昭和43)
リトグラフ・紙
60.7×45.3
西本伊都子氏寄贈



利根山 光人
消えた都市(B)
1983(昭和58)
リトグラフ・紙
97.2×67.0
西本伊都子氏寄贈



利根山 光人
祝祭(コーラ族の祭り)
1984(昭和59)
リトグラフ・紙
76.7×61.0
西本伊都子氏寄贈



クラーベ,アントニ
作品
制作年不明
リトグラフ・紙
76.3×56.4
西本伊都子氏寄贈



タマヨ,ルフィーノ
魚
制作年不明
リトグラフ・紙
56.0×76.0
西本伊都子氏寄贈



吉原 英雄
ネコ94-A
1994(平成6)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



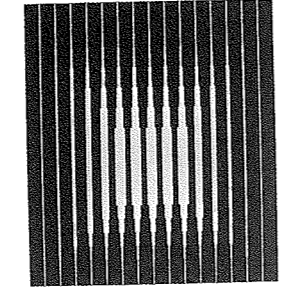
吉原 英雄
ネコ94-B
1994(平成6)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



利根山 光人
ドン・キホーテ
1986(昭和61)
リトグラフ・紙
69.0×98.9
西本伊都子氏寄贈



利根山 光人
赤い人
制作年不明
リトグラフ・紙
71.5×57.8
西本伊都子氏寄贈



ヴァザレリ,ヴィクトル
BO-RA
制作年不明
シルクスクリーン・紙
56.7×49.3
西本伊都子氏寄贈



クラーベ,アントニ
王様
1960(昭和35)
リトグラフ・紙
52.0×70.8
西本伊都子氏寄贈



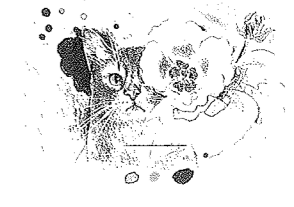
吉原 英雄
ネコ94-C
1994(平成6)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



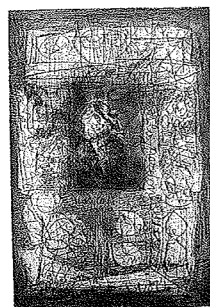
吉原 英雄
ネコ94-D
1994(平成6)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



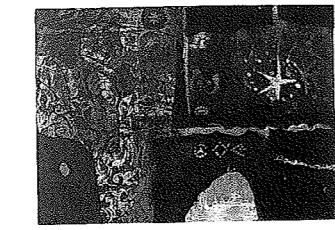
吉原 英雄
ネコ95-A
1995(平成7)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



吉原 英雄
ネコ95-B
1995(平成7)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



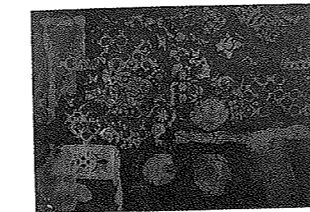
クラーベ,アントニ
神が彼女を許したまわんことを
1966(昭和41)
エッチング・アクアチント・紙
59.6×39.7
西本伊都子氏寄贈



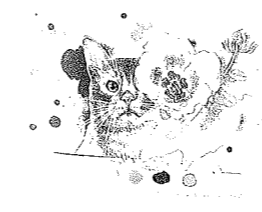
クラーベ,アントニ
星
1967(昭和42)
エッチング・アクアチント・紙
49.6×69.3
西本伊都子氏寄贈



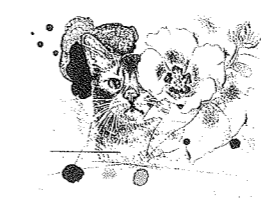
クラーベ,アントニ
(無題)
制作年不明
エッチング・アクアチント・紙
106.2×75.4
西本伊都子氏寄贈



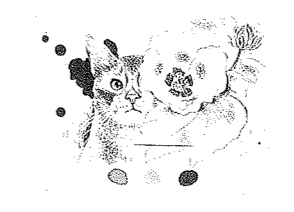
クラーベ,アントニ
静物(赤)
制作年不明
エッチング・紙
50.0×69.5
西本伊都子氏寄贈



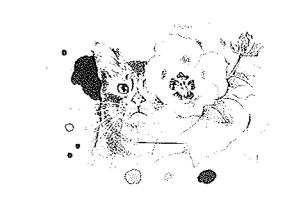
吉原 英雄
ネコ95-C
1995(平成7)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



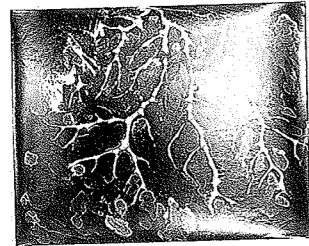
吉原 英雄
ネコ95-D
1995(平成7)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



吉原 英雄
ネコ95-E
1995(平成7)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈



吉原 英雄
ネコ95-F
1995(平成7)
リトグラフ・手彩色・紙
19.0×25.7
美術館友の会寄贈

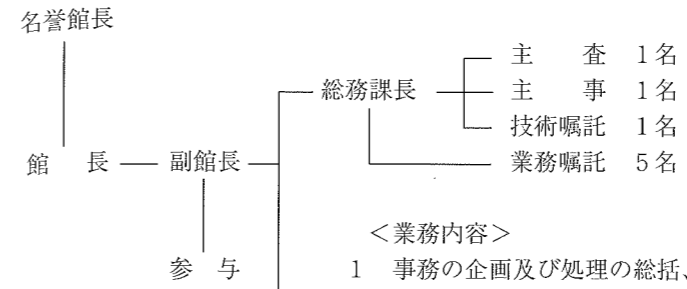


瑛 丸
フォトデッサン
制作年不明
モノクロ写真
20.3×25.3
谷口ミヤ子氏寄贈

田中 恭吉
公刊月映第1
1914(大正3)
25.9×19.0

管 理 運 営

組織と業務



<業務内容>

- 1 事務の企画及び処理の総括、調整に関すること。
- 2 公印の保管に関すること。
- 3 職員の身分及び諸規定に関すること。
- 4 給与、旅費及び福利厚生に関すること。
- 5 歳入歳出予算の編成に関すること。
- 6 公文書に関すること。
- 7 広報に関すること。
- 8 近代美術館友の会に関すること。
- 9 施設、設備の管理、警備及び消防防災に関すること。
- 10 館内の秩序維持に関すること。
- 11 美術品の購入及び寄付物品の受入事務に関すること。
- 12 備品購入及び物品調達に関すること。
- 13 文書の收受、発送に関すること。
- 14 その他学芸課の所管に属さないこと。

学芸課長 — 学芸員 6名
 — 専門嘱託 1名

- 1 美術館活動の年間事業計画に関すること。
- 2 美術の普及及び進行に関すること。
- 3 美術品の購入、選定に関すること。
- 4 近代美術館協議会に関すること。
- 5 展覧会の具体的な企画、展示に関すること。
- 6 学芸員実習生の研修に関すること。
- 7 寄贈作品、寄託作品に関すること。
- 8 作品の外部管理に関すること。
- 9 資料の整理、保管及び貸し出しに関すること。
- 10 近代美術館刊行物の編集に関すること。
- 11 その他美術館事業についての専門的な事項に関すること。

職員現況調

区 分	事 務	学 芸	技 術	嘱 託	名誉館長	計	備 考
名誉館長	—	—	—	—	1	1	大原美術館長
館 長	—	—	—	—	—	—	
副 館 長	1	—	—	—	—	1	館長職務代理者
総 務 課	3	—	1	6	—	10	参与1名、電気技師1名
学 芸 課	—	7	—	1	—	8	
計	4	7	1	7	1	20	

機構及び職員配置図

名誉館長 藤田慎一郎 副館長 武部吉宏 参与 大野菁治郎

課名	課長名	所属職員(職)氏名
総務課	南川諄一	主査 出口玲子 主事 辻岡豊 電気技師 小川順一 嘱託 岩倉多江 平野陽子 藤田めぐみ 鈴木佐知 南出真由子
学芸課	三木哲夫	学芸員 浜田拓志 学芸員 安來正博 学芸員 寺口淳治 学芸員 奥村泰彦 学芸員 井上芳子 学芸員 植野比佐見 非常勤嘱託 和高伸二

田中
公刊
1914
25.9

和歌山県立近代美術館協議会委員

(◎=会長)

任期2年：1994年11月3日～1996年11月2日

氏名	役職	氏名	役職
榎本 長平	会社社長	◎玉井 一郎	歯科医院長
大河内菊雄	伊丹市立美術館館長		県立近代美術館友の会顧問
佐原 光	県美術家協会会長	村田慶之輔	美術評論家
島 正博	会社社長	保田 春彦	武蔵野美術大学教授
島村 安彦	会社社長	山本 陽一	会社社長
神人 勲	歯科医院長 県立近代美術館友の会会長	吉原 英雄	京都市立芸術大学教授
		和中 光次	歯科医院長
角谷 昭一	病院院長		県文化協会連合会会長

1996年3月31日現在 委員13名

1995年度 期間別入館者数

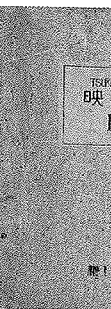
期間	区分	入館料	一般				高校・大学生			小・中学生			合計
			個人	団体	身障者	高齢者	個人	団体	身障者	個人	団体	身障者	
ヴィクトリア&アルバート美術館展 4月26日～6月11日	有料	17,021	660	—	—	1,022	421	—	1,214	595	—	20,933	
	免除	10,198	—	5,254	—	107	—	1	240	—	23	15,823 (計36,756)	
村井正誠展 7月1日～7月30日	有料	1,977	410	—	—	184	109	—	232	82	—	2,994	
	免除	1,181	—	503	—	5	—	2	17	—	0	1,708 (計4,702)	
保田春彦展 9月9日～10月15日	有料	2,432	658	—	—	172	25	—	141	28	—	3,456	
	免除	2,084	—	831	—	14	—	0	36	—	0	2,965 (計6,421)	
ひかる・うごく・おとがする展 2月24日～3月31日	有料	3,818	298	—	—	703	97	—	476	59	—	5,451	
	免除	1,879	—	494	—	7	—	0	25	—	4	2,409 (計7,860)	
小企画展・常設展期間 4月1日～3月24日	有料	16,450	1,785	—	—	1,159	116	—	1,978	457	—	21,945	
	免除	2,844	—	3,121	—	36	—	15	110	—	14	6,140 (計28,085)	
合計	有料	41,698	3,811	—	—	3,244	768	—	4,041	1,221	—	54,783	
	免除	18,186	—	10,203	—	169	—	18	428	—	41	29,045 (計83,828)	

作品貸出状況

貸出作品	貸出先(会場)	展覧会名	貸出期間
森口宏一《作品A》(1964)	大阪府,(財)大阪府文化振興財団	「森口宏一展」	'94/12/13～
森口宏一《作品B》(1964)	(国立国際美術館)		'95/4/15
森口宏一《ホワイフェル・ウナスの誕生より》(1967)			
森口宏一《作品》(1981)			
森口宏一《作品》(1981)			
森口宏一《<>を吊る》(1983)			
ヴォーコス,ピーター《Stack》(1982)	セゾン美術館,京都国立近代美術館	ピーター・ヴォーコス展	'94/12/15～'95/4/10
ロスコ,マーク《Tan and Black on Red》(1957)	東京国立近代美術館,フジテレビジョン	「国内所蔵 アメリカ抽象表現主義の名作展」	'95/3/17～6/13
ブブノワ,ワルワラ《アンナの肖像》(1933)	「ワルワラ展」開催実行委員会, 町田市立国際版画美術館, 宮城県美術館,朝日新聞社	「ワルワラ・ブブノワ1886-1983」	'95/4/5～8/11
林康夫《作品》(1958)	朝日新聞社	「戦後文化の軌跡 1945-1995」展	'95/4/9～11/15
吉原英雄《ひまわり》(1956)	(目黒区立美術館,		
大野淑高《Two Forms》(1959)	兵庫県立近代美術館,		
下村良之介《鳥のほこら》(1965)	広島市現代美術館,		
星野真吾《喪中の作品A》(1965)	福岡県立美術館)		
木村光佑《現在位置-存在A》(1971)			
木村光佑《現在位置-存在C》(1971)			
木村秀樹《Pencil 2-3》(1974)			
石垣栄太郎《街》(1925)	練馬区立美術館	「アメリカン・シーンの日本人画家たち」展	'95/4/20～6/15
石垣栄太郎《拳闘》(1925)			
石垣栄太郎《ボーナス マーチ》(1932)			
石垣栄太郎《キューバ島の反乱》(1933)			
石垣栄太郎《K.K.K.》(1936)			
石垣栄太郎《恐怖》(1941)			
清水九兵衛《WIG-7》(1980)	大阪府,(財)大阪府文化振興財団 (国立国際美術館)	「清水九兵衛展」	'95/5/20～8/10
浜口陽三《レダ》(1951)	高岡市美術館	「南桂子・浜口陽三展」	'95/7/10～8/31
浜口陽三《少女》(1951)			
浜口陽三《魚河岸の汽車》(1951)			
浜口陽三《月島》(1951)			
浜口陽三《洋梨とぶどう》(1951)			
浜口陽三《うさぎ》(1951)			
浜口陽三《二つの顔》(1953)			
浜口陽三《顔》(1953)			
浜口陽三《港》(1953)			
浜口陽三《スペイン風油入れ》(1954)			
浜口陽三《魚と果物》(1954)			
浜口陽三《西瓜二切》(1954)			
浜口陽三《筆とメロン》(1955)			
浜口陽三《ぶどう》(1955)			
浜口陽三《西瓜》(1955)			
浜口陽三《ビーマンのある静物》(1955)			
浜口陽三《うさぎ》(1955)			
浜口陽三《したびらめ》(1956)			
浜口陽三《パリの屋根》(1956)			
浜口陽三《青いぶどう》(1956)			
浜口陽三《あざみ》(1957)			
浜口陽三《ざくろとぶどう》(1957)			

貸出作品	貸出先(会場)	展覧会名	貸出期間
浜口陽三《クローバーの実》(1957)			
浜口陽三《水差しとぶどうとレモン》(1957)			
浜口陽三《アスパラガス》(1957)			
浜口陽三《青いガラス》(1957)			
浜口陽三《雲》(1958)			
浜口陽三《ざくろ》(1958)			
浜口陽三《ういさよう》(1958)			
浜口陽三《レモンと魚》(1958)			
浜口陽三《くるみ》(1959)			
浜口陽三《とうもろこし》(1959)			
浜口陽三《白菜》(1960)			
浜口陽三《貝》(1960)			
浜口陽三《アマンド》(1960)			
浜口陽三《パンとコーヒーわかし》(1960)			
浜口陽三《黒いさくらんぼ》(1960)			
浜口陽三《暗い背景のぶどう》(1961)			
浜口陽三《ポップラ》(1962)			
浜口陽三《一つのさくらんぼ》(1962)			
浜口陽三《黒いさくらんぼ》(1963)			
浜口陽三《アスパラガス》(1964)			
浜口陽三《四つのさくらんぼ》(1964)			
浜口陽三《トリコット》(1965)			
浜口陽三《突堤》(1965)			
浜口陽三《19のさくらんぼと1つのさくらんぼ》(1965)			
浜口陽三《赤い鉢と黒いさくらんぼ》(1966)			
浜口陽三《14のさくらんぼ》(1967)			
浜口陽三《17のさくらんぼ》(1968)			
浜口陽三《蝶と太陽》(1969)			
浜口陽三《26のさくらんぼ》(1971)			
浜口陽三《びんとさくらんぼ》(1971)			
浜口陽三《赤い鉢》(1971)			
浜口陽三《ブラジルの太陽》(1971)			
浜口陽三《蝶と葉》(1972)			
浜口陽三《二匹のてんとう虫》(1975)			
浜口陽三《190+1》(1975)			
浜口陽三《1/4のレモン》(1976)			
浜口陽三《さくらんぼと青い鉢》(1976)			
浜口陽三《貝》(1976)			
浜口陽三《蝶》(1977)			
浜口陽三《8つのくるみ》(1977)			
浜口陽三《版画集「Hamaguchi's six original color mezzotints」1ざくろ》(1978)			
浜口陽三《版画集「Hamaguchi's six original color mezzotints」2ぶどう》(1978)			
浜口陽三《版画集「Hamaguchi's six original color mezzotints」3てんとう虫》(1978)			
浜口陽三《版画集「Hamaguchi's six original color mezzotints」4アスパラガス》(1978)			
浜口陽三《版画集「Hamaguchi's six original color mezzotints」5さくらんぼ》(1978)			
浜口陽三《版画集「Hamaguchi's six original color mezzotints」6毛糸》(1978)			
浜口陽三《くるみ》(1978)			
浜口陽三《毛糸》(1978)			
浜口陽三《32のさくらんぼ》(1979)			

貸出作品	貸出先(会場)	展覧会名	貸出期間
浜口陽三《9つの貝》(1980)			
浜口陽三《ポップラ》(1980)			
浜口陽三《西瓜》(1981)			
川口軌外《地維》(1932)	宮城県美術館, 河北新報社	特別展	'95/7/22~9/25
保田龍門《父の像》(1915)	東北放送	「家族の肖像—日本のファミリーポートレート—」	
保田龍門《母の像》(1915)			
石垣栄太郎《街》(1925)	(財)東京都文化振興会, 大分県,	「終戦50年企画	'95/8/1~'96/2/10
石垣栄太郎《ボーナス・マーチ》(1932)	大分県教育委員会	—アメリカに生きた日系人の画家たち」展	
	, ひろしま美術館,		
	日本テレビ放送網株式会社		
山田光《2つの口の壺》(1952)	東京国立近代美術館	特別展「生活のなかの工芸	'95/8/8~12/8
山田光《作品》(1953)		—モダン・クラフトの運動—」	
辰野登恵子《WORK 87-P-26》(1987)	東京国立近代美術館	「辰野登恵子—1896-1995」展	'95/8/28~11/2
高井貞二《感情の遊離》(1932)	練馬区立美術館	「現代美術の手法(1)—コラージュ」展	'95/9/1~10/30
野村耕《迷》(1964)			
野村耕《律》(1964)			
三上誠《凍》(1960)			
川口軌外《車のある風景》(1929)	社団法人二科会, 産経新聞大阪本社	第80回記念「二科回顧展」	'95/9/1~11/10
原勝四郎《画工像》(1932)	(大丸ミュージアム・東京, なんば高島屋)		
木下孝則《後向きの裸婦習作》(1925)			
裕伊之助《ブザンソン風景》(1924)			
川口軌外《少女と貝殻》(1934)	群馬県立近代美術館	「絵のなかの女たち」展	'95/9/10~11/20
ロスコ, マーク《Tan and Black on Red》(1957)	東京新聞	「マーク・ロスコ展」	'95/9/10~'96/4/5
	(川村記念美術館,		
	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館,		
	名古屋市美術館, 東京都現代美術館)		
木下孝則《七面鳥》(1927)	富岡市教育委員会	「福沢一郎と昭和初期の洋画」展	'95/9/23~11/22
川口軌外《バナナのある静物》(1928)	(富岡市立美術館博物館・		
川口軌外《地維》(1932)	福沢一郎記念美術館)		
川口軌外《貝殻》(1936)			
下村良之介《夜の曲》(1951)	島根県立博物館	特別展「昭和20年代の日本画	'95/9/25~11/15
下村良之介《月》(1954)		~新しい美の創造をめざして~」	
ヴィアラ, クロード《Composition》(1988)	原美術館	「美しさの曖昧さ—(UN)FRAMING」展	'95/9/25~12/25
ボイル, マーク《Black Curb Study》(1980-81)			
野長瀬晩花《鳥の女》(1916)	三重県立美術館	「1910年代の日本美術展」	'95/10/16~12/15
戸張孤雁《千住大橋の雨》(1912)			
山本鼎《野鶏》(1912)			
恩地孝四郎《抒情II (公刊『月映』II 所収)》(1914)			
恩地孝四郎《裸形のくるしみIII (公刊『月映』III 所収)》(1914)			
恩地孝四郎《そらよりくだるかけ (公刊『月映』IV 所収)》(1915)			
藤森静雄《妹は病みぬ (公刊『月映』II 所収)》(1914)			
藤森静雄《たましひの孤独 (公刊『月映』VII 所収)》(1915)			
藤森静雄《地をたがやす心 (公刊『月映』VII 所収)》(1915)			
田中恭吉《ひそめるもの (公刊『月映』II 所収)》(1914)			
田中恭吉《去勢者と緋罌粟 (公刊『月映』III 所収)》(1914)			
田中恭吉《冬蟲夏草 (公刊『月映』III 所収)》(1914)			
田中恭吉《こもるみのむし》(ca.1914)			
田中恭吉《懈怠 (『心原幽趣』I 所収)》(1915)			
田中恭吉《死人とあとに残れるもの》(1914)			



田中 恭吉他
公刊月映第1号
1914(大正3)
25.9×19.0

貸出作品	貸出先(会場)	展覧会名	貸出期間
田中恭吉《画稿より(『月に吠える』口絵)》(1917)			
田中恭吉《画稿よりI(『月に吠える』所収)》(1915)			
田中恭吉《画稿よりII(『月に吠える』所収)》(1915)			
田中恭吉《画稿よりIII(『月に吠える』所収)》(1915)			
田中恭吉《そらに咲くエテルの花》(ca.1915)			
田中恭吉《悔恨第一(『心原幽趣』I 所収)》(1915)			
公刊『月映』I(1914)			
公刊『月映』II(1914)			
公刊『月映』III(1914)			
公刊『月映』IV(1915)			
公刊『月映』V(1915)			
公刊『月映』VI(1915)			
公刊『月映』VII(1915)			
『黙鐘』6号			
ピカソ、パブロ《泣く女》(1937)	京都国立近代美術館, 東武美術館, 朝日新聞社	ピカソ 愛と苦悩 「ゲルニカへの道」	'95/10/20~'96/3/20
池田良二《cape watershed(岬の分水嶺)》(1988)	(財)神奈川芸術文化財団, 神奈川県民ホール	「刻まれた現代史-世界の版画・戦後50年」	'95/10/25~12/15
小枝繁昭《Still Life on the Table #3》(1990)			
長岡国人《Homage to 5 Japanese Nobel prize winners No.1》(1986)			
森岡完介《Beethoven at the Beach, Message 86-11P》(1986)			
CHAVEZ, Esteban《INTELLECTUAL A.I.D.S. STUDY QUILT》(1992)			
KULHÁNEK, Oldrich《TRIBUNAL》(1990)			
APCHATKRIENGKRAI, Wijit《THE SILENT GAME 03》(1988)			
池石哲《反作用(Reaction) No.2》(1986)			
姜丞燾《Day Break at 5:30- Summer 1990》(1990)			
申璋湜《ARIRANG- Happy Day》(1992)			
林康夫《作品》(1954)	兵庫県立近代美術館, 神戸新聞社	「津高和ひとゲンビの作家たち」	'95/11/28~'96/2/2
熊倉順吉《作品》(1956)			
泉茂《しゃも》(1957)	伊丹市立美術館	「泉茂」展	'95/12/22~'96/2/17
泉茂《PAINTING(DF1005)》(1965)			
泉茂《FS2008》(1967)			
泉茂《シェークハンド》(1953)			
泉茂《キャバレー》(1953)			
泉茂《異邦人》(1954)			
泉茂《深夜のセロ弾き》(1954)			
泉茂《さまよえるオランダ人》(1954)			
泉茂《サーカス》(1954)			
泉茂《お助け》(1954)			
泉茂《回想の幼年期》(1954)			
泉茂《仲間》(1955)			
泉茂《家族》(1956)			
泉茂《記念写真》(1956)			
泉茂《なまけもの》(1956)			
泉茂《インディアン》(1956)			
泉茂《マダム・インディアン》(1956)			
泉茂《セレナード》(1957)			
泉茂《ひるね》(1957)			
泉茂《層》(1961)			
泉茂《流れ》(1965)			

貸出作品	貸出先(会場)	展覧会名	貸出期間
津高和一《爆発》(1954)	西宮市大谷記念美術館,	絵画と詩のはざまで「津高和一」追悼展	'96/1/10~3/10
津高和一《キムキム》(1957)	読売新聞大阪本社		
川口軌外《地維》(1932)	姫路市立美術館,	「飯田操朗と前衛の時代」展	'96/2/10~4/14
川口軌外《無題》(1935)	朝日新聞社		
川口軌外《エスキースB》(1937)			
山本正道《遺跡の見える風景》(1976)	滋賀県立近代美術館	「冒険美術-大地のささやき」展	'96/2/13~4/12
福岡道雄《坂道》(1974)			
飯塚二郎《地下からの視線920524》(1992)			
野長瀬晩花《被服着たる少女》(1911)	三重県立美術館	「子供の情景展」	'96/3/25~5/17
クレー, パウル《網渡り》(1923)	神奈川県立近代美術館, 東京新聞	「サーカスがやって来た!」展	'96/3/25~7/24
川口軌外《シルク》(1927-9)	, 兵庫県立近代美術館, 神戸新聞社		
恩地孝四郎《サーカス(ハーゲンベック・サーカスの印象)》(1933)			
泉茂《サーカス》(1954)			
共催展			
村井正誠《パンチユール No. 2》(1929)	神奈川県立近代美術館,	村井正誠展	'94/12/20~'95/6/27
村井正誠《アラブの窓》(1929)	大原美術館, 岐阜県美術館,		
村井正誠《姉妹》(1930)	富山県立近代美術館, 東京新聞		
村井正誠《水浴》(1930)	【和歌山県立近代美術館】		
村井正誠《ボウトレ・アラブ》(1930)			
村井正誠《静物(赤い帽子)》(ca.1931)			
村井正誠《パンチユール No. 3》(1929-34)			
村井正誠《ゴルフジュアンの朝》(1934)			
村井正誠《アカデミア・ベル・アルチ》(1934)			
村井正誠《URBAIN No. 1》(1936)			
村井正誠《形象 A》(1939)			
村井正誠《パンチユール》(1940)			
村井正誠《百霊廟》(1942)			
村井正誠《聚落》(1943)			
村井正誠《母子像》(1951)			
村井正誠《母と子》(1952)			
村井正誠《座っている人》(1958)			
村井正誠《黒い線》(1962)			
村井正誠《風の中の除幕式》(1968)			
村井正誠《自画像(太い線)》(1974)			
保田春彦《斜面のある風景》(1973)	神奈川県立近代美術館, 三重県立美術館,	保田春彦展	'95/2/6~8/4
保田春彦《階段のある広場》(1973)	大原美術館, 美術館連絡協議会		
保田春彦《ソフィットB》(1977)	【和歌山県立近代美術館】		
保田春彦《赤錆のクニコロ(地下道)》(1977-8)			

関係法規

○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

(昭和45年10月6日和歌山県条例第64号)
改正 平成6年3月30日条例第18号

[和歌山県立近代美術館設置および管理条例]をここに公布する。
和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

(平六条例第一八・改称)

(設置)

第一条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もつて美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）を設置する。

(平六条例一八・一部改正)

(位置)

第二条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目四番十四号に置く。

(平六条例一八・一部改正)

(事業)

第三条 近代美術館は、第一条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

1. 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
2. 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
3. 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平六条例一八・一部改正)

(使用料)

第四条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例（昭和22年和歌山県条例第28号）の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

第五条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

○和歌山県立近代美術館管理規則

(昭和45年10月22日和歌山県教育委員会規則第20号)
改正 昭和53年4月1日教委規則第12号
昭和56年5月28日教委規則第7号
昭和63年3月31日教委規則第13号
平成元年3月31日教委規則第7号
平成6年3月31日教委規則第8号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

第一条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例（昭和45年和歌山県条例第64号。以下「条例」という。）第五条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(昭五三教委規則一二・平六教委規則八・一部改正)

(開館時間)

第二条 近代美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

第三条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

1. 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する国民の休日（以下「祝日」という。）の翌日
 2. 年始（1月1日から同月4日まで）
 3. 年末（12月28日から同月31日まで）
 4. 毎週月曜日（その日が祝日である場合を除く。）
 5. 前各号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日
- 2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第1から第4号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。
- 3 非常変災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。

1. 休館の期間
2. 非常変災その他急迫の事情の概要
3. その他必要と認める事項

(昭五三教委規則一二・平六教委規則八・一部改正)

(職員)

第四条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(昭五三教委規則一二・昭六三教委規則一三・平元教委規則七・平六教委規則八・一部改正)

(課の設置及び所掌事務)

第五条 近代美術館に、次の課を置く。

総務課
学芸課

- 2 総務課においては、次の事務をつかさどる。
 1. 館長印、館印その他公印の管守に関すること。
 2. 職員の身分、服務その他人事に関すること。
 3. 文書の收受、発送、編さん及び保存に関すること。
 4. 予算、決算及び会計に関すること。
 5. 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関すること。
 6. その他学芸課の主管に属しないこと。
- 3 学芸課においては、次の事務をつかさどる。
 1. 美術に関する展覧会、講演会、研究会等の開催についての年間計画の樹立並びにその具体的な企画及び実施に関すること。
 2. 近代美術館に関する作品その他の資料の収集、保管及び展示に関すること。
 3. 美術の普及及び振興に関すること。
 4. 近代美術に関する調査、研究及び資料の刊行に関すること。
 5. 近代美術館協議会に関すること。

(昭五三教委規則一二・平六教委規則八・一部改正)

(入館の拒絶、制限及び退館命令)

第六条 館長は、次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

1. 伝染性疾患のある者
 2. 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者
 3. 館内の秩序を乱すと認められる者
 4. その他館長において近代美術館の管理上入館を不相当と認められた者
- 2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

(昭五三教委規則一二・昭五六教委規則七・一部改正・平六教委規則八・旧第七条線上)

第七条 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

(昭五三教委規則一二・一部改正・平六教委規則八・旧第八条線上)

(委任)

第八条 この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(昭和46年10月12日和歌山県教育委員会規則第26号)
改正 昭和56年8月29日教委規則第15号
平成元年3月31日教委規則第8号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

第一条 この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品（以下「美術品」という。）の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

第二条 和歌山県立近代美術館長（以下「館長」という。）は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認められた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(昭五六教委規則一五・一部改正)

(申請手続)

第三条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

1. 申請者の氏名又は名称及び住所
2. 借り受けようとする美術品の名称及び数量
3. 使用目的
4. 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要
5. 借受期間
6. 借受期間中における保管及び管理の方法
7. その他参考となる事項

(昭五六教委規則一五・一部改正)

(貸付承認)

第四条 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書（別記様式）を申請者に交付する。

(貸付期間)

第五条 美術品の貸付期間は、通常2ヶ月以内（以下「一期間」という。）とする。ただし、館長が必要と認めるときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。

(昭五六教委規則一五・一部改正)

(借受書等)

第六条 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。

1. 借り受ける美術品の名称及び数量
2. 借受期間
3. 返納期日
4. 返納場所
5. 貸付条件に従う旨

2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。

3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。

(昭五六教委規則一五・一部改正)

(遵守事項等)

第七条 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。

2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。

3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。

(昭五六教委規則一五・一部改正)

(貸付料)

第八条 美術品の貸付料は、1点につき一期間3,090円とし、第五条ただし書の貸付期間の延長の場合にあつては、一月以内の延長期間については1,540円とし、一月を超える延長期間については3,090円とする。

2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することができる。

3 既存の貸付料は、これを返納しない。

(昭五六教委規則一五・平元教委規則八・一部改正)

(貸付けの取消し)

第九条 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。

(昭五六教委規則一五・一部改正)

(補足)

第十条 この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

○和歌山県博物館協議会条例

昭和57年3月29日
和歌山県条例第11号

和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。

和歌山県博物館協議会条例

(設置)

第一条 博物館法(昭和26年法律第285号)第二十条の規定に基づき、次の表の上欄に掲げる博物館にそれぞれ当該下欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の定数)

第二条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15人以内とする。

(任期)

第三条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第四条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。
2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第五条 協議会の会議は、会長が召集し、その議長となる。
2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

第六条 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。
2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。
3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。
4 小委員会又は部会に属する委員は、当該博物館において処理する。

(庶務)

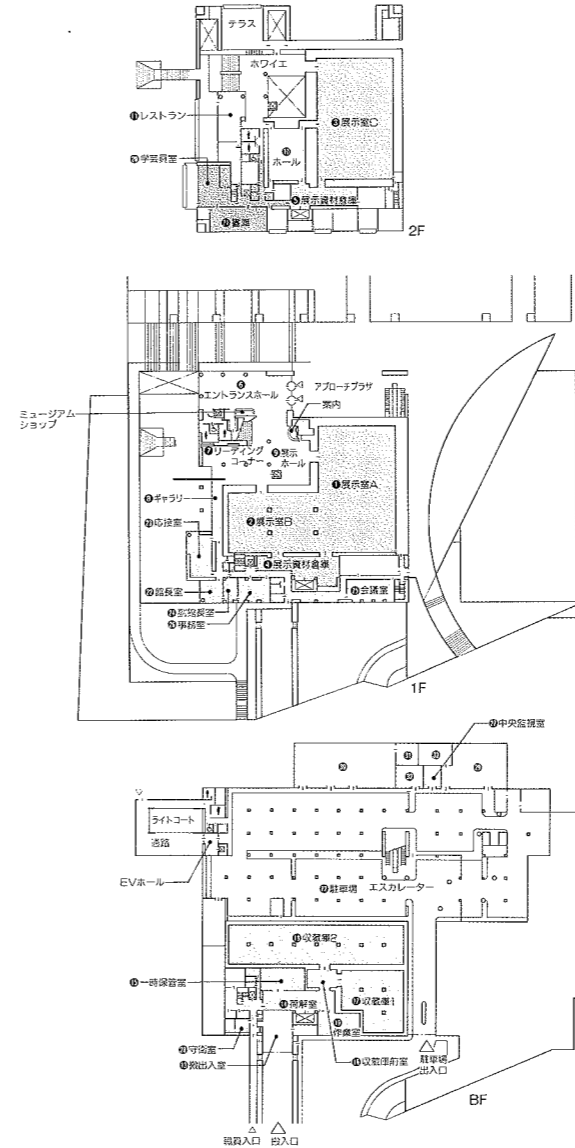
第七条 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

第八条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員長が定める。

建築概要

館内案内図



部門別面積表

部門	室名	面積 (㎡)
展示部門	1 展示室 A	1,057.0
	2 展示室 B	486.1
	3 展示室 C	1,038.6
	4 展示資材倉庫 (1F)	136.2
	5 展示資材倉庫 (2F)	121.5
	(小計)	2,839.4
サービス部門	6 エントランスホール	402.2
	7 リーディングコーナー	217.8
	8 ギャラリー	46.9
	9 展示ホール	134.0
	10 ホール	181.5
	ホール前室、映写室、控室A、倉庫	74.6
	11 レストラン	105.1
	厨房	62.0
	テラス	217.9
	化粧室	181.9
	12 駐車場	2,480.1
	EVホール、廊下、階段、その他	1,670.7
	(小計)	5,774.7
収蔵部門	13 搬出入室	108.4
	14 荷解室	130.0
	15 一時保管室	81.0
	16 収蔵庫前室	61.4
	17 収蔵庫 1	342.5
	18 収蔵庫 2	685.6
	19 作業室	82.0
	(小計)	1,490.9
調査部門	20 学芸員室、倉庫	123.2
	21 書庫	113.1
	(小計)	236.3
管理部門	22 館長室	
	23 応接室	
	24 副館長室	
	25 会議室	
	26 事務室	
	27 中央監視室	
	28 守衛室	
	控室 B	
	控室 C	
	控室 D	
	更衣室	
	救護室	444.7
	29 電気室	212.4
	30 マシンルーム	364.9
	31 消化ポンプ室	38.7
	32 ハロンポンベ室	51.2
	33 発電機室	58.1
空調機械室	295.5	
倉庫、その他	31.1	
	(小計)	1,496.6
	(合計)	11,837.9
	階数	各階面積
	2F	2,916.8
	1F	3,436.8
	BF	5,484.3
	合計(延床面積)	11,837.9

建築概略

所在地	和歌山市吹上一丁目1番
敷地面積	23,356.78㎡
監理	和歌山県土木部営繕課
設計監理	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
施工	竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体 さんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体 日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体
総工費	137億8086万円 [総事業費 192億633万1千円] (用地費含む)
工事期間	1991年10月～1994年3月

建物概要

構造	RC造 (鉄筋コンクリート構造) 地下2階地下1階建
建築面積	7,087.17㎡ (美術館部分4,500.62㎡ 博物館部分2,586.55㎡)
延床面積	18,704.50㎡ (駐車場3,460.4㎡を含む) (美術館部分11,837.90㎡ 博物館部分6,866.60㎡)
仕上	外装 外壁 磁気質タイル、アルミパネル アルマイト仕上、 アルミカーテンウォール 屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え 庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイト仕上

設備概要

電気設備	
受変電設備	3φ3W6600V 60Hz 変圧器 1φ600KVA (うち美術館300KVA 博物館300KVA) 3φ1550KVA (うち美術館900KVA 博物館650KVA)
自家発電設備	ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm 3φ3W6600V 375KVA
蓄電池設備	キュービクル式直流電源装置 容量 300AH
空調設備	
熱源設備	空気熱源熱回収型スクリュウ式ヒートポンプ冷凍機 165RT+110RT 蓄熱槽 1560m³
排煙設備	自然排煙+機械排煙6系統 (うち美術館4系統 博物館2系統)
衛生設備	
給水設備	受水槽 上水10m³、雑用水29m³ 給水方式 加圧給水ポンプ方式
排水設備	汚水・雨水分流式 (公共下水道へ放流)
消化設備	ハロンガス消火 (収蔵部門各室・展示部門各室・書庫) /屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火 (駐車場)
自動火災報知設備 (館内守衛室にて集中管理)	
煙感知器	光電スポット型 美術館224台 博物館155台
熱感知器	差動スポット型 美術館105台 博物館74台
定温スポット型	美術館14台 博物館13台
防災・防犯設備 (館内守衛室にて集中管理)	
受信盤	複合GR型 504回線
ITV監視装置、防災アンプ (360W)	
監視カメラ	美術館33台 (うち展示室14台) 博物館19台 (うち展示室8台)
防犯センター	

美術館 展示・保存環境

展示部門	展示室	面積	床材	天井高
展示部門	展示室A	1,057.0㎡	ナラフローリング	5m
	ケースL13706×D1200×H3372+L31070×D1200×H3372 (mm)			
	展示室B	486.1㎡	同上	4m
	展示室C	1,038.6㎡	同上	5m
	ケースL25211×D1200×H3372 (mm)			
収蔵部門	1F展示資料倉庫	136.2㎡	ビニアスタイル	4m
	2F展示資料倉庫	121.5㎡	同上	4m
	収蔵庫1 (立体)	342.5㎡	耐水合板下地 ブナフローリング	4m
	収蔵庫2 (平面)	685.6㎡	同上	4m
	前室	61.4㎡	同上	4m
	一時保管室	81.0㎡	モザイクパーケット	4m
	作業室	82.0㎡	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室	130.0㎡	モルタル金ゴテ エポキシ系塗床	5.8m
	搬出入室	108.4㎡	同上	4.8m
	展示照明	ハロゲンダウンライト/蛍光灯 (着脱式) /スポットライト (着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能		
空調	展示室	2系統		
	収蔵庫	2系統		
	展示室	設定温度	夏期26℃/冬期22℃	
		設定湿度	通年55%	
	収蔵庫	設定温度	通年22℃	
	設定湿度	通年55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量3.0トン H3,000×W5,000×D2,500 (mm)			

案内

利用案内

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日 (月曜日が国民の祝日に当たるときは、その翌日)
国民の祝日の翌日
12月28日～1月4日
駐車場 有料 (90台収容)

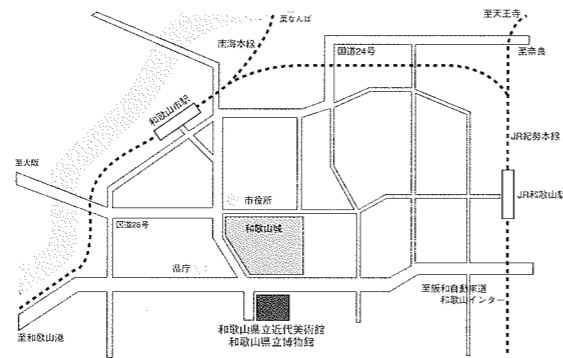
交通案内

JR和歌山駅からバス

1番または2番のりばから約10分、県庁前下車、徒歩約2分

南海電鉄和歌山市駅からバス

9番のりばから約7分、県庁前下車、徒歩約2分



1995年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©1997

〒640 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

TEL 0734-36-8690 FAX 0734-36-1337

1997 (平成9) 年3月31日発行

印刷 西岡総合印刷株式会社